

APR.2008
vol.132
750yen

演劇ぶっく

4

【表紙のヒト】

内野聖陽

発表！
読者が選ぶ
えんぶチャート2007

【ロングインタビュー】池田成志

新感線プロデュース

いのうえ歌舞伎☆号『IZO』 森田剛 田辺誠一 栗根まこと×池田鉄洋×山内圭哉×
ナイロン100℃『わが闇』 みのすけ×峯村リエ 大倉孝二×岡田義徳×

発表! 読者が選ぶ えんぶチャート2007

014 誌面を見る“よりぬき えんぶチャート”〈舞台編〉



【新感線プロデュース いのうえ歌舞伎☆號】

IZO

森田剛、田辺誠一、
栗根まこと・池田鉄洋・山内圭哉

表紙のヒト ● 002
内野聖陽



- 026 【劇団、本谷有希子】
偏路／本谷有希子
- 028 【青年団プロジェクト公演】
隣にいても一人 関西編
永井秀樹・二反田幸平・井上三奈子・端田新菜
- 030 【ギンギラ太陽's】
翼をください!! さらばYS-11
大塚ムネト・立石義江・杉山英美
上田裕子・中村卓二・古賀今日子
- 032 【ロリータ男爵】
犬ストーン version.Dr.エクアドル
田辺茂範・Dr.エクアドル
- 034 【東京セレソンドX】
渡辺いっけいと東京セレソンドX
渡辺いっけい・宅間孝行

CLOSE-UP STAGE ●



『アマツカゼ -天つ風-』
大野智 036
『カラミティ・ジェーン』
湖月わたる 038



【ナイロン100℃】

わが闇

みのすけ・峯村リエ、
大倉孝二・岡田義徳

040 NACSTYLE / PAGE.2
戸次重幸・G2

042 TAKARAZUKA 2008 NEW SCENE ● 轟悠 大和悠河

044 Power Push!
マンションマンション／演劇企画集団 THE・ガジラ
ジェットラグプロデュース／城山羊の会プロデュース
ビューティ・クイーン・オブ・リナーン

ロングインタビュー
池田成志

064 発表! 読者が選ぶ えんぶチャート2007
【データ編】
068 ポロリ! えんぶチャートおすすめ文

- 070 インディ高橋のPatchy小道具研究所R / 32
- 071 東から1枚 / 15 久住昌之
- 072 素晴らしきギャグ人生2008 / 52 西川浩幸
- 073 栗根まことの人物ウォッチング / 千葉哲也
- 080 次号予告
- 080 読むゼミ vol.4
- 081 ミニレポートオーディションニュース
- 082 シバイのミカタ 公演データ編(3月8日～5月10日)
- 088 フロム・リーダーズ / プレゼント広場

【表紙MODEL】
内野聖陽
【PHOTOGRAPH】
竹中圭樹
【EDIT】
榎原和子 園田喬
【STYLING】
中川原寛(CaNN)
【ART DIRECTION】
釣巻敏康

新感線☆RX『五右衛門ロック』
作／中島かずき
演出／いのうえひでのり

古田新太
松雪泰子
森山未來
江口洋介
川平慈英
濱田マリ
橋本じゅん
高田聖子
栗根まこと
北大路欣也

東京公演 プレビュー公演 7月6日
2008年7月8日(火)～28日(月)
新宿コマ劇場

【料金／全席指定・税込】S席:12,500円 A席:10,000円 B席:7,500円
【プレビュー公演】S席:10,000円 A席:7,500円 B席:5,000円

【チケット取扱プレイガイド】
●電子チケットは0570-02-9910(4/19のみ) / 0570-02-9999(予約:384-615)(4/20以降)
<http://pia.jp/goemon-rock/>
●イー・プラスは<http://eplus.jp/goemon/>
●CNプレイガイドは0570-08-9944(4/19のみ) / 0570-08-9999(4/20以降)
<http://www.cnplayguide.com/goemon/>
●ローソンチケットは0570-084-634(4/19のみ)
0570-084-003(予約:30033)・0570-000-407(オペレーター対応)(4/20以降)
<http://l-like.com/goemon/>
●新宿コマ劇場 03-3200-2213(オペレーター対応 9:30～18:00)
【主催】/レッチ 【お問合せ】サンライズプロモーション東京＝(10:00～19:00) 0570-00-3337
<http://www.sunrisetokyo.com/>

大阪公演
2008年8月8日(金)～24日(日)
大阪厚生年金会館大ホール

【料金／全席指定・税込】S席:12,500円 A席:8,500円 B席:6,500円
【チケット取扱プレイガイド】
●電子チケットは0570-02-9550(6/14のみ) / 0570-02-9999(予約:384-724)(6/15以降)
<http://pia.jp/goemon-rock/>
●イー・プラスは<http://eplus.jp/goemon/>
●CNプレイガイドは0570-03-9911(6/14のみ) / 0570-08-9999(6/15以降)
<http://www.cnplayguide.com/goemon/>
●ローソンチケットは0570-084-658(6/14のみ)
0570-084-005(予約:53667)・0570-000-407(オペレーター対応)(6/15以降)
<http://l-like.com/goemon/>
●阪神プレイガイド(窓口販売のみ)
【主催】関西テレビ放送／サンライズプロモーション大阪
【お問合せ】キョードーチケットセンター＝
(10:00～19:00) 06-6233-8888(2/29まで) 06-7732-8888(3/1以降)
<http://www.kyodo-osaka.co.jp/>

前売開始
東京公演
'08年4月19日(土)
大阪公演
'08年6月14日(土)

東京 7月 6日 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28
12:30
18:00

大阪 8月 8日 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
12:30
13:00
18:00
18:30

「五右衛門ロック」公式HP
www.goemon-rock.com

SHINKANSEN☆RX GOEMON-ROCK

想像を越えたところで観客と楽しめるのが舞台

07年の1年間は、大河ドラマ『風林火山』の主演・山本勘助として生きて、戦国の名将ぶりを鮮やかに見せてくれた内野聖陽が、1年半ぶりに舞台に帰ってくる。その作品は、18世紀半ばのイギリス社会を風刺した『ベガーズ・オペラ』、2年前の初演で大評判をとった社会風刺ミュージカルである。1年半取り組んだ映像の主演としての大きさを増し、新たな視線で再び舞台と向き合う内野聖陽、その舞台への思いを聞く。

観客のいるライブは パワーの交歓

2年前、内野聖陽は2本の舞台に出演したあと、映像の世界で主役をつとめるために舞台から離れた。その2本の舞台の1本が、今回再演される『ベガーズ・オペラ』の初演だった。そんな思い出深い作品で、久しぶりに稽古場や舞台に戻る感触は？ そしてこの作品ならではの面白さは？

——約1年半ぶりの舞台ということですが、どんな感覚ですか？
やはりフレッシュですね。映像の世界にどっぷりつかってましたから、舞台というライブならではの感覚を楽しみたいという思いが大きいんです。演劇のライブ感というのは、つねに観客が目の前に何百人から何千人といることで、その人たちから生の「気」が生まれ、劇場一杯に満たされる。そこで表現するものはもの凄く密度の高い時間です。その交流とか交歓がライブならではの、劇場という場所がある理由だと思っんです。それをまた体感できるのは嬉しいなと思っってます。

——その出演作の『ベガーズ・オペラ』は、3時間半くらいかかる作品で、観る側も体力がいりますが、やる側もかなりたいへんでしょうね。
初演の年はもう1本、3時間を越す劇団☆新感線の『メタル マクベス』をやってますから、自分でも、よくこういうのばかり選んで出るなと思ったくらい、体力的にはきついのはかりでしたね(笑)。

——そのたいへんな舞台に、またチャレンジするのはすごいなと。
『ベガーズ・オペラ』という作品は、再演したほうが絶対によさがると思っってます。初演で演出家のジョンが頭に思い浮かべていたことが僕らにもわかつたし、劇の文法みたいなものを分かっただけでどれだけ個人個人が抑圧された心の内を豊かに表現できるか。それが再演のよさだし、逆に再演の大きなハードルだとも言える。どちらにせよ、すごく演劇的な場になるはずだと思っっているんです。

大学のように研究を 発表する稽古場

——この作品は、18世紀にロンドンで生まれた世界でいちばん古いミュージカルですが、これをもとにしたのがクルト・ワイルの『三文オペラ』ですね。

『三文オペラ』では、主役はマクヒースですが、『ベガーズ・オペラ』の場合「乞食たち」全員が主役みたいなもの。乞食が必死になつてオペラを演じようとする、それが素敵なんです。僕もまずマクヒースという役の前に1人のベガーを演じることに命をかけて、あとになって思い出してもベガーをやったという感覚が大きかったですね。

——全員が、まずベガーになるために何をしたのでしょうか？
まず稽古の初め頃にしたこととは、何日もかけてそれぞれの人物設定と、当時のイギリスの社会背景を知ることだったんです。こんなにもなぜベガーたちは熱く語りがついているのかというところ、それは当時の社会が無秩序状態で、警察組織もいかにげんだし、絞首刑をさせることが犯罪抑止力になるというような短絡的な考え方で、何やつとも絞首刑みたいなひどい時代だったわけです。そのなかで不当な抑圧を受けている下層階級の人間たち、それがこの物語の核ですから、社会背景を知っていないと演じるパワーがなくなるし、お芝居としての豊かさがなくなる。それで演出のジョン・ケアードは稽古場で勉強を始めたんです。

——本当に勉強を？
まるで大学のゼミみたいな感じ。イギリスの法体系とか、当時の階級制度とか結婚制度、それから通貨単位とか物価とか、ありとあらゆることを研究発表させられた(笑)。僕もいろいろな稽古場を経験してるけど、「おはようございます」と言うなり、みんなが本を周囲に積んでレポート書くのに必死になつている稽古場は初めてでした(笑)。「いつ台本に入るの？」って思うくらい、イギリス社会の勉強はかりしてました(笑)。

——そのせいか、1人1人のベガーたちの迫力がすごくて、役者たちの意識の高さを感じました。

表紙のヒト

内野聖陽

うちのまさあき○68年生まれ、神奈川県出身。早稲田大学卒。文学部所属。96年のNHK朝の連続テレビ小説「ふたりっ子」で注目をあびる。00年東宝ミュージカル「エリザベト」のトートで初のミュージカル出演。近年は舞台を中心に、映画、テレビで活躍。昨年はNHK大河ドラマ「風林火山」で主演の山本勘助を演じ、映画「あかね空」の主演をつとめた。主な主演舞台は前述の「エリザベト」、00年「野望と夏草」、02年「ブルールーム」「数の中」、03年04年の「レミゼラブル」、05年「箱根強羅ホテル」、06年「ベガーズ・オペラ」と「メタル マクベス」など。

次回予定○東宝ミュージカル「ベガーズ・オペラ」3/5～30◎日生劇場◎「私生活」10月◎シアタークリエ
東宝レザーク03-3201-7777

これは群像劇なので、いわゆる額縁の中に収まりきらないくらいのパワーが大事なんです。ベガーたちがイキイキと生きてないと成立しない戯曲だから、ジョンは僕たちをすごく入念に遊ばせていました。

板の上では役者はみんな平等である

——プログラムに書いてあったのですが、ジョン・ケアードさんは日本で上演することによって、原作の古い言い回しなどを、逆に自由にリアルにできたそうですが、役者さんたちがとても自然にしゃべっているのはその効果でしょうか？

そういうところが、ジョンの演出家としての嗅覚の鋭さでしょうね。たとえば僕が稽古場でどこか消化しきれないというのを感じ取ると、通訳の人に「今、彼はなんと言っているんだと聞くんです。そして、これはイギリス人にとつてはすごく心に響く言葉だけど、日本人にはちょっとなじみが薄い言葉だと知ると」「じゃあ変えよう」とフレキシブルな対応してくれる。つまり日本人の僕たちが持っている感受性を尊重してくれるんです。これまで現場でたくさん作品を生みだしてきた演出家ならではの鋭い感覚だと思います。

——役者さんたちにとって嬉しい対応ですね。

「レミゼラブル」のときから彼が言っていたことなんです、「特殊な人間はいない」と。舞台の上に生きていく人間がいることが重要で、観ている人が「あれは3年前の自分だな」とか「オヤジの姿みたいだ」とか、共感を必ず生み出せるような人間作りをする。そういうアプローチなので、役者が内部に持っているいいものが引き出されるし、きらめいてくるんです。そしていつも「ジョンに信頼されている」という気持ちを持てる。

——「板の上ではみんな平等」ということも彼のモットーだと聞きました。

ミュージカルの舞台では、アンサンブルという

言葉が定着してるけど、それはあんまり使わない人です。だから座長である主役に奉仕するために芝居するなんてことはあり得ない。そういうよきこそが演劇の本来の姿なんだけど、場合によってはそうではない芝居もありますからね。

シヨアアップしたミュージカルとは違う面白さ

——オペラと名付けられてますが、この作品の音楽はわりとポピュラーで親しみやすいですね。

使っている曲が、その当時のイギリス人にとって親しかったものが多いんです。たとえば「グリーンズリプス」なんていう、日本人もよく知ってるものとか。そういう当時の流行歌を盛り込むことで、観ている人が身近に感じやすい。物語もこった煮のような複雑さがあるので、庶民のエネルギーが出やすい曲が似合うんだろなと思います。早口言葉みたいな曲もたくさんあって、最初のうちはみんな口がまわらなくて苦労したり（笑）。アメリカから入ってきたシヨアアップされたミュージカルとはまた違う、荒削りなところが魅力だったりする、とにかく楽しい曲が多いというのは間違いないですね。

——マクヒースの歌に関しても、かなりバラエティに富んでいますね。

女の人を口説くときのすごく甘い旋律もあれば（笑）、ロック調もあるし、貴族的な匂いのするものもあるし、たしかに変化に富んでて「なんでもありのこちやませ音楽劇」という感じで面白いですよね。それにマクヒースがなんのためにこの歌を歌うのかというのがはつきりしているの、演技手としてはアプローチがしやすいんです。

悪をプラスにしてみせるスケール感

——マクヒースはいわゆる、女たらしの悪党で

すが、それはどんなふうに演じようかと？

ここまで悪のかぎりを尽くすとすごいというか。人生を謳歌し、酒とギャンブルと女、何でもやらないと人生損だぜという、そういう、たつぷり感。マクヒースにはあるんです。それは何かすごい絶望みたいなところから生まれているのかも知れないし、また単純に人生に対して貪欲な男なのかも知れない。そういう男って男女から見ても魅力があると思うんですよ。それに、たとえ極悪非道でも、自分のできないことをやってしまふことで「素敵じゃないか」と思える存在なんじゃないかな。僕自身にとってはマクヒースは、絵空事に近いファンタジックな存在かな。むしろベガーたちにリアリティがあります。どうしようもない運命を生きているものたちが、憧れの人間を演じる、その落差が面白いと思うので。

——確かにマクヒースは、特別だしファンタジーですね。

だからこそマクヒースという役は、無限大でアプローチもできるんですけどね。「こんなやつだ、マクヒースは」なんて簡単に言えないくらい、手を伸ばせば伸ばすほど大きくなる役だし、「なんであんなことするの?」「いいんだよ、マクヒースだから」って言えちゃうキャラクターなんです（笑）。

——悪いことをしても、負ではなくてプラスの方向へ姿勢が向いているというか。

自分では「いいことしてるんだよ、何が悪いんだよ」としか思っていないから（笑）。そういう強さって人の心を解放してくれる。悔しさ、怒り、憤り、いろんなことを吹き消してくれるような人間、それに人は憧れるんだと思うんです。

——結末も本当は明るくはないけれど、どんな返しも含めてベガーたちのエネルギーで救われますね。

ちよとロマンが入ってますよね。人間はこうあってほしいという。結局はマクヒースだって首吊りじゃないかというところから、むりやりハッ

ピーエントにもつていこうとするエネルギーが素敵だなと。もちろん現実はあるに甘いものではないけれど、あの偉大なマクヒースだって首吊りで終わってしまうというどつしようなない感、諦めに似た気持ちを、最後で全部払拭してくれるのは、ベガーたちのエネルギーで、そこに僕は人間のロマンを感じるし、それがこの作品のすごさだと思います。

——観客も力をもらって帰れるし、また観たくなるんです。

今の人間も抑圧されていて「不当だろ、それ」っていう思いを持っているも、馴らされて何も言わないことが多い。それがベガーたちのパワーを見せられることで、元気をもらえるんです。この作品が、今も脈々とイギリスで人気なのがうなずけるし、日本でやれたこともよかったなと思ってます。

——劇空間ごと二気に観客は巻き込まれるし、まさに「これぞ演劇」という楽しさのある舞台ですね。

だから、役者としてもいろいろ考えることができます。「あんなチャレンジもしたい、こんなチャレンジもしたい」となってくる。そういう火種がいつはあるし、その火種からまた返ってくるものがある。やっぱりライブのよさって、想像を越えたところで観客と楽しめることです。

劇場というのは特別な磁場が働くところだし、そこで自分たちの想像を超える表現ができたときなんか、本当にすごい充実感がありますね。

——そのために、また新たな気持ちで取り組み直すということですね。

土台は初演と一緒でも、今回の結果がどう出るか、何が起きるんだろう、どんなものができるんだろうという、新鮮な感覚を持って稽古場も本番もいたいですね。そういうドキドキした気持ちやワクワク感を、僕だけではなく全員が楽しんでいるので、この「ベガーズオペラ」の再演を、楽しみにしててください。



発表! 選ぶ 読者が選ぶ えんぶチャート 2011

年に1回のこのチャート。今回は前年と比べると
ハナキの量がなんと2倍近くに増えてます!
前号の内容がいろいろと豪華だったのもあるでしょうが、その応募内容
を見ていると、「演劇を見る人が増えた」のではないかなと思わされます。
作品から、あるいは俳優から広がっていくエンゲキの楽しみっていいものですね。
さて、お待たせしました! それではドーンと発表です!

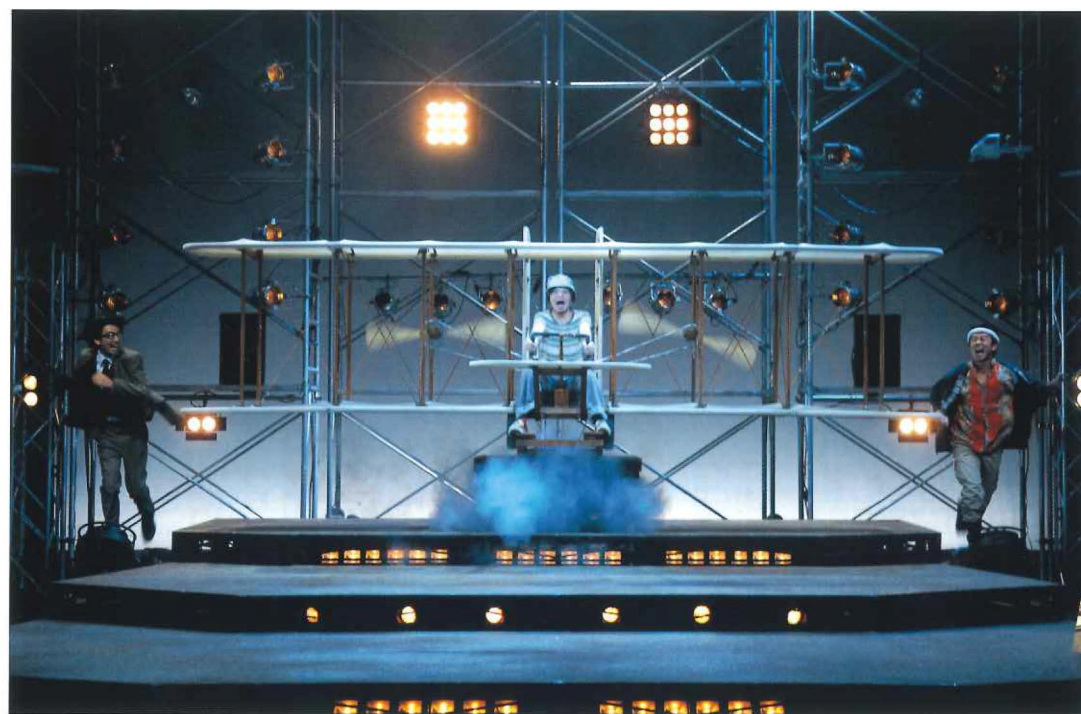
撮影◎青木司(作品6位/俳優25、29、30位)、伊東和則(作品3位/俳優6、8、16位)、NAOTO.OTSUBO(作品1、5位/俳優1、4、7、17位)、鏡田伸幸(俳優3、19、22位)、北澤壯太(俳優14、28位)、ユスガデスガ(作品2、7位/俳優12、24位)、
設楽光徳(俳優9位)、高梨光司(俳優10位)、田中亜紀(作品4、10位/俳優2、11、13、21、27位)、引地信彦(作品9位/俳優15、18、23位)、谷古宇正彦(作品8位、俳優5、20、26位)

作品チャート

TAKEOFF ~ライト3兄弟~ [KKP]

3416

06年前半戦と07年後半戦で、のべ36,000人の人々を熱狂させた、KKP『TAKEOFF』が堂々の1位に。それぞれに悩みを抱える、「アビル」「シノダ」「オリベ」の3人が作り上げたライトフライヤー「HAE」が飛び立つラストシーンは実に感動的。



data
脚本・演出◎小林賢太郎 出
演◎オレンヂ タツ沢雄 小林
賢太郎 音楽◎LOSALLOS
07/9/22~24◎シアター
BRAVA! 9/27~28◎アステ
ールプラザ 10/2~3◎中京大
学文化市民会館 10/10~11
◎仙台市民会館 10/16~17
◎新潟市民芸術文化会館
10/20~21◎北九州芸術劇
場中劇場 10/24~11/4◎天
王洲銀河劇場



宣伝美術◎
good design company

voice

「暗転さえも美しかった舞台。『無音の12秒』、初めての体験。これほどに長くて、これほどにドキドキするなんて思ってもみなかった。この12秒に夢・希望・人生すべてを捧げた3brothers。ラストシーン、ロザリオスの『HAE』と共に空に浮く瞬間「私もとべる」と思った(東京都/みき)」、「すみずみまで笑いや驚きが仕込まれて

いて、油断のすきがありません!! なかなか決断できずに悩んでいたことも、ぼんっと背中を押して応援してもらえたような気がします(石川県/さも)」、「賢太郎さん、あなたはなんという作品を創ってしまったの!!(富山県/もりなみ)」、「考えるより、感じる舞台。観るより、楽しむ舞台。違うことなきエンターテインメント(神奈川県/みど)」

俳優「監督」を目指す人へ

2008年
5月開講生
募集中

演劇コース 昼間部 夜間部 1年制

16人の演出家のワークショップを受け演劇の多様性に触れ、様々なタイプの演劇に挑戦します。

劇場公演

一年間学んできたことの集大成として、プロの演出家のもと舞台作品をつくり、劇場で上演します。

 専任講師 赤堀雅秋 (THE SHAMPOO HAT)	 専任講師 松村武 (カムカムミニキーナ)	 専任講師 高井浩子 (東京タンバリン)	 専任講師 横山仁一 (東京オレンジ)
担当講師 青木豪、浅井さやか、新井友香、板垣恭一、今井朋彦、河原雅彦、きだつよし、黒川麻衣、故林広志、近藤良平、志賀廣太郎、田辺茂範、平田オリザ、明神慈 ほか			

詳しくは76ページへ

授業内容
演技基礎、
ヴォイストレーニング&ストレッチ、
台本の読み解き方、リーディング、
実践講座(ウェルメイド講座/
コメディ講座/ミュージカル講座) ほか

映像俳優コース 昼間部 夜間部 1年制

映画界で活躍している監督を講師に迎え、授業で撮影した作品は映画館で公開します。

作品制作

専任講師が実践的な指導をおこない、あなたの俳優としての魅力を最大限に引き出します。

 専任講師 船橋淳 (BIG RIVER)	 専任講師 村松正浩 (けもののがける)	 専任講師 亀井亨 (病葉流れて)	 専任講師 本田隆一 (GSワンダーランド)
---	--	---	--

詳しくは79ページへ

授業内容
ヴォイストレーニング&ストレッチ/
演技基礎/コラボレート講座/
ワークショップ講座/教養講座/
オーディション講座 ほか

映画監督コース 昼間部 夜間部 1年制

一年間で、映画・映像作品を制作するための技術と知識を身につけ、作品をつくり映画館で公開します!

個人作品制作

第一線で活躍する映画監督の指導のもと、1人1本「自分が本当に撮りたい映画」を制作し、映画館にて上映します。

 専任講師 富永昌敬 (コナオトナノオナノコ)	 専任講師 古厩智之 (奈緒子)
---	--

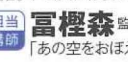
教養講座(映像俳優コース共通)

活躍中の監督やプロデューサーによる年一回の講義です。

 担当講師 山下敦弘 (天然コケッコー)	 担当講師 中島哲也 (嫌われ松子の一生)
--	---

コラボレート講座

映像俳優コースとの合同授業で、撮影時の役割や、演出方法などを学びます。

 担当講師 富樫森 (あの空をおぼえてる)	 担当講師 豊島圭介 (ユメト夜)
---	---

詳しくは79ページへ

授業内容
機材入門/脚本入門/照明入門/
録音入門/ノンリニア編集入門/
映像俳優コースとの
コラボレート講座/教養講座 ほか

ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001ビル4F
Tel. 03-5282-1341 HP. www.enbu.co.jp/zemi/

3月と4月に説明会と体験授業を実施します。詳しくは、77・79ページをご参照ください。

資料請求無料!

お電話、HPまたは
こちらのQRコードから



8 カリギュラ

[Bunkamura]

1037 | caligula



世界の不条理に絶望し、暴君と化した皇帝「カリギュラ」。蛇川幸雄によって鮮やかにビジュアル化された舞台上で交わされる哲学的なセリフの応酬が刺激的だった。

宣伝美術・写真
永石勝 (triple-0)



data 作・アルベール・カミュ 翻訳・岩切正一郎 演出・蛇川幸雄 音楽・朝比奈尚行 美術・中越司 照明・大島祐夫 音響・鹿野英之 衣裳・小峰リリー 舞台監督・芳谷研 出演・小栗旬 若村麻由美 藤地涼 長谷川博己 横田栄司 月川悠貴 磯部勉 青山達三 笠一久 廣田高志 新川将人 富岡弘他 07/11/7〜30 Bunkamuraシアターコウケン、12/5〜11 イオン化粧品 シアターBRAVA!

voice 「今まで、いろいろと舞台を観ましたが、こんなに魅きこまれたのは初めてです。小栗さんを観たいというよりは『カリギュラに会いたい』という気持ちで観に行きました(東京都/マドレーヌ)」、「キャストそれぞれが役にハマリ、それぞれを生きていたという印象。台詞の1つ1つが印象に残り、自分の中で消化していく過程も面白く、すべてにおいて強い印象が残った作品でした(東京都/kuro)」

9 わが闇

[ナイロン100℃]

832 | waga yami



小説家の父と神経質すぎる母、その子供たち3人。破壊した家族がその後淡々と営んでいく日常は、平穏で、しかし地獄のように見える。KERAが久々にホームグラウンドで書き下ろした新作は、誰もが持つ機微を絶妙に切り取った。

宣伝美術
坂村健次 (C2デザイン)
樋口大 鈴木健朗 岡崎智子 (C2デザイン)

data 作・演出・ケラリーノ・サンドロヴィッチ 演出・犬山イヌコ みのすけ 荻村リエ 三宅弘城 大倉孝二 松永玲子 長田奈緒 廣川三恵 岡田善徳 坂井貴紀 長谷川朝晴 他 舞台美術・中根聡子 照明・関口裕二 音響・水越佳一 映像・上田大樹 舞台監督・福澤諭志・至福園 07/12/8〜30 本多劇場、08/1/13〜14 イオン化粧品シアターBRAVA!、1/17〜19 道新ホール、1/23 アステールプラザ大ホール、1/26〜27 北九州芸術劇場中劇場、1/30〜31 リーとびあ

voice 「出来事そのものというより、その時の感情の揺れが心に響きました。07年最後に観た作品がNo.1でした(東京都/ジュッテン)」、「沢山悩みはあるけれど、観終わったあと「これからは生きていける」と思えた作品でした。人は闇をかかえても生きていかなければならない、逆に闇をかかえていても生きていくことができるのだと感じた(東京都/よりこ)」

10 THE BEE 日本バージョン

[NODA・MAP番外公演]

808 | the bee ver.nippon



日常は簡単に非日常へと覆り、人はたやすく犯罪や死に馴れ親しむ。そのおぞましさと悲しさを描いた筒井文学を、リアルな現実として見せる腕力こそ野田演劇。ロンドン版と日本版、2つの上演でそれぞれの国民性まであぶり出した。

宣伝美術・平田好
宣伝写真・加藤孝

data 原作・筒井康隆「蜂のあい」(新潮社)より 脚本・野田秀樹とコリン・ティーパーン 演出・野田秀樹 出演・野田秀樹 秋山菜津子 近藤良平 浅野和之 美術・堀尾幸男 照明・小川慶雄 演出・効果・高部幸男 舞台監督・瀬原典子 07/6/22〜7/9 世田谷パブリックシアター

voice 「日本ヴァージョンとロンドンヴァージョンの美術・演出の違いに驚いた。ラストは日本ver.好み(神奈川県/c@s)」、「観ている我々に訴えかけ、投げかけてくる力が圧倒的でした。07年の演劇作品の幅を広げてくれた作品だったと思います(埼玉県/Y.T.)」、「狂気と脅迫と驚愕の世界が70分間に凝縮されていました。(栃木県/けいすけ)」

6 犬顔家の一族の陰謀

〜金田真一耕助之介の事件です。ノート〜
[劇団☆新感線2007年夏休みチャンピオン祭り]

1378 | inugaoke no ichizoku no inbou



超有名映画をベースに、あんなネタこんな遊びを盛り込んだ、豪華で壮大な“お遊び”。シリアス路線もいいけど、新感線のネタものはまた格別! 目の前で繰り広げられることにただただ笑わせられる、極上のエンターテインメント。

宣伝美術・イラスト・東郷

data 作・演出・いのうえひでり 出演・吉田新太 宮野真守 藤地涼 橋本じゅん 高田聖子 小松和重 櫻井まこと 池田成志 水野花 他 美術・池田ともゆき 照明・飯泉淳 振付・川崎悦子 アクション監督・川原正嗣 音楽・岡崎司 衣裳・竹田国吉 映像・上田大樹 舞台監督・芳谷研 07/7/17〜8/4 イオン化粧品シアターBRAVA!、8/11〜9/9 サンシャイン劇場

voice 「やっぱり新感線のネタものはサイコーです! いい大人が大まじめにくだらない事を一生懸命に演じる。それだけでもすばらしいのに、お芝居全体が気持ちよくあつとゆうーまに過ぎていくようになめらかに違和感なく楽しむ事ができます。それもこれも、長年つちかてきたチームワークのなせるワザでしょう!(茨城県/ねんすけ)」

7 キャバレー

1284 | cabaret



ブロードウェイや映画で高い評価を受けているこの作品を、松尾スズキが演出! 狼狽で切なくて、退廃的だけれど希望の光へ向かう力——松尾版「キャバレー」は、人生そのものを鮮やかに描いた。

宣伝美術・河野真一 宣伝写真・秦淳司

data 台本・ジョー・マステロフ 作曲・ジョン・カンダー 作詞・フレッド・エプ 翻訳・目黒泉 日本語台本・演出・松尾スズキ 出演・松雪泰子 阿部サダヲ 森山未來 小松和重 村杉蟬之介 平岩紙 秋山菜津子 他 07/10/6〜21 青山劇場、10/26〜28 愛知厚生年金会館、11/2〜4 大阪厚生年金会館大ホール

voice 「とにかく楽しく、終演後の喪失感で軽いうつになりました……。エンドレスに観ていたい作品でした!!(茨城県/カーチョ)」、「松尾スズキワールド全開で最高! 振り付けの康本雅子さんのダンスが、キャバレーという作品を新しくさせたといっても過言ではなかった(兵庫県/まゆ)」

4 HONOR

〜守り続けた痛みと共に〜
[TEAM NACS]

2182 | honor



TEAM NACSの故郷である北海道を舞台に、ある架空の村の70年間に及ぶ歴史を描いた「HONOR」。村の神木や祭りの和太鼓など、時間と共に紡がれていく“想い”を描き、客席からすすり泣く音が絶えなかった。

宣伝美術・吉澤正美

data 脚本・演出・森崎博之 出演・TEAM NACS(森崎博之 安田顕 佐藤重幸 大泉洋 音尾琢真) 美術・堀尾幸男 照明・小川慶雄 音楽・NAOTO 衣裳・三木志保 小松江里子 舞台監督・津田光正 監督・企画製作・オフィスキュー アミューズ 07/3/9〜4/1 天王洲銀河劇場、4/6〜15 シアタードラマシティ、4/26〜5/13 道新ホール

voice 「07年に観た舞台で一番衝撃を受けた作品でした。今までにないくらい自分の感情が作品にのめり込んでいて、涙として出ていきました。この作品を生で観て良かった(神奈川県/まんまる)」、「ふるさとへの温かい思いと迫力ある太鼓の演奏、一人の男の人生が心に強く響き涙が止まりませんでした。お芝居を観てこんなに泣いたのは初めてです(神奈川県/ハル)」

5 TEXT

[ラーメンズ]

1875 | text



小林賢太郎、片桐仁からなるラーメンズ2年ぶりの本公演となった「TEXT」。絶妙なコンビネーションも健在で、まるでひとつの物語を見ているようなコントを次々と展開した。会場からは感嘆の声がもれるほど。

宣伝美術・good design company

data 脚本・演出・小林賢太郎 出演・片桐仁 小林賢太郎 07/2/1〜10 天王洲銀河劇場、2/21〜28 新神戸オリエンタル劇場、3/2〜7 西鉄ホール、3/13〜25 東京グローブ座、3/28〜4/1 かなでホール

voice 「日本語とはこんなにも可笑しく、美しく、切ないものだったのか。最近はやりの略語、若者言葉なんかよりずっと、正しい日本語のほうがおもしろい。日本語本来の表現力の豊かさを、改めて思い知らされた作品(広島県/タフィ)」、「[?]→[!]」に変わる、そんな笑い。計算しつつあった丁寧な言葉が心地良い想像力をかわせる、そんな公演です(広島県/伊藤香織)」

2 朧の森に棲む鬼

[INOUE KABUKI SHOCHIKU-MIX]

2433 | oboro no mori ni sumu oni



救いようのないくらい極悪な主人公で、新しい“いのうえ歌舞伎”へと踏み出したこの舞台。美しさとまがさがしとが絶妙にないまぜになって、観客を朧の森へと引きずり込む。思想も表現も、これまでの新感線の時代物からさらに歩を進めた作品だった。

宣伝美術・河野真一
宣伝写真・野波浩

data 作・中島かずき 演出・いのうえひでり 出演・市川染五郎 阿部サダヲ 秋山菜津子 真木よう子 高田聖子 櫻井まこと 小須田康人 田山涼成 古田新太 他 美術・堀尾幸男 照明・原田保 衣裳・小峰リリー 振付・川崎悦子 松本錦升 アクション監督・川原正嗣 音楽・岡崎司 音響・井上哲司 舞台監督・芳谷研 06/12/29〜07/1/28 新橋演舞場、2/3〜2/25 大阪松竹座

voice 「キャスト・ストーリー・音楽・舞台演出・衣裳・小道具に至るまで文句なし! 間違いない07年度最高の舞台でした(大阪府/回転猫)」、「融合が革新か。各々の個性がぶつかりあってバクハツしているはずなのに、一本の真(芯)がある。観ていて、いつときも目が離せなかった(静岡県/なんちゃん)」

3 トリツカレ男

[演劇集団キャラメルボックス]

2341 | toritsukare otoko



興味をもったことに夢中になり、その道を極めてしまう「トリツカレ男」ことジュゼッペを畑中智行が好演。生まれて初めて恋にトリツカレたジュゼッペの一途な想いとひたむきな情熱が、多くの女性ファンの共感を呼んだ。

宣伝デザイン・ヒネのデザイン事務所・森成三

data 原作・いしじんじ「トリツカレ男」(新潮文庫刊) 脚本・演出・成井豊 出演・畑中智行 岡田達也 西川浩幸 大森美紀子 坂口理恵 岡田さつき 菅野良一 岡内美香子 他 共同脚本・演出・関部雅則 美術・松井るみ 照明・堀尾幸男 音響・早川毅 振付・川崎悦子 舞台監督・村岡晋 矢島健 製作総指揮・加藤昌史 プロデューサー・仲村和生 07/11/9〜11 名鉄ホール、11/15〜22 新神戸オリエンタル劇場、11/29〜12/25 サンシャイン劇場

voice 「おもちゃ箱をひっくり返したような楽しさと、忘れていたビュアな心がずっと入ってくるような温かさ。素直に観て楽しめる、そんな素敵な作品(東京都/次席)」、「切ないけれど、きらきらしてあったかい。冬の冷たい空気の中に輝くイルミネーションのような、寒い季節にぴったりの作品でした(東京都/nero)」

5 小栗旬

1688 | Shun Oguri



舞台上映画にテレビにと大活躍だった07年。テレビドラマ『花より男子2』『花ざかりの君たちへ』で小栗旬ブームを巻き起こし、映画『キサラギ』『スキヤキウエスタンジャンゴ』『クローズZERO』もヒットを飛ばした。舞台は『お気に召すまま』『カリキュラ』に出演し、舞台俳優としての根性と実力を見せつけた。

schedule 映画『花より男子〜ファイナル〜』6/28公開◇ラジオ『小栗旬のオールナイトニッポン』放送中

voice 「極悪非道のカリキュラが、純粋で崇高で、神々しく見える。今の彼にしかできない演目だったと思います(兵庫県／アレン)」、「登場すれば黄色い悲鳴でわめかれるアイドルみたいな役者だなんて思って本当にごめんなさい。『カリキュラ』を観てそのイメージは払拭されました。そこには俳優・小栗旬が、いやカリキュラがいました。『怒り』がにじみ出たような、力強い演技を見せていました。本物の舞台俳優、小栗旬を推薦します!(愛知県／藤美)」

6 岡田達也

[演劇集団キャラメルボックス]

1007 | Tatsuya Okada



自身初のプロデュース公演『猫と針』では、劇団のイメージから意図的に距離を置いた静かなサスペンス劇を展開させ、大きな反響を呼んだ。この他、『まつさをな』『トリツカレ男』などに出演。

schedule 演劇集団キャラメルボックス「きみがいた時間 ぼくのいく時間」2/28〜4/7◇サンシャイン劇場、4/12〜17◇新神戸オリエンタル劇場、4/23〜28◇大阪厚生年金会館 芸術ホール

voice 「世界最大級のハツカネズミ、キュートでした(埼玉県／しず)」、「いい人から腹黒男までどんな役でも(動物も)かっこすぎです(新潟県／あぼろ)」、「あなたがなければ私の舞台おっかけははじまりませんでした。今年も(一方的に)会いに行きます! 私の大切な活力源です!(北海道／もみじ)」

7 久ヶ沢徹

959 | Toru Kugasawa



昨年は、『ツグノフの森』、KKP『TAKEOFF』に出演。作品チャート1位に輝いた『TAKEOFF』では、鍛えられた肉体とひょうひょうとした佇まいで『オリベ』役を好演した。

schedule サモ・アリナンスプロデュース『洞海湾 -九州任侠外伝-』4/4〜15◇下北沢 サズナリ

voice 「みんなの兄貴です! 舞台上に現ただけであんなに拍手が起きる人はそういないんじゃないかと思います(山形県／めい)」、「彼の筋肉と演技が大好きです(埼玉県／おでん)」、「今、アニキを演らせた、久ヶ沢徹が一番だと思う。あれほどバカで愛すべき漢(オトコ)を見せてくれるのは彼しかない!(愛知県／万)」

2 阿部サダヲ

[大人計画]

3106 | Sadawo Abe



『脳の森に棲む鬼』では健気な子分、大人計画本公演では奔放に暴れ回り、『キャバレー』ではMCを悲哀と可笑しさを交えつつ、『座頭市』ではキレの良さを見せた阿部。07年は主演映画『舞妓Haaaaan!!!』が公開の他、ドラマ『ファースト・キス』『医龍2』レギュラー出演など八面六臂の活躍だった。年々その存在感に輝きと華やかさを加え、今年もその活躍からいっとき目が離せなくなりそう。

schedule 『グループ魂のぼつぽつんフェスティバル』6/21・22◇秩父ミュージックパーク野外ステージ◇映画『ハコと魔法の絵本』今秋公開予定

voice 「この人以上に昨年輝いた人はいたでしょうか。一度、観たら忘れられない演技。一度、観たら忘れられない役者。阿部サダヲ恐るべし(埼玉県／Peko)」、「舞台に出てきた瞬間空気が変わり、彼の動きから目が離せなくなってしまう。もっともというんな姿を観たいです(岐阜県／さと)」、「マンガの動きを生で再現できる奇妙な役者・阿部サダヲにもう夢中!(岐阜県／くに)」

3 古田新太

[劇団☆新感線]

2035 | Arata Furuta



『脳の森に棲む鬼』『葦原検校』『犬顔家の一族の陰謀』『犯さん哉』と、舞台俳優・古田新太をたっぷり堪能できた07年。ケラリーノ・サンドロヴィッチとタッグを組み、自ら座長を務めた『犯さん哉』では、他が真似できない超ナンセンス芝居を作りあげた。

schedule PARCO presents「49日後…」4/12〜5/6◇PARCO劇場、5/9〜11◇愛知厚生年金会館、5/14◇札幌市教育文化会館、5/22〜25◇シアタードラマシティ ◇新感線☆RS「五右衛門ROCK」7/6〜28◇新宿コマ劇場、8/8〜24◇大阪厚生年金会館大ホール ◇フジテレビ『MANNINGEN』(司会レギュラー)毎週土曜深夜放送

voice 「年々、色気や纏う空気が増している気がします。『脳の森〜』や『犯さん哉』など全く違う魅力を見せられました(兵庫県／さち)」、「古田さんに魅せられて何年!? 毎舞台期待を裏切ることなく、さらに!! 新しい魅力を発見してくれる古田にますます魅されてゆく私です(東京都／Sakurami)」

4 片桐仁

[ラーメンズ]

1841 | Jin Katagiri



07年は、ラーメンズ『TEXT』を終え、『ツグノフの森』『ひーはー』と、様々な作品に出演。舞台上で唯一無二の存在感を放ち、舞台役者としての成長を同させた。

schedule 演劇大空エリー『GOD DOCTOR』5/4〜18◇新国立劇場 小劇場、5/22・23◇兵庫県立芸術文化センター

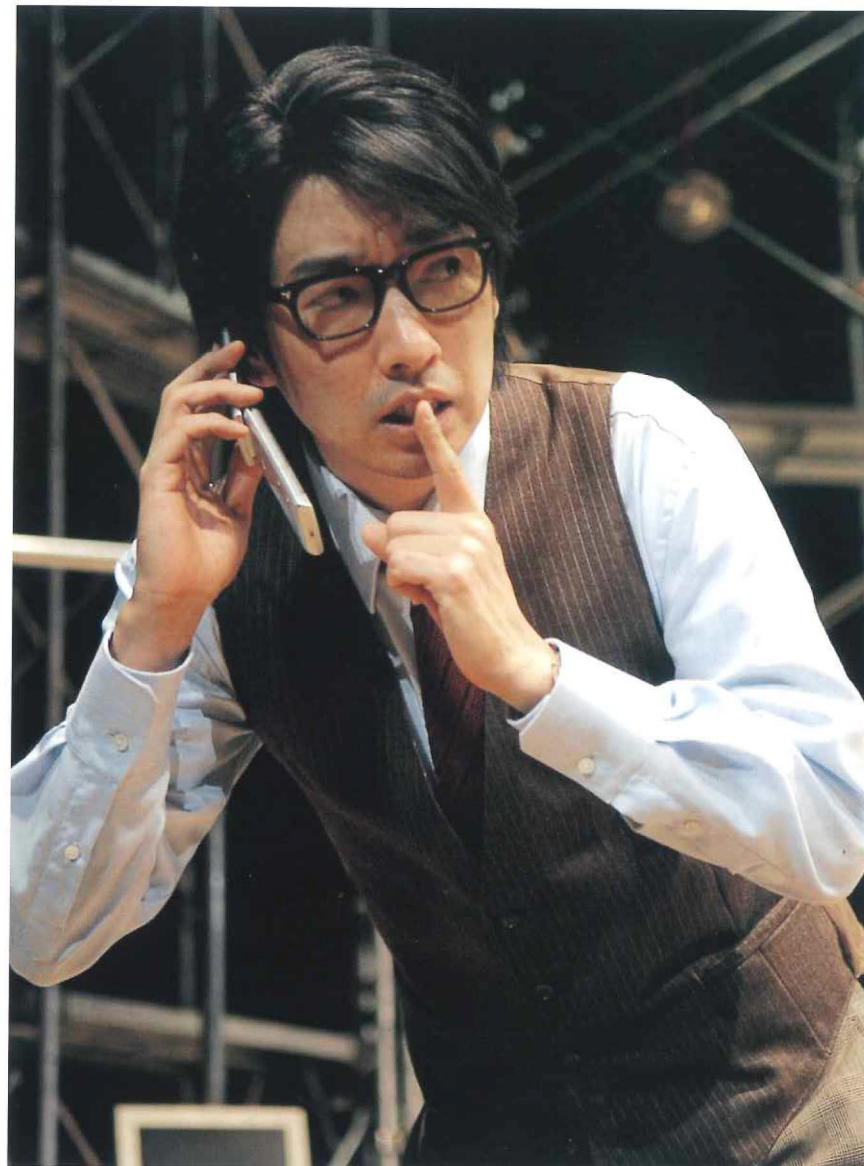
voice 「にじみ出る癒しオーラがすごいです。演技中にも、よりたくさんのオーラが感じられてすごく和んでしまいます。(東京都／はちこ)」、「個人のキャラクターが強いように見えて、実は全くそうではなく、すべてが演じられていると気付いたときに、本当に、役者という人のすごさを感じました(神奈川県／aal)」、「圧倒的な存在感と天然オーラで客席に笑いをもたしてくれる素晴らしい俳優さんです(岐阜県／kafran)」

1

俳優チャート 小林賢太郎

[ラーメンズ]

3939 | Kentaro Kobayashi



ラーメンズ、KKP、Potsunenと、舞台にこだわり、様々なスタイルで表現し続ける小林賢太郎が、ついに1位を獲得。07年は、約2年ぶりのラーメンズ公演『TEXT』と、06年に続いて上演されたKKP『TAKEOFF』という二作品で、ライブの面白さを多くの人に伝えた。

schedule

Kentaro Kobayashi Solo Performance:Live Potsunen 2008「Drop」3/14〜16◇福岡・ももちパレス、3/19〜23◇新神戸オリエンタル劇場、3/27〜30◇札幌・かえるホール、4/2〜13◇世田谷パブリックシアター、4/17・18◇名古屋・アートピアホール ◇単行本『大瀬利狼 優勝』(河出書房新社)3/25発売

voice 「小林賢太郎さん=“引力の策士”。この人のつくるものは、兎に角、心をゆさぶったり惹きつける力が強い。彼の思い通りに心を動かされているとしても、悔しいけど本望だと思っています。そのくらいのが、彼と、彼の脚本にはある(東京都／に)」、「最高の芸術家です。知的で上品で時々切なくて、色っぽくて、大人で温かくて面白くて。小林賢太郎さんの生み出す言葉、空気、微かな動き、すべてに恋します(神奈川県／後藤結衣)」、「人間の小さな喜怒哀楽を繊細にひろいつつ、笑いにして届ける。知的マジシャン小林賢太郎(東京都／まご)」、「小林賢太郎さんは私の期待を裏切ってくれる人。その見事な裏切りが観ている人々を虜にしよう(栃木県／永遠)」

受賞コメント『1位になった分、責任が伴うなと思っています。』

まずは、本当にありがとうございます。最初に1位と聞いたときは、おもしろがってみんなで見られてたんです。でも、ちょっと冷静に考えると、これはすごくむずかしいんですけど、複雑な気分でもあるんです。もちろん自分の仕事には自信を持っていますし、1位は嬉しいんですけど、僕が作っているものは特殊ですからね。そもそも演劇というか、エンターテインメントやパフォーマンスというのは、スポーツではないから得点は出せないですよね。どっちがおもしろかったっていうのは人によっても違うし、明確な数字が出るものではない。結局僕らは数字にならないものを作っているか

ら。それで時々、えんぶチャートとか、チケットが何分で売り切れたとか、数字で表せる事実が現れると、それを頼りに判断する人も出てくると思うんですね。そういう意味では、その分責任が伴うなとは思っています。でも、お父さんにもお母さんにも、「なんでも一番になることはいいことだ」と育ててもらいましたので(笑)、まずは素直に喜びたいと思います。実は、個人でもらった1位よりも、『TAKEOFF』が作品チャートで1位をもらったということのほうが全然嬉しいです。まずは久ヶ沢(徹)さんとオレンヂくんに伝えたい。そして観に来てくれたお客さんたちにも報告し

たいです。スタッフのみなさんにも感謝しています。もはや『TAKEOFF』というお芝居は、僕が作ったものではないような感じがしています。まだまだ勝手にどこかに飛んで行きたがるんだろうなという感じがして。僕自身が、「もうやらない!」って言うても、「そうはいかない!」と『TAKEOFF』が言っているというか。だからどこかでまたやられるのかな、という気はしています。せっかく作品も俳優も1位をもらったから、1位になったことをフルに利用したいですね。『演劇ぶっく』に対してわがままを一つ言うてみるとか。今がチャンスですよな?(笑)

27 野田秀樹

188 | Hideki Noda



犯罪の被害者が加害者になるプロセスを、狂気と理性を併せ持つ人間像で見せた『THE BEE』日本版。英国版では巻き込まれる女性も演じてしまう天才役者。

28 平田敦子

185 | Atsuko Hirata



schedule

サモ・アリナンス・プロデュース『洞海湾 - 九州任侠外伝-』4/4~15
○下北沢サズナリ
○『春子ブックスター』
6/12~15
○東京芸術劇場、6/18~22
○シアターBRAVA!
○『ウェディングママ』7/24~8/4
○世田谷パブリックシアター 他
○Piper『ベントラー・ベントラー・ベントラー』

福田転球との二人芝居は『肉女』『つゆ男』と年2作品にチャレンジ。Piper『ひーはー』でも独自の存在感を見せ、幅広い層から支持を集めた。

29 宮藤官九郎

[大人計画]

173 | Kankuro Kudo



schedule

映画『クワイエットルームにようこそ』DVD 3/19発売
○ウーマンリブvol.11
『タイトル未定(新作)』
11/8~12/7
○下北沢本多劇場、12/10~16
○兵庫県立芸術文化センター

07年も大人計画本公演と『犬顔家〜』の舞台出演、脚本映画『舞妓Haaan!!!』と出演映画『クワイエットルームにようこそ』公開など、快進撃を見せた。

30 高田聖子

[劇団☆新感線]

166 | Syouko Takada



schedule

月影番外地『物語が始まる』4/23~5/4
○赤坂RED/THEATER
○新感線☆RS『五右衛門ROCK』7/6~28
○新宿コマ劇場、8/8~24
○大阪厚生年金会館 大ホール

『醜の森〜』からモダンスマイーズ、『犬顔家』、真心一座、そしてNODA・MAPと1年を駆け抜けた。中でも真心一座で見た座長役の男前っぷりは圧巻!

23 池田鉄洋

[猫のホテル]

298 | Tetsuhiro Ikeda



schedule

猫のホテル公演『けんか哀歌』5/1~11
○本多劇場

暗黒の漫才師、ふんどし一丁の昔人、人生斜めの生活者。多彩な役柄の中に、その存在感が輝く。自ら主宰する演劇ユニット『表現・さわやか』での作劇も出色。

24 森山未来

264 | Mirai Moriyama



schedule

新感線☆RS『五右衛門ROCK』
○ドラマ『刑事の現場』(NHK)3/1・15・22・29(全4回)21:00~
○映画『百万円と苦虫女』今夏公開予定

ファナティックな魂が、爽やかな容姿の内側で燃える。その炎は赤というよりは青白く、『血の婚礼』でも『キャバレー』でもその熱が妖しく輝いていた。

19 大倉孝二

[ナイロン100℃]

408 | Koji Okura



飄々とした佇まいとキレのある演技はこの人ならではの持ち味。TVドラマ・映画などでも活躍する中、『橋を渡ったら泣け』『犯人さん哉』『わが闇』の3作品に出演した。

20 北村有起哉

387 | Yukiya Kitamura



schedule

『トウランドット』3/27~4/27
○赤坂ACTシアター、5/2~9
○大阪・梅田芸術劇場 メインホール、5/13~22
○名古屋・御園座
○『道元の冒険』7/7~28
○Bunkamuraシアターコクーン、8/3~10
○イオン化粧品 シアターBRAVA!

『私はだれでしょう』『CLEANSKINS/きれいな肌』『すけだち』『欲望という名の電車』と様々な舞台に出演して幅の広さを見せつけた。朝日舞台芸術賞山修司賞、読売演劇大賞優秀男優賞を受賞。

21 大泉洋

[TEAM NACS]

362 | You Oizumi



schedule

映画『アフタースクール』5月シネクイント他全国公開予定
○映画『ゲゲゲの鬼太郎2(仮)』夏公開予定

舞台出演は『HONOR』のみだったが、映画、TVドラマ、CM、声優など多彩な活躍を見せた1年。『HONOR』ではメンバー全員による和太鼓の生演奏に挑んだ。

22 生瀬勝久

311 | Katsuhisa Namase



schedule

サンケイホールブリーゼ 柿落し公演『冬の絵空』12/6~17
○サンケイホールブリーゼ、09/1/12~2/1
○世田谷パブリックシアター
○TBS系『地球! ジョグラTV』毎週土曜 19:56~

井上ひさしと三谷幸喜という、コメディの巨匠2人の作品で気を吐き、久しぶりの演出まで手がけた昨年は、大阪小劇場界が生んだ才能を堪能させる活躍ぶりだった。

15 佐藤重幸

[TEAM NACS]

537 | Shigeyuki Sato



schedule

映画『同志会』今春公開予定
○ドラマ『愛馬物語』(フジテレビ)5月放送予定

『GH00000ST!!』ではプロデューサー・脚本・出演と自ら先頭に立ち公演を牽引。昨年12月、俳優名を佐藤重幸から戸次重幸に改名した。

16 栗根まこと

[劇団☆新感線]

506 | Makoto Awane



schedule

新感線☆RS『五右衛門ROCK』7/6~28
○新宿コマ劇場、8/8~24
○大阪厚生年金会館 大ホール

新感線の舞台のみならず、お笑い系からシリアスまで客演多数。テレビの大河も出ればイラストも描く。去年は朗読劇にまで登場、マルチ役者の活動は広がる。

17 オレンジ

[フラミンゴ]

465 | orendi



schedule

フラミンゴ単独ライブ vol.15 [H] 3/19・20
○北沢タウンホール 【お問い合わせ: (有)カラー 03-5468-5822】

KKP『TAKEOFF』への出演で、一気にチャート急上昇。07年の『TAKEOFF』後半戦では、より『アビル』らしく成長。コントユニットフラミンゴのメンバーとしても活躍中。

18 音尾琢真

[TEAM NACS]

453 | Takuma Otoo



schedule

映画『アフタースクール』5月シネクイント他全国公開予定

『HONOR』『GH00000ST!!』とTEAM NACSの公演に続けて出演。『GH00000ST!!』では「人工知能の幽霊」という特殊な役柄を好演した。

11 秋山菜津子

684 | Natsuko Akiyama



schedule

『わが魂は輝く水なり』5/4~27
○Bunkamuraシアターコクーン
○『まほろば』7/14~21
○新国立劇場小劇場

『醜の森に棲む鬼』『THE BEE』『キャバレー』『死ぬまでの短い時間』と話題作に次々出演。それぞれ違った顔を見せ、舞台女優としての実力と存在感を突きつけた。

12 市川染五郎

611 | Somegoro Ichikawa



schedule

日本舞踊協会記念公演『関の扉』3/28歌舞伎座
○『陽春大歌舞伎』4/1~25
○名古屋御園座
○『五月大歌舞伎』5/2~26
○新橋演舞場

徹底的に悪くて残忍な『醜の森に棲む鬼』のライ。ウソもつけば騙しもある。その果てにある死まで迷うことなく突っ走る。この作品でまた一回り大きくなった。

13 安田顕

[TEAM NACS]

600 | Ken Yasuda



schedule

平成20年前期 NHK 朝の連続ドラマ小説『瞳』

『HONOR』『歌の翼にキミを乗せ』に出演。『HONOR』では村の神木を守り続ける老人・五作を演じ好評を博した。『ハケンの品格』などTVドラマでの活躍も目立った。

14 山内圭哉

[Piper]

584 | Takaya Yamauchi



schedule

[MIDSUMMER CAROL ガマ王子 VS ザリガニ魔人] 3/21~4/6
○PARCO劇場、4/14~16
○シアタードラマシティ 他
○乾球劇場『猪瀬藩子〜ラストデイズ、ラストライズ〜』(構成・演出)4/23~27
○下北沢「劇」小劇場、5/2~5
○新・ABCホール
○『宝塚BOYS』8/1~31
○シアタークリエ 他
○Piper #7『ベントラー・ベントラー・ベントラー』10月
○スペースゼロ 他

Piper『ひーはー』や福田転球との共作『肉女』ではめいっばい笑わせてくれ、新国立劇場『たとえ野に咲く花のように』では切ない青年役をシリアスに熱く演じた。

発表! 選ぶチャート
読者が選ぶ
2007

8 畑中智行

[演劇集団キャラメルボックス]

923 | Tomoyuki Hatanaka



voice 「初客演から始まり、2度目の主演で幕を閉じた2007年。新たな一面を見せてくれました!(茨城県/あさがお)」、「キャラメルでの存在感が年々増して、『少年ラヂオ』の時は違う安定感が今回の『トリツカレ男』では感じました。奥行きのある役者さんになれると思います(三重県/dora)」

2月の『デンキ島』への客演に始まり、その後、キャラメルボックスの3作品に出演。『トリツカレ男』では2度目の主演を果たすなど、成長著しい若手俳優のひとり。

9 藤原竜也

869 | Tatsuya Fujiwara



voice 「『ヴェニスの人』ではさわやかなバナーニオ、そして驚きの2役を演じ、その演技の幅の広さに魅せられました。彼にしか表現できない世界を感じずにはいられません(福島県/mimi)」、「匂いたつような男の色気と少年のピュアさを併せ持つ唯一の俳優。デビューから10年を経て、今後の10年がますます楽しみ(神奈川県/Yuyutaki)」

「ロープ」出演後、イギリス留学を経て挑んだグレゴリー・ドラン演出の『ヴェニスの人』では新たな顔を見せた。ひとり3役を演じ、軽妙な演技で笑いを誘った。

schedule

『身毒丸』3/7~4/10
○彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
○『かもめ』6/20~7/12
○赤坂ACTシアター

10 高橋洋

722 | You Takahashi



voice 「主役を食ってしまいそうな圧倒的存在感を感じる役者さんです。最近はこのかた目当てに観に行っています(兵庫県/ようこ)」、「喋り劇す男、ふさぎ屋、哀しい悪。どれも近くにはいてはくれないけど、洋さんの演技の魅力ですべてに心揺さぶられました(福島県/あっこ)」

明晰な声とキレのいい身体、うちに潜む情念で、蜷川シェイクスピアには欠かさない役者。なかでも『オセロ』のアイアゴは鋭い演技で、その手で物語を血に染めた。

schedule

Bunkamura『道元の冒険』7/7~28
○Bunkamuraシアターコクーン

[illegible]

00

化商報
7438

特選チャート1-10

3556 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[194-200] 長瀬川 PPS32471

3557 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[201-206] 長瀬川 PPS32472

3768 **アデルイ**
[Iwazakura] Densetsu-mv

3769 **アデルイ**
[Iwazakura] Densetsu-mv

3558 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[207-212] 長瀬川 PPS32473

3559 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[213-218] 長瀬川 PPS32474

3560 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[219-224] 長瀬川 PPS32475

3561 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[225-230] 長瀬川 PPS32476

3562 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[231-236] 長瀬川 PPS32477

3563 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[237-242] 長瀬川 PPS32478

3564 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[243-248] 長瀬川 PPS32479

3565 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[249-254] 長瀬川 PPS32480

3566 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[255-260] 長瀬川 PPS32481

3567 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[261-266] 長瀬川 PPS32482

3568 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[267-272] 長瀬川 PPS32483

3569 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[273-278] 長瀬川 PPS32484

3570 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[279-284] 長瀬川 PPS32485

3571 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[285-290] 長瀬川 PPS32486

3572 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[291-296] 長瀬川 PPS32487

3573 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[297-302] 長瀬川 PPS32488

3574 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[303-308] 長瀬川 PPS32489

3575 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[309-314] 長瀬川 PPS32490

3576 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[315-320] 長瀬川 PPS32491

3577 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[321-326] 長瀬川 PPS32492

3578 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[327-332] 長瀬川 PPS32493

3579 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[333-338] 長瀬川 PPS32494

3580 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[339-344] 長瀬川 PPS32495

3581 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[345-350] 長瀬川 PPS32496

3582 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[351-356] 長瀬川 PPS32497

3583 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[357-362] 長瀬川 PPS32498

3584 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[363-368] 長瀬川 PPS32499

3585 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[369-374] 長瀬川 PPS32500

3586 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[375-380] 長瀬川 PPS32501

3587 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[381-386] 長瀬川 PPS32502

3588 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[387-392] 長瀬川 PPS32503

3589 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[393-398] 長瀬川 PPS32504

3590 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[399-404] 長瀬川 PPS32505

3591 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[405-410] 長瀬川 PPS32506

3592 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[411-416] 長瀬川 PPS32507

3593 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[417-422] 長瀬川 PPS32508

3594 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[423-428] 長瀬川 PPS32509

3595 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[429-434] 長瀬川 PPS32510

3596 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[435-440] 長瀬川 PPS32511

3597 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[441-446] 長瀬川 PPS32512

3598 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[447-452] 長瀬川 PPS32513

3599 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[453-458] 長瀬川 PPS32514

3600 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[459-464] 長瀬川 PPS32515

3601 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[465-470] 長瀬川 PPS32516

3602 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[471-476] 長瀬川 PPS32517

3603 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[477-482] 長瀬川 PPS32518

3604 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[483-488] 長瀬川 PPS32519

3605 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[489-494] 長瀬川 PPS32520

3606 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[495-500] 長瀬川 PPS32521

3607 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[501-506] 長瀬川 PPS32522

3608 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[507-512] 長瀬川 PPS32523

3609 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[513-518] 長瀬川 PPS32524

3610 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[519-524] 長瀬川 PPS32525

3611 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[525-530] 長瀬川 PPS32526

3612 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[531-536] 長瀬川 PPS32527

3613 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[537-542] 長瀬川 PPS32528

3614 **ダブリンの鐘つきかたに人罪**
[543-54

2 太陽まであと一歩
 (原田真央・キムラ・トモヲ)

3 阿修羅城の瞳
 (Shinichi Kurosawa)

7885
 7885

1 ウーマン・イン・ブラック〜黒い女〜
 (Shinichi Kurosawa)

7885
 7885

4 飛龍伝
 (Shinichi Kurosawa)

[illegible][illegible][illegible]

えんぶチャート20回記念企画

誌面で見ると、
えんぶチャート
よりぬき
[舞台編]

89年に「モノクロ3ページ、写真なし」で始まった「えんぶチャート」(当時は全部ひらがなでした)が20回目をむかえました。この企画は読者の投票のみで順番が決まるというものだけに、多くの読者の皆さんに支えられ続けた20回でした。ほんとうにありがとうございました! 感謝の気持ちをこめまして、そのわりには2ページで、しかも「よりぬき」でチャートを振り返ってみる企画をたててみました。お楽しみ頂けましたなら幸いです。

(編集長・坂口真人)

第6回
93年
率いる東京サン
イズが、一歩間
差劇に、とも思
キリのシチュー
イーで大人気に
。』が2位、『ラヂ
9位。1位はサー
ランス』で、この
表紙からスター

発表!!
えんぶちやーと'93

即便ちやーと合計 995
3,985通

作品ちやーと合計 733

1位
『ラヂオ』
作品ちやーと 121
即便ちやーと 121
合計 242

2位
『サーランス』
作品ちやーと 118
即便ちやーと 118
合計 236

3位
『月食』
作品ちやーと 115
即便ちやーと 115
合計 230

4位
『Nylon100℃』
作品ちやーと 112
即便ちやーと 112
合計 224

5位
『SLAPSTICKS』
作品ちやーと 110
即便ちやーと 110
合計 220

6位
『KERA』
作品ちやーと 108
即便ちやーと 108
合計 216

7位
『宮本虎門』
作品ちやーと 105
即便ちやーと 105
合計 210

8位
『月夜』
作品ちやーと 102
即便ちやーと 102
合計 204

9位
『月食』
作品ちやーと 100
即便ちやーと 100
合計 200

10位
『月食』
作品ちやーと 98
即便ちやーと 98
合計 196

発表!!
えんぶちやーと'93

1位
『ラヂオ』
作品ちやーと 121
即便ちやーと 121
合計 242

2位
『サーランス』
作品ちやーと 118
即便ちやーと 118
合計 236

3位
『月食』
作品ちやーと 115
即便ちやーと 115
合計 230

4位
『Nylon100℃』
作品ちやーと 112
即便ちやーと 112
合計 224

5位
『SLAPSTICKS』
作品ちやーと 110
即便ちやーと 110
合計 220

6位
『KERA』
作品ちやーと 108
即便ちやーと 108
合計 216

7位
『宮本虎門』
作品ちやーと 105
即便ちやーと 105
合計 210

8位
『月夜』
作品ちやーと 102
即便ちやーと 102
合計 204

9位
『月食』
作品ちやーと 100
即便ちやーと 100
合計 200

10位
『月食』
作品ちやーと 98
即便ちやーと 98
合計 196

作品ちやーと

1位
『ラヂオ』
作品ちやーと 121
即便ちやーと 121
合計 242

2位
『サーランス』
作品ちやーと 118
即便ちやーと 118
合計 236

3位
『月食』
作品ちやーと 115
即便ちやーと 115
合計 230

4位
『Nylon100℃』
作品ちやーと 112
即便ちやーと 112
合計 224

5位
『SLAPSTICKS』
作品ちやーと 110
即便ちやーと 110
合計 220

6位
『KERA』
作品ちやーと 108
即便ちやーと 108
合計 216

7位
『宮本虎門』
作品ちやーと 105
即便ちやーと 105
合計 210

8位
『月夜』
作品ちやーと 102
即便ちやーと 102
合計 204

9位
『月食』
作品ちやーと 100
即便ちやーと 100
合計 200

10位
『月食』
作品ちやーと 98
即便ちやーと 98
合計 196

NODA-MAP「キル」渡辺いっけい
サイケ歌舞伎「月食」宮本虎門
Nylon100℃「SLAPSTICKS」KERA

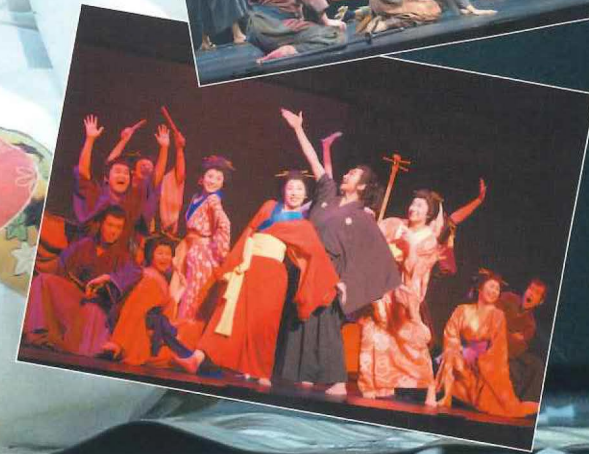
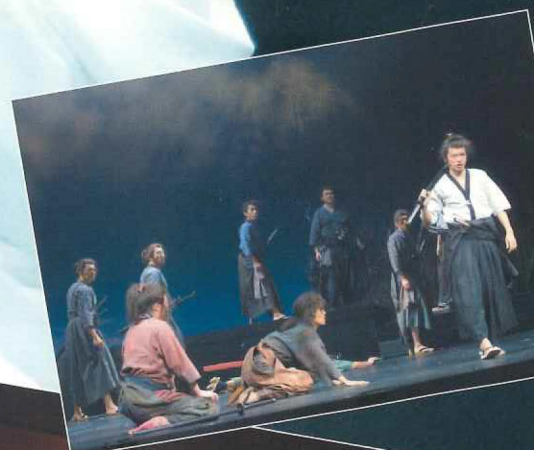


新感線の舞台に初めて現れた「幕末」
そこには日本の夜明けを夢みて
闇のなかを彷徨う若き暗殺者の姿があった。
森田剛が生きる「人斬り以蔵」の日々は、
京の夜を切り裂き血の匂いに染められる。
彼を走らせるものは、天か、それとも人か。
だがその叫びと問いは
時代の激しい風のなかで碎けて散った。

作：青木 演出：のり子
出演：森田剛 戸田恵梨香 木場勝己 西田徳馬 千葉哲也 豊村孝弘 森田剛 山内圭哉 他
1/6 全公演 1/8 2/3 青山劇場 2/10 1/19 NAKA-BEAM

Z

新感線プロデュースいのう歌舞伎☆號



安政元年(1854年)、身分制度の厳しい土佐で、足輕の岡田以蔵(森田剛)の運命を、郷士の武市半平太(田辺誠一)が変えた。武市は以蔵に自分の道場で剣術を学ばせてくれたばかりか、江戸にも随行させてくれたのだ。武市に心酔する以蔵。やがて、土佐勤王党の面々とともに要人暗殺に携わり、「人斬り以蔵」と怖れられ、幕末の暗殺者としてのみその名を馳せていく以蔵。そんな彼を心配し慕う幼なじみのミツ(戸田恵梨香)。だが時代の風が変わるなかで、以蔵の存在は武市にとってうまいものになっていく。



田辺誠一

たなべせいいち 69年生まれ、東京都出身。メンズノンノのモデルから、92年にテレビドラマ「熱い胸騒ぎ」で俳優デビュー。以降、テレビ、映画、舞台などの話題作に多数出演。映像アーティストとしても活躍している。最近の出演ドラマはNHK大河ドラマ「風林火山」、TBS「潮ごしの恋人」など。新感線への出演は、05年の「荒神-AraJinn」以来2度目。

次回予定◇映画「ぐるりのこと」初夏公開予定

武市(田辺聖一)「容堂様、あの犬の忠告を
よう聞いていらっしゃいましたか。
私のこの無念、いつか
容堂様にも降りかかることで御座いましょう。
天は動き続けます。徳川幕府は長くはござらん。」



武市は以蔵をすくくわいがつていて、この芝居にも江戸に剣術修業に連れていきますが、史実によると、そのあと以蔵を連れて坂本龍馬とともに九州に行つてゐるんです。現代的なたえですと、横山やすしとかシローケン(萩原健一)とかが28才くらいの頃のイメージで、「先生、先生」となつてきて、しかも剣は強くて、学はないけど勘はよくて、みたいなことをそばに置いておくのは悪い気持ちではなかったはず。でもそいつがいろいろな面で逸脱していくと距離が出来て「コミニケーションが薄くなる。そこから関係性がずれていった。そんなふうに捉えています。」

信じることを救つた

武市もやがて牢獄に閉じこめられて、最後は切腹させられて、無残な結末ですね。

武市は、以蔵から、人を信じる、ということを手伝うんだと思います。以蔵が捕まるとき、武市は以蔵を信じないですね、全部しゃべるだろうと。でもしゃべらなかつた。それを知つて「こんなに俺はバカだったのか」と、そして「こんなに俺は幸せだったのか」と武市は思ふんですが、以蔵を信じ切れなかつたところが武市の立場の持つ悲しさですね。時代の変化もあつて、土佐

勤王党が大きくなつてきて、たくさんの人を率いていかなければいけなくなり、武市自身も責任がある立場になつてきた。たくさんの方たちと以蔵を計りにかけた場合、以蔵を切り捨てる方向にいかざるを得ない。そういう状況の変化が、2人の関係を以前とは違うものにしてしまつたと思います。

今回のこのうさ歌舞伎に取り組んで、改めて感じたことは?

もともと舞台というものは、映像との方法論の違いをすごく感じていて、カメラが仲介してくれるわけではないので、いかに感情を届けるかという点では、技術が必要だなと思つていました。このうさ歌舞伎に出たとき、その方法論がいっぱいあるんだと。たとえば「悲しい」というセリフを普通に言うとしたら、落として言うんです。でも、このうさ歌舞伎だとバシッと明るく言い切つてしまつたりする。感情にせりふが押しつぶされる手前何割かキープして、感情が雪崩れる部分はお客さんに渡す。そういう、いわば感情と反対の方法論とかさまざまな表現方法があることを知つて、面白いと同時に難しいなと思つてます。でもそういう発見のある舞台が、とても楽しいですね。



以蔵(森田剛)「夜になって星を眺めちゅうのう...
天が回つちゅうがが分かるがじゃ。
天は動きよる。それやったら
何を天じゃと信じればえいがじゃろうのう。」

田辺さんの武市半平太は、とても人間くさいという気がしたのですが、どういう解釈でこの造型を?

感じの感想が多かつたので、思つた通り出せていたのかな。もつと線が細くて冷たくて合理主義みたいな描かれかたが多かつたですね。あの時代に、あれだけの集団をまとめていたのは、冷酷だけでは人間的魅力があつたんだらうなと思ふんです。ただ、これはあくまでも岡田以蔵の物語ですから、基本的には「武市がどうあれば以蔵は悲しいのかな」というところで作つていこうと。その結果、武市と以蔵の関係に、ある種の愛情関係みたいなものを出していきたくと思つたんです。実際にある時期、

「天」ってなんだろうと考える
人斬りとして幕末を震撼させた岡田以蔵。だが森田剛演じる以蔵は、純粹で真つ直ぐで人間的。時代に翻弄され、信じていた人に裏切られ、最後に「天は動く」と悟る——。以蔵の叫び、悲しみを、森田剛は全身全霊で表現した。

森田さんの以蔵は、すごく純粹で人間的だと思ひました。演じる上で気を配つたところは?

3時間以上ある舞台で、森田さんはほぼ出づばりでしたが。シーンがすごくたくさんあつて、どんなスビーディーに繋がっていく舞台なので、あまり長いシーンがないんですよ。でもひとつひとつのシーンを丁寧にやっていると、気付いたら一幕が終わり、そして気が付いたらもう最後のシーンで...という感じで、やつているときはあまり長く感じなかつたんです。終わつた後はぐったりですけどね笑。

感情の動きをわかりやすく

後半、武市半平太に見捨てられる以蔵の姿が、すごく迫つてきました。やつぱり武市さんとの関係が軸になる部分だと思ふので、そこはわかりやすく伝えたいなと思ひました。少し恋愛の関係に近い感覚なのかと思ひます。武市さんに捨てられそうになつて「俺を捨てないでください」と懇願したりするシーンは、女性的な気持ちで演じてました。

一方、幼なじみのミツとの関係も、互いに好きなのに素直になれなかつた、もどかしい感じですね。女性のお客さんが多い、ということもあつて、たぶんミツさんを通して舞台を観る方が多いと思ふんです。だから岡田以蔵の葛藤というか、武士として生きたいという思いと、どうしたらいいんだろという迷ひみたいなものを、ミツさんとのシーンで見せていこうと。武市さんとの関係もそうですけど、以蔵の感情の動きをなるべくわかりやすく見せようと思ひました。

森田さんは今回で舞台は二作目ですが、また舞台に出たいと思ひますか?

うーん、今は思ひませんが(笑)。舞台って、特に新感線やらせていただくのはすごく勉強になるし、本当にいい経験だなと思ふんですよ。でもそこでもういろいろなものや、きちゃんと自分で整理していかないと、しつこやかめっちゃかになつちゃう。でも楽しいなとは思ひているので、チャンスがあればまたやりたいなと思ひますね。

森田剛

もりたこう 79年生まれ、埼玉県出身。04年テレビドラマに出演。翌年結成されたV6のメンバーとしてCDデビュー。以降32枚のシングルと10枚のアルバムをリリース。グループ内ユニット「Coming Century」としても活動している。映画やテレビドラマでも活躍中。舞台は、劇団☆新感線「荒神-AraJinn」(05年)で初主演を務め、今作が主演舞台第2作目となる。

次回予定◇LIVE DVD「V6 LIVE TOUR 2007 Voyager〜僕と僕らのあした〜」発売中



田中新兵衛(山内圭哉)

「金を惜しまず、

良か、新しか剣を買え。

剣は武士の魂じゃ。

魂が安うなったら、侍ではなくなる。

人でもなくなる。ただの獣になる。」



勝海舟(栗根まこと)

「世界を見てみりや分かるよ。

侍なんて制度があるのは、この日本だけだ。

侍だけじゃない。殿様もいなくなる。

日本に身分なんてものがなくなる。

その時キミはどうやって生きる？」

坂本龍馬(池田鉄洋)「以蔵さんもよ。
上のもんが威張り散らちゅう国は
嫌じゃあ言うちよつたじやろうが。
この国を面白い国にしたいがじゃ。
力を貸してくれんかの？」



『IZO』という幹をみんなで繁らせる

幕末という時代を描くこの舞台では、歴史上で有名な人物たちが次々に登場する。その有名な人々を演じた3人、幕府の知識人・勝海舟の栗根まこと、土佐の風雲児・坂本龍馬は池田鉄洋、薩摩藩の人斬り・田中新兵衛は山内圭哉。以蔵との関わりや物語での役割もそれぞれ大きな3人に、この作品を語ってもらった。

話に出口がある脚本

池田さんと山内さんは、新感線の出演経験というの？

池田 僕は初出演です。いのうえさんの演出は、99%と言ってもいいくらいいのうえさんが見本をやってみせてくれます。そういう演出は経験がなかったで、やりつらいのかなと思ってたのですが、すごく大きな動きがパンとはまってリフを言うのが気持ちよくて、本番が始まったらどっか楽しくなっていました。

山内 僕は約10年前に新感線Rの第1回に出た以来です。今回は全然イメージの違う右近健三さん主演のロックものでした。いのうえさんは劇団がこんなに大きくなっても、あまり変わらずに相変わらずオモロくて笑。ただ細かい感情の演出が増えたかな。

山内さんは、今回の役はかなりイメージが違っている。

山内 Piperのファンとかから「なんで笑わしてくれないんですか？」ってメールが来て(笑)。でも、笑いはこれには要らない、いらんことしたくない。

栗根 笑いの虫は騒がないのかな？

山内 騒がないですよ、ホント。こうみえてもバランス感覚で、周りの色を見て決めていくほうなんです。田辺さんが稽古場で独特の武市半平太を作り上げていて、天然というか、思いつきで物言っている。みたいな、それでかえって以蔵がものすごくかわいそうに見える。だったら新兵衛も悪気ないほうがいいかな。素直に本当のことを言う、それが以蔵にとってはきつはずだから。

栗根 そいう新兵衛だから、よけい以蔵のコンプレックスを刺激するんだろね。

山内 以蔵の刀についても、何気なしに「武士の魂だから無理しても良いのを買え」と言ってしまう。青木さんの本「つごい」と思っている、新兵衛もそのあとで自分の刀を盗まれて自害

扇町コンビの懐かしさ

池田さんの龍馬はいい人風ですが、実は策士かな。

池田 けっこう計算してますね。龍馬の人物感ってどんな俳優さんでもそんなに感じてなかった気がするんですよ。だったら僕は小物感を出してみようかな。オーバークシヨとかキャラをどうこう変えることで人の気を引くとか、以蔵が破滅へ向かう一因になった勝海舟の護衛に利用したこととかで、ずるさみたいなものが出ればいいな。

栗根 でも龍馬は計算もあつたけど愛情もあつて、勝と会ったのは以蔵を変えたかったんだよね。

山内 その勝海舟役ですが、出番が2シーンしかなくて残念ですね。

栗根 僕も不満です(笑)。

山内 栗根さんの勝海舟って、裏がなくて理性的で、いかにもこうだったんだらうと思う。

池田 右近さんの姉小路公知と並ぶと、なんか懐かし。

栗根 あれはサービスショットです。昔劇団がホームグラウンドにしていた扇町の香りがすると言われています。

山内 動きのタイミングとか、シーンの軽さとか、間寛平さんと木村進さん(笑)。お互いに信頼してない絶対やれない間ですね。

栗根 いのうえさんと劇団の人間たちから見ると、並べてみたくもあるものがあるのかもしれない。でもけっこうあのシーン、丁々発止でやっています。

山内 それは見ててわかりますよ。

栗根 シーンは2場面ですが、意識としては3つに切ってます。最初は山内客室のシーン、2番目は公知と以蔵、全部「対」で説得してる状況で、「硬い頭をばぐして今の日本を考えてく

憑依する森田剛

以蔵は物語のなかで、本当にたぐさんの人に出会ったんです。

山内 それなのに2択で必ず間違えて(笑)。

栗根 そこが以蔵たるゆえんです。歴史にIFはないけど、あの時あなてたというものが、日単位、時間単位で起きている時代だから。池田 間違えやすい時代ですね。勝ったものが正義になる。

山内 以蔵の面白いところは人を殺すときだけ、きっちり頭働くんですよ。自分を追っている井上佐一郎殺しも、油断させて殺す。そんだけ知恵働くんならもつとなんかたやと(笑)。

池田 史実でも殺したたがうまかつたそうなんです。

山内 ある面だけの偏った能力というの。

池田 そのストイックというか、ヒアな部分、森田剛くんがやるとうまく出てますよ。3時間、力を抜かず全力で突っ走って、それにこんな眼をちゃんと見て芝居する人はめったにない。

栗根 なんですし、あの眼がカチは、舞台で眼が合うとドキとする。

山内 セリフも、2年くらい前から台本持つてた？ みたいに自然だ。こちらがテキスト変えるところと返してくる。ちやうど恐くなるという、憑依してるみたいな感じがする。

栗根 中島かずきの、いのうえ歌舞伎、はワイフ

封じ手の面白さ

新感線としてはシリアスな舞台だと思っ

ですが、これからの活動にどう繋がるのでしょうか？



栗根まこと

山内圭哉

池田鉄洋

やまうちたかや○71年生まれ、大阪府出身。92年に劇団リハビリターミーに入団。01年よりPiperに加入。自身のプロデュースユニット wat mayhemでは作・演出も手がけたり、07年には田辺氏の小説「パンク侍、斬られて候」を舞台化、脚本・演出・主演をつとめる。The Jizz Monksというバンド活動など多才ぶりを発揮している。新感線出演は、98年「The Vampire Strikes Rock」以来2度目となる。最近の出演作品は映画「真夜中のマーチ」、舞台はPiper「ひー」1「たえば野に咲く花のように」など。映画「ハコと魔法の絵本」が今秋公開予定。

次回予定◇「MIDSUMMER CAROL」ガマ王子VSザリガニ魔人「3/21-4/6」○リリコ劇場 他 新潟・仙台・大阪・広島・福岡・名古屋公演あり。◇「宝塚BOYS」8/1-31○シアタークリエ 他 地方公演あり。◇Piper本公演#7「ベントラーベントラーベントラー」10月○スペースゼロ、他 地方公演あり。

あわねまこと○64年生まれ、大阪府出身。85年より劇団立新感線に参加。マッドな博士から薄幸の美男子まで幅広く演じられる貴重な存在。外部での舞台や、映像でも活躍。またイラストや文章を雑誌などで連載中。最近の出演作品はNHK大河ドラマ「功名が辻」、映画「ローレライ」、舞台は演劇集団キャラメルボックスの「まつさな」など。

次回予定◇リハビリターミーII春公演「罪と、罪なき罪」3/8-4/6○世界観「下北沢ザ・スズナリ」西荻ホール。新感線☆RX「五右衛門ロック」7/6-8/24○新宿コマ劇場・大阪厚生年金会館大ホール

いけだてつひろ○70年生まれ、東京都出身。93年より劇団 猫のホテルに参加。演技派男役として外部の舞台や映像でも活躍中。コミュニケーション表現「さやかわか」では、作・演出も手がける。新感線には07年「大神家の一族の陰謀」に映像出演、本格参加は初めて。最近の出演ドラマは「医龍 Team Medical Dragon2」「ヒミツの花園」(ともにフジテレビ)など。

次回予定◇猫のホテル「けんか哀歌」5/1-5/14○本多劇場、リョーとびあ(新潟市民芸術文化会館・劇場)

シヨんで、絵空事を見せる面白さですよ。でもこれは実話で、結末まで知っているなかで、どこまでドラマを見せることができるか、派手なアクションとかの見せ場が少いものをどう見せるか、その挑戦だったと思います。それを、以蔵の森田くんや初舞台の戸田恵梨香ちゃんのがんばりで太い幹ができて、周りのキャストがそれぞれ枝葉を繁らせたし、底力みたいなものを見せたと思います。

山内 お客さん全部がいいと思わなくてもいいと思うんですよ。とにかく森田くんはホームランを打った。新感線の舞台としてもエポックメイキングだと思う。

池田 僕らにもホックメイキングですよ。

栗根 今回のいのうえは各キャラに違うことをさせてるんですよ。山内に笑、を封印した殺し屋をやらせ、静かな二枚目の田辺誠さんに熱い武市をやらせ、濃い芝居のできる木場さんに淡々と京都人をやらせ、大阪人の栗根に江戸弁をしゃべらせる。イケテツも爽やかだし。そういう封じ

手にみんなが真正面から挑んでる、それが何よりこの舞台を面白くしていると思います。



わ

ナイロン100℃
31st SESSION

が

作・演出◇ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演◇大山イヌコ みのすけ 峯村リエ 三宅弘城 大倉孝二 松永玲子 長田奈麻 廣川三憲 喜安浩平 吉増裕士 菅戸麻衣 岡田義徳 坂井真紀 長谷川朝晴
07/12/8〜30◎本多劇場、1/13・14◎イオン化粧品 シアターBRAVA! 1/17〜19◎道新ホール、1/23◎アステールプラザ 大ホール、1/26・27◎北九州芸術劇場 中劇場、1/30・31◎リョーとびあ

闇

これはとある一家の物語。昔は著名な小説家（後にお笑い評論家に転身）だったが、現在は寝たきりとなった父・柏木伸彦（廣川三憲）。そんな彼のドキュメント・ムービーを製作する為、監督の滝本（岡田義徳）と助手の大鍋（大倉孝二）が柏木家を訪れた。母・基子（松永玲子）は30年以上前に自殺しており、一家には長女の立子（大山イヌコ）、次女の艶子（峯村リエ）とその夫の寅夫（みのすけ）、父の書生だった三好（三宅弘城）が暮らしている。わずか10才にして文壇デビューし、父と同じ道を歩む立子、独善的な寅夫に振り回される艶子、そして、都会に出て女優になったが、突然柏木家に舞い戻った三女の類子（坂井真紀）は、家族という枠組の中で、各々の“闇”と向かい合うことになる――。

開演前、そのタイトルからネガティブな連想をしてしまいました……。が。
その物語は、突飛な世界観や陰惨な事件から離れた“距離”を持ち、
様々な角度から、家族に渦巻く闇、そして絆を描いた作品。
ケラリーノ・サンドロヴィッチが3年ぶりに劇団に書き下ろした新作『わが闇』。
劇中のラストシーンはあまりにストレートで力強く、それ故、極めて美しかった。



看板俳優たちの新鮮さと真っ直ぐさ

弱い者に強く独善的——徹底的に嫌な男・寅夫を演じたみのすけと、寅夫に翻弄されながらじっと堪える艶子を演じた峯村リエ。2人とも劇団を代表する看板俳優ですが、これまで絡みのある配役が少なかったとか。「新鮮さを楽しめるベテラン」って、ある意味最強だと思っています。そんな「初の夫婦役」となった2人の登場です！



その場で生きてる感じ

——ちょっと意外なんですけど、これまで舞台上で絡む機会が少なかったようにですね。

峯村 そうなんです。実は夫婦役も初めてなんですけど、だからすごく新鮮だったし、最初の頃は「うわ、恥ずかし」って汗がいた。

みのすけ 今回、リエちゃんとの絡みも決めごとで行くダメなんです。その時起こったことに反応していく感じだから、気が抜けないっていうか、難しいけど面白い。日によって違う感覚になって、自分も相手も変わる。それがすごく演劇的で面白いです。

峯村 そう！ その場で生きてる感じ。

みのすけ 空気が動いている感じがするよね。

——共演してみて、改めて発見はありましたか？

みのすけ くだらないコトなんですけど、リエちゃんと会話すると……高いんですよ。僕が強いこと言うシーンでも、見下ろされてるから上から視線で喋れない。威張ってるんじゃないって、頑張ってる風になっちゃう。

峯村 強く言われるシーンは私が椅子に座るようになって（笑）。あと、目が本当に怖いんです！

（笑）。目まで意識して演技されているんです。

みのすけ いや、目までってことはないけど、「三三」したら変だし（笑）。

こんなに嫌な印象が残る役は……

——みのすけさんは久しぶりにダメな男を演じられて。

みのすけ こんなに嫌な印象が残る役はあまりやったことがないので新鮮でした。ただ、みのすけさん演じた寅夫は女性のお客さんにとって、一番嫌なタイプじゃないですか。出ていくと、お客さんが「うわあ、嫌だな」って感じてるのがすごくよく分かるんです。

峯村 うん、伝わってくる。

みのすけ 「厄介な人が出てきた」みたいな。

——峯村さんが演じた艶子はいかがですか？

峯村 やっててね、すごくストレスが溜まってくるんです。

みのすけ 抑えていく役だからね。

峯村 そうなの。一度、ワッツって舞台で全部出しちゃったことがあったんです。それはそれで自分なりに気持ちよかったんですけど、その後 K E R A さんから「艶子はワッツで出さない人だから、もうちょっと抑えて下さい」とダメ出しがあつて。だから、抑えて抑えてやっていかないと、いけないあつて。

みのすけ 舞台上で涙目になっている時ありますからね。素では「可哀想だな」と思っただけで、そういう役だから僕もカッと言わなくちゃいけないし。

直球で恥ずかしがらず行く

みのすけ 今回はキャラクターひとりひとりのバックボーンとかを考えるのが面白いんですよ。語られてない所で想起させるものがすごく多い。終演後、飲みに行っても「このキャラはこうなんだ」とか論じるのが楽しい。新しい発見があったりね。

峯村 誰か1人のことについて、ずっと話せる感じなんだよね。台本で K E R A さんが想定

したもの以上のバックボーンを見つけたりと。お客さんはお客さんで私達が考えているのと違う捉え方をしたりするので、それを聞くのがすごく面白いんです。

——ところで、今作のラストシーン、すごくストレートに綺麗なシーンでしたね！

みのすけ ハッピーエンドが前提にあつたんですけど、台本が出来てくるにつれてどんどんディープになっていくから、皆で「これ、どうやってハッピーエンドにするの？」とか話して。

峯村 「結局ならないんじゃない？」とか笑。

みのすけ そうそう。でも、1月に地方公演もあつたし、悲劇でバツと終わらせなくて良かったと思う。「救いがある」といっても、その後どうなるか分からないし、それぞれの幸せは見えてこないんです。

峯村 闇を抱えながらも生きていかなければ、みたいなね。

みのすけ K E R A さんは元タレントなんです。だけど、ナイロフで表現する時にはそれを隠すからそう思われてない。今回は直球がスツと出たから、お客さんにとっては意外に感じたかもしれないですね。そういうのが出てくる時期とか年齢とかもあるかもしれないけど、直球で恥ずかしがらず行くっていうのも、すごく自然にアリアリな気がしました。



峯村リエ

みねむらりえ 東京都出身。劇団健康に参加し、その後もナイロン100℃中心メンバーとして活躍。ナイロン以外でも、ウーマンリブ「キラークイーン666」、NODA-MAP「走れメロス」、グリーン「海賊」など、数多くの人気公演に出演している。

次回予定 映画「飲慕の歌」公開中 映画「くるり」08年公開予定 映画「筑地魚河岸三代目」08年公開予定

みのすけ

みのすけ 65年生まれ。東京都出身。85年、ナイロン100℃の前身である劇団健康の旗揚げに参加。その後、劇団健康・ナイロン100℃のほとんどの公演に出演している。ヒューな存在感が印象的だが、今作では久々に「憎まれキャラ」を演じた。俳優以外にもミュージシャンとして活躍中。

次回予定 ライブ「池田聡&みのすけ」のりくらり弾き語り二人旅〜13/13〜4/5 神奈坂、広島、岡山、京都、大阪、滋賀、名古屋、伊勢、浜松、さいたま、下北沢。詳細はHPまで。 <http://www.minosk.com/>

自然に、真面目に、存在しながら

劇中での掛け合いとは違いますが、「この2人にしか出せない雰囲気」をとっても感じました！

岡田義徳が演じたのは、撮影に熱い情熱を持ちつつも、資金面で「プロデューサーのヒモ」であることを受け入れる映像監督・滝本。

そして、大倉孝二が演じたのは、滝本の後輩にあたり、まるで「軽いノリ」で世の中全てを渡っていくかのような直感的な人物・大鍋。

岡田さん曰く「隠し真面目」な2人の本音トーク、ご堪能下さい！

大倉 役割として、確かに客を和ませる役なんですけど、楽しませる人にはなりたくないなというのがある。もうちょっと世界観に馴染んだ所で、自然とそうなるっていう。感じを、観た人に可笑しく思ってもらえたらと思うんです。アピールする笑いにしたくなかった。芝居自体としては、かつてないほど地味で、淡々と観る感じのかなと思っただけなんですけど、みんな想像以上に笑ったり楽しみなんで観ているので、そこにすくすく

く意外性を感じましたね。

岡田 それは僕も思いました。

——お客さんが笑うことをあまり想像してなかった？

大倉・岡田 全然してなかったです。

大倉 でも、そこが落とし穴で「笑うんだ」って思い始めると、ウケない日は「今日は笑わない」ってことが気になり始めて、よく分からないことになるんです。だから、笑わせようってことを意図しないでやりたいとは思ってましたね。

大倉 僕なんかシーンによつては素で笑ってますからね。素で笑うこととお客さんも「これでいいんだ」っていう空気になる感じがする。大倉さんとの最初の絡みで「あつ、今日はこのリズムだ」って何となく分かるし。

大倉 ひどい日あったもんね。

岡田 テンションの問題でね笑。そういう時は「今日はゆるいから笑って込んでいこう」と思ったりとか。多分その辺つてお互い様で、僕がダメな時は大倉さんが笑って込んでくれるんです。

大倉 岡田君が間違えた時は妙なやり甲斐を感じる。「おつ、どうやってこれ乗り切ろうかな？」とか。

岡田 あはは笑。ハフティングを楽しめるよね。

アピールする笑いにしたくなかった

——大倉さんは大鍋という役を演じていかがで

大倉 確かに笑。このノリはね、まずいことになつて。

どのキャラに感情移入してもいい様になつてますし

——「自身が今作を観たとして、一番感情移入するキャラは誰になります？」

大倉 基本、立子（犬山イヌコが演じた柏木家の長女）かな。

岡田 基本、立子ですよ。

大倉 K E R A さんの芝居つてどのキャラに感情移入してもいい様になつてますしね。お客さんが岡田君演じる滝本に対して「良かったね!!」となつた日は「今日はみんな滝本さんに感情移入してるんだな」とか思います。だから、滝本もあるね。

岡田 あ、そんな日もありましたね。

大倉（自身が演じた大鍋に感情移入は相当まれ。

岡田 でもあります。

大倉 ゼロじゃないけど、あつて2%くらい。2あつたら相当だね。1だな。

岡田 2はあります（笑）。

お客さんも「これでいいんだ」っていう空気に

——それぞれが演じられたキャラの感想を聞か

大倉 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで

大倉 そんなことない。

岡田 今日はお客さんのこと考えて間を詰めてるなとか。そういう把握の仕方は凄いなと思う。……なんかこれ、褒め合つて気持ち悪いで



大倉孝二 岡田義徳

おおくらこうじ 74年生まれ。東京都出身。95年、ナイロン100℃のオーディションに合格。以降、劇団の看板俳優として活躍。外部への客演は勿論、TV、映画などの出演も多く、多方面から注目を集めている。ケラリーノ・サンドロヴィッチが脚本を解いた後の2作品「犯さん」・「わが間」には連続で出演となった。

おかだよし のり 77年生まれ。岐阜県出身。俳優として、TV、映画、舞台など幅広く活躍中。主な舞台出演は、「カン」(野田秀樹演出)、「雨れた世界」(白井晃演出)、「カラフト伯父さん」(都義信演出)など。ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出作品には、オリジナル・ブラスティコ「渾身電球」に続き2作目の出演。

次回予定 映画「全然大丈夫」公開中 映画「NHK大河ドラマ「篤姫」毎週日曜20:00~0.A.



偏路

作・演出◇本谷有希子
出演◇近藤芳正 馬淵英博 池谷のぶえ 加藤登江口のりこ 吉本菜穂子
07/12/14 23 紀伊國屋ホール



女優になるために親の反対を振り切って上京した若月(馬淵英博可)が、9年ぶりに田舎に帰ってきた。若月は、父親の宗生(近藤芳正)とともに従兄弟の紺野一家に身を寄せている。若月は女優になる夢に破れ、実家に帰る決心をするが、宗生になかなか言い出せない。それどころか、紺野家が醸し出すほのぼのとした幸せなムードにどうしても馴染めず……。

人生を凝縮したものをさせる

人間の悪意を過剰なまでに膨らませて描くのを得意とする本谷有希子が、ホームドラマで「善意」を描く。けれど、彼女のフィルターを通して描かれる「善意」は、やつぱり「筋縄ではいかなくて」。

田舎に暮らす人たちの善意とその裏にあるドロドロ。それらすべてを「薄っぺらい」と言い放つ、都落ちしてきた主人公。舞台の上でひたすらもがき続ける登場人物たちの姿は、まさに人生の縮図だ。

シンプルなものを通劇に描く

——今回は「善意」を描いたホームドラマ、という事で、今までの本谷さんの作品に比べると少しマイルドな感じなのかなと思います。

前回の「ファイナルファンタジックスーパーノフラット」が、現実には絶対ないようなような極端な設定だったので、今回はその反動で、ものすごく地味なものを書きたいと思って。ただ主人公が従兄弟の家に住んだだけのお話を、どれだけ過剰に、いかにもうんなことがあったかのように見せられるか、ということを考えて。あとは、毒ばかり書いてると自家中毒になるから(笑)。でも自分のなかでは、そんなにマイルドだったとは思ってないですね。表面的な激しさはそれほどなくとも、等身大にエグいんじゃないかなと。

——若月と宗生はちょっと変わった親子関係ですよ。父親は娘を「さん」付けで呼ぶのに、娘は父親のことを「あんた」とか「おまえ」とか呼んでいて。

やつぱりちよつと気を抜くとちよつとで観たことがあるホームドラマになっちゃうので、なるべくそういうものを取っ払いたくて。だから呼び方も意識しましたね。今まで観たお芝居のなかで、娘が親のことを「あんた」とか「おまえ」とか呼べるものはあんまりなかったけど、私は結構普通に言う。だったら、あまり常識的なことにとらわれず、自分が普段言っているようなことを引っ張り込もう。

うと。まあ、私は本当は父親のことを「おっさん」って呼んでるんですけど(笑)。

よくわからない行動が面白い

——宗生がいきなり窓ガラスを割るシーンが面白かったです。その行動の真意はわからないんですけど。

辻褄の合わない行動を登場人物たちに取らせたいんです。人間が取る行動って、端から見ると全然よくわからなかったりする。言っていることとやっていることがぐちゃぐちゃだったり。でもそれが面白いなと思って。けど役者は難しいみたいです。「本谷さんの台本は、理屈で考えようとする絶対辻褄が合わない」とか言われて。そうでしょうねと(笑)。

——役者さんたちは苦労されたのでは？

ペレランの役者さんたちが苦労してるのを見るのは、ちよつと楽しいです(笑)。今回演出で気を配ったのは、正しいか正しくないかということよりも、私が見たいか見たくないか、ということ。「〇〇をしてください」じゃなくて、「〇〇するのが見たいです」。自分の欲望をとにかく剥き出しにして、間違ってるかもしれないけど私は「ちがが見たいの」という感じで役者さんにはやっていただきたんです。でも皆さん私より一枚上手でしたね(笑)。私がみんなを動かしてるつもりでも、実際にはみんなが自ら動いてくれている。「わかった、わかった」って私の言うことに乗ってくれて、さも私がしたいことをやっているように見えます。

——本谷さんのお芝居は、演劇ならではのものをうまく取り込んでいると思います。そんなに新しいことをやるという企みがそもそもなくて、わりと王道のことを王道にやるほうが好きなんです。今回は映像も使いましたけど、映像って使い始めたらなんでもできちゃいますよね。でも自分の舞台では素晴らしい映像を使ってみたくてはなくて、たまたまどしく映像使ってみましたぐらいの感じでやりたい(笑)。舞台って、半分ダサイぐらいがいいと思うんです。全部スタイリッシュなのは恥ずかしい。だって演劇なんだから(笑)。演劇とはなにか？ っていうことを考えるより、自分が演劇だと思ってることをやり続けていけばいいんじゃないかなと思いますね。私がやっていることが演劇です。ってこといいんじゃないかなと。

半分ダサイぐらいがちょうどいい

——二時間の上演時間のなかで、登場人物たちがもがいたり突飛的な行動を取ったり、いろんな要素がありますね。

人の人生って長くてダラダラ続いて、あっちに行ったりこっちに行ったりして、答えも出ないし、気持ちもどんどん変わる。そういうのをそのまま舞台の上に乗せて、答えもあえて作らず、ただもがいている人物だけを見せよう。舞台のなかで登場人物がなにかを得たり、答えを見つけたらいいのはなくていいかなと思ってるんです。ただ人の人生を凝縮したのを見せられたら、それはそれで観た人がなにか感じるんじゃないかなと思います。

本谷有希子

もとやゆきこ◇79年生まれ、石川県出身。00年に劇団、本谷有希子を旗揚げ。主宰として作・演出を手がける。『道難、』(06年)で第10回鶴屋南北戯曲賞を最年少で受賞。小説家としても活躍し、主な著書に『防弾けども、悲しみの愛を見せる』『生きてだけで、愛。』『グ、ア、ム』『乱暴と待機』などがある。現在『ダヴィンチ』『SPA!』にて連載中。

次回予定◇「LOVE LETTERS」(出演)3/15◇PARCO劇場





青年団プロジェクト公演

隣にいても一人

関西編

作・演出◇平田オリザ 出演◇永井秀樹 二反田幸平 井上三奈子 端田新菜
1/17～27(関西編の他、7バージョンあり) ©こまばアゴラ劇場



ある朝目覚めると高校の非常勤講師の昇平と、看護士のすみえは夫婦になっていた。それは
どうやら、あらゆる概念を越えて、夫婦になっていたのだ。しかも、二人の兄、姉は離婚しそうな
夫婦でもあった。今回の出来事を兄、姉夫婦に理解してもらおうとする昇平とすみえだが……。
夫婦という横糸と、兄弟姉妹という縦糸が不条理で絡まる浪速の片隅での人生模様。

それぞれのチームの “違う感じ”を 意識して……。

2000年に帯広で上演された一つの戯曲が、8年後に8つの地方のバージョンになってアゴラ劇場で上演された。出演者は各地のオーディションで選ばれたメンバーに、青年団員が加わり、しゃべっている言葉も青森・三重・広島・熊本・関西・盛岡・帯広・英語(リーディング)の各地方のいわゆる方言。こんなにシンプルな形でわかりやすく多様な表現に出会えるとは、なんとも狐か狸につままれたような気分。今回は一番最後にできて、とても関西で素敵なニュアンスを醸し出していた、関西チームにアプロウチしてみました。



方言に直す作業が意外とたいへんでした。関西チームは最後に作られたということですが、どういこうからスタートしたんでしょう。

井上 今回、広島編とか三重編をやるというのを聞いて、それなら関西編もやりたいなと思っただんです。関西弁なら青年団員だけでもできるし、東京で稽古もできる。それで(平田)オリザさんに伝えました。

みなさんが舞台でしゃべっていたのは、大阪弁ですか？

端田 私たち夫婦は京都で、兄弟夫婦は大阪です。今回は全編翻訳……方言に直す作業というのが入ったので、今までと全然違う作業でしたね。

それは平田さんが直すんですか？

端田 いえ、各自で。他の出演者3人のセリフを聞きながら「あれ、私だけ違う」と思ったりしながら、またちょっと直したり。

その作業はとても楽しそうですけど、いかがですか。

二反田 これが意外と大変でした。標準語をそのまま直すので、なまりがきつくないかと、かへたすぎる、とか。

永井 話そうと思えば、インターネットンだけ変えれば台本どおり話せちゃうんです。それだと違うじゃないかと思いましたが、直そうとすると、みんなそれぞれですけど、たとえば僕なんかは20年前にこちへ来ているので昔の大阪弁なんです。だから明らかにこの人達としゃべり方が違うんです。笑。どうしたものかといういろいろ慎重にはなりました。

かなりの個人個人が勝手にやりました。

端田 それは皆さんで相談されたんですか？

井上 かなり個人個人が勝手にやりましたね。不思議と相談はしなかったです。

関西チームは。逆に自分のしゃべり方は間違えないように気をつけようと思っただけで、相手の言っていることに対してはそんなに気にしなかったですね。

どのくらい稽古なされたんですか？

端田 最初は週1回という時期が2ヶ月くらいあったのかしら。その間は4人だけで自主稽古をしてました。

井上 ひたすらセリフを覚え、言葉を直して。一回自分たちで全部くり、平田には12月頃に見てもらいました。

それは青年団では特別なやり方だったんですか？

端田 そんなに特別じゃないですけど、自主稽古の期間、平田が一度も見ずに2ヶ月くらいあるというのは特別かもしれない。

その2ヶ月間は、楽しそうな感じがしますが。

井上 そのときはセリフ覚えるのに必死でしたね。

端田 私は楽しかったよ。でも1人で行き詰まってる「演劇って難しいなあ」と思ったりしてました。どこに焦点を絞つたらいのか瞬迷うと気があつて、難しいなと思つてやめましたね。

二反田 僕はすごく台本が覚えにくくて、自主稽古のあいだはひたすら覚えてたんです。覚えていく？でも、自分で言いやすいように変えてもいいんですよ。

端田 そうなんですけど、一回標準語から変換して、それを覚えるというのはいつよりすごく覚えにくかったですね。

井上 みんな結構いろいろ方言を試してきたりするんです。

とか、それぞれ微妙に違うし、キャラクターも違うので、2つ観たあたりで変な意識はなくなりました。楽しんで観てましたね。

二反田 2番目の広島編を見たんですけど。僕は逆に、広島編に関しては僕と同じ役をすごく男前の方がやっていたんです(笑)。ライバル意識はまったくないんですけど、まったく違うお芝居。同じ人が演出していると思えないお芝居になつてたんです。それはどうなのかと思っただけです。自分の役ばかり見るんですけど、どうえ方が全然違つたんで、これは観ていくとだんだん自分でもわからなくなってしまう。だから逆に僕はすごく怖かったです。お芝居としてはおもしろいんですけど、僕自身の役としては、同じ演出なのにこれだけ何ができるんだろと。それはすごく怖かったですね。

井上 大体永井さんが言つたことと同じような感じがします。最初はどつても気にしちゃうんですけど、一回観たら、本当に違うんですよ。そんなに楽しんで観られなかったですね。自分たちの違いを探しはかりしちゃうんですよ。

端田 私はあまり気になつていなくて、みんな違う感じだと思って観てました。たぶんこの作品そのものの持っている雰囲気がいっぱいだと思います。誰がやっても全部違うものができて、それが番というのはいわゆる出ていくと思つてます。いろいろな夫婦がいるということ、あまり考えなかつたんです。自分の初日が開けるまでは、迷つちゃうからよそのチームの稽古はあまり観にいかないようにしていました。本番始まつていろいろ観てけつう楽しめました。私はあこぎに「あれはいいなあ」と思つて取り入れたりしてましたね。

このお芝居、どこへでも出前します。

永井 これを読んだ人が、うちの地方でもぜひやってくれとか言ってくれないかな。俺たち4人いればどこでもできるしね。地方にいる人が自分たちでやってみようという話じゃなくて、

永井 やつてくれて、ゲストとして呼んでくれる方がいいですね。芝居で使う、お菓子くらい持っていけばどこでもできるんだ。

端田 どこでも出前しますよ。

永井 この記事のタイトルはでかく「どこでも行きます」でお願いします。



いのうえみなこ◇75年生まれ、大阪府出身。06「ソウル市民望郷編」07年「家宅か修羅」など劇団の作品に出演。CMなどにも出演している。

次回予定◇青年団「S高原から」(作・演出:平田オリザ) 2008年3月29日～3月28日 ヨーロッパ5都市巡演

端田新菜 ◇77年生まれ、京都府出身。97年青年団に入団。五反田の作品に多く参加。他にも東京デスロック、チェルフィッシュなどにも出演。

次回予定◇青年団若手自主企画「おいでおいで」(作・演出:若井秀人) 2008年4月23日～30日 アトリエ春風舎

二反田幸平 ◇78年生まれ、京都府出身。05年に青年団に入団。07年遊園地再生事業団公演「ニュータウン入口」に出演。はと男を印象的に演じた。

次回予定◇青年団「冒険王」(作・演出:平田オリザ) 2008年11月 こまばアゴラ劇場

永井秀樹 ◇66年生まれ、大阪府出身。青年団の舞台に出演しつつ、外部での活動も多彩。若手演出家の公演にも積極的に参加している。

次回予定◇東京デスロック「WALTZ MACBETH」(作・演出:多田洋之介) 2008年5月9日～11日 吉祥寺シアター

『翼をください!』
感想大会・開催!

福岡を拠点に活動する劇団・ギンギラ太陽'sが東京にやって来ました。劇中にかぶりモノを登場させ、そこでドラマを展開させるこの劇団、見どころはとも見えて、むしろ笑いだけではないです。『翼をください!』は、さあばYS-11も、多くの史実を背景にしながら、観る人に真っ直ぐなメッセージを届ける作となりました。このインタビュは6名の出演者が参加し、座談会形式で大盛り上がり。今回のテーマは「感想大会」。お芝居のこと、東京のこと、かぶりモノのこと、何でもここで、参加者の皆さん、いざとぞー!!

空を飛ぶシーンがめっちゃ気持ちいい
めっちゃくちゃ気持ちいい

古賀 まず、銀河劇場って高さがあって、空を飛ぶシーンがめっちゃ気持ちいい。杉山 名前もいよね。ギンギラ太陽's、銀河劇場って響きがいい! 上田 それに、東京のお客さんも福岡事情について喜んでくれるのが嬉しいですね。東京の人に福岡のことをもっと知ってもらいたいと思います。そういうことを楽しみながらやっています。

杉山 あと、楽屋に有名な人がいっぱい来てく



れる! 同 あははは(笑)。
古賀 なんでもミスター(笑)。
大塚 前回の東京公演で「人の想いは地球を越えて通じる」という手応えがしっかりあったので、今回はどれだけ沢山の人の心と出会うかというワクワクばかりだったんですよ。実際公演が始まったら、回を重ねるごとに当日券のお客さんが増えてくれたり、色んな表現者の方が「面白かったよ。今度は何か一緒にやれないかな?」なんて声をかけて下さって……。本当に沢山の出会いがあって、嬉しくて嬉しくて。劇団10周年のこの裏美が次のステップへの切符みたいに感じられて「この裏美で切符!」みたいに思っています。

ギンギラ、知っとう知っとう!!

中村 当日券のお客様の数を見ると、東京の人のフットワークの軽さに驚きますね。古賀 博多では「知っとう」って人はすごく多いんですけど。
中村 ギンギラ、知っとう知っとう!!
杉山 でも観たことない(笑)。
大塚 ここから、東京に来てなぜ故郷のことをほやこんだ(笑)。
古賀 でも、それが嬉しいんですよ。「頑張りっとうね」って屋台で書かれてたり。
立石 私たちのことを福岡自慢のひとつとして思ってくれているのが嬉しいですね。自分しかやったことない役

は、そのスケールの大きさというか、背負っているものが全然違うような気がするんです。スカイマークを被って飛ぶシーンだと、そこで働いている何千人もの人と一緒に飛んでいる気持ちになるんですよ!
立石 重ね重ね合えちゃうんだよね。それはかぶりモノがあつてこそだと思う。お客さんが「今からスカイマークに乗って帰ります」って「コガキョー(古賀さん)に言うんですよ(笑)。
古賀 知り合いから「スカイマークが遅れた!」って私にメールがくる。私に言われても、と思うけど(笑)、それが楽しいやら嬉しいやら。
中村 パイロット役をやった役者はいても、飛行機役をやった役者が世界中にどれくらいいるんだろう? とか思うんです。「自分しかやったことない役」っていう想いは特別なものがあります。
古賀 饅頭の役とか(笑)。
中村 ひよこ(劇中に登場する、お菓子「ひよこ」のキャラクター)は僕だけの役だから。人に説明する時に「僕の役は、飛行機と饅頭と……」みたいな(笑)。それはもう、オンリーワンです。
好きになったものを書いているから

大塚 元々自分が役者だったっていうのもあるんですけど、やっぱり取材して僕が好きになったものを書いているから。
立石 今回60キャラくらい出るんですけど、その全部に愛情が込められているのが分かるんです。
古賀 そこまで愛されているから、ギンギラに出てくるキャラは可愛いんだよね。
上田 かぶりモノも「よく出てくるな(笑)」って思っています。リアルに作っているミニチュアのおバカなことやっつていうギョッも魅力になるのかも。
お話自体が現実と二階に育ってきた

大塚 『翼をください!』は、元々は「スカイマーク」を主役にした航空業界のおバカ戦争モノ、という所から始まったんです。それから、雁ノ巣や金星号の事実を知り、過去の事実を引っ張りながら作品自体を掘り起こすような形になって。
立石 お話自体が現実と二階に育ってきた感じだよな。
大塚 今回のラストシーンは、ちょっとキザな言い方になるけど、最初からなるべくしなやかなかと思えます。
中村 役者全員が舞台に出られるラストシーン。
杉山 本当しいよ、あのシーンは。みんな手を振って「このラストいいな!」って思えるもん。
大塚 うんうん。僕の作ってきた物語の中では、ドキュメンタリーとお芝居が最も合体した、限りなくノンフィクションなフィクションになったと思います。

古賀今日子

こがきょうこ Cche carino! / che carina! 所属。今作では、スカイマーク1号機・佐賀牛などを演じた。

杉山英美

すぎやまひでみ ギンギラ太陽's 所属。今作では、雁ノ巣飛行場・佐賀空港・ビルさんなどを演じた。



立石義江

たていしよしえ ギンギラ太陽's 所属。今作では、第1ターミナル・JAS第・ラジオなどを演じた。

中村卓二

なかむらたくじ P.T. STAGEDOOR 所属。今作では、JAS・佐賀YS-ひよ子などを演じた。

上田裕子

うえだゆうこ ギンギラ太陽's 所属。今作では、第2ターミナル・JAS第・スカイマーク3号機などを演じた。

大塚ムネト

おおつかむねと ギンギラ太陽's 主宰。劇団では作・演出・出演・かぶりモノの造形などを担当する。今作では、YS-11・外国機・気球などを演じた。



作・演出・出演◎大塚ムネト
出演◎立石義江 杉山英美 上田裕子
中村卓二 古賀今日子 中島莊太 影田新平
林雄大 北川宏美 吉田淳 石丸明裕
新田玄 三坂恵美
1/9~14◎天王洲 銀河劇場

福岡にある航空会社・スカイマークエアラインズは、今こそ業績を伸ばしているものの、航空業界に参入した当初(98年)は大手航空会社に揉まれ、四苦八苦のスタートをきる。そんな九州航空業界の激動に精通しているのが雁ノ巣飛行場(杉山英美)だ。戦前、日本初の国際空港として誕生した雁ノ巣飛行場は、それ以降この業界を見守り続けてきたのだ。物語は雁ノ巣さんやスカイマーク1号機(古賀今日子)の思い出話から始まった。

犬ストーン

version. Dr.エクアドル



作・田辺茂範 演出・出演・Dr.エクアドル(ゴキブリコンビナート) 出演・加瀬澤拓未 佐々木幸子(野鳩) 役者松尾マリヤ 斎藤麻耶 オマンサタバサ 草野イニ 斎藤マリ 大佐藤崇 本間幸子 福屋吉史 丹野晶子
ワッシャー・木村 スピロ平太 若人あきこ 川崎まり子 宇田川真代 病気マン 森知行 清水俊樹 津久井亜以 植松ペーコン 07/12/20~25©麻布die pratz



ポップさに寄り添おうと

——そもそもなぜ今回エクアドルさんに演出をお願いしようと思ったの？

田辺 前々から合同公演をやろうというような話は漠然とですけどされてたんです。でも僕らとしてはゴキブリコンビナートと一緒にやったらお客さんが嫌がるだろうなあと、思ってた。言葉で濁して、でも自分たちが飽きないようにするために、なにか面白いことないかなと思つたときに、合同公演という形じゃなくて、うちの公演にエクアドルさんと呼んだらどうだろうと思つた。

Dr.エクアドル(以下Dr.) 「犬ストーン」は僕が一番最初に観たロリータ男爵の作品だったこともあり、お話をいただいて二つ返事で引き受けました。いつもゴキブリコンビナートでやってるような、たとえばトラックが客席を走り回ったりとか、そういう危険なことや汚れるようなことは大幅に削って、ロリータ男爵の趣向とかみ合う部分を自分のなかで探つていこう。たとえば今回鉄筋や丸太を使いましたが、ゴキブリコンビナートでは生の質感を大切にしているの、色を塗ったりはしないんです。でもロリータ男爵のポップさに寄り添つていこうと思つて、鉄筋をピンクに塗ったりとか、丸太をパステルカラーにしちゃった。いろいろ工夫を(笑)。

田辺さんは本番をご覧になってどう思われましたか？

田辺 まあ危ないなあと(笑)。僕は今回、あまり稽古を観ないようにしてたんです。あんまり自分のなかで思い入れを作つてしまつと、「ここはこうしたいのに」みたいなのが出ちゃうんで、もう完全にエクアドルさんにお預けしよう。だから本番では割って切つてお客さんの楽しみ方をしましたね。

Dr. どこまで僕がやつて、どこをロリータ男爵側にお預けするかということを決めていたんで、わりと稽古はスムーズだったと思ひます。

第三のものが生まれれば

——イチローが犬ストーンを4つ集めて大にやるうとするシーンで、ひとつひとつの犬ストーンのために死んでいった人たちが4人出てきて、

キュートでポップな世界が悪夢に転じる

ロリータ男爵の旗揚げ公演である『犬ストーン』を、ゴキブリコンビナートのDr.エクアドルが演出。出演者もロリータ男爵とゴキブリコンビナートの両方の役者たち……という、とってもワクワクする顔合わせが実現した。ポップでラブリーな世界を形成するロリータ男爵と、キケン・キタナイ・キツイの3Kミュージカルを標榜するゴキブリコンビナート。両者のぶつかり合いは如何に？

どくたーえくあどる◎66年生まれ、福島県出身。94年にゴキブリコンビナートを旗揚げ。以後全公演の脚本・演出・出演・美術・作曲などすべてを受け持ち、キケン・キタナイ・キツイの3Kミュージカルというスタイルを生み出す。

次回予定◎死神企画第9弾「己の己による己のための演奏会—其の三—」5/10◎池袋手刀

Dr.エクアドル

田辺茂範

たなべしげのり◎74年生まれ、長野県出身。95年に多摩美術大学内でロリータ男爵を旗揚げ。以降全作品の作・演出を務め、ゆるいながらもキュートでラブリーな世界観を確立している。

次回予定◎ロリータ男爵「プリマ転生」6/4~9◎吉祥寺シアター

いきなり組体操みたいになりますよね。あの演出がすごく好きでした。

Dr. あれは僕じゃないんです。ももとの田辺さんの演出を踏襲した部分で。でもそういうふうに、僕が付け加えた部分とももとの部分とが判別できなくなつたというところは、成功だったんじゃないかな。今回はゴキブリコンビナートのなかにもなくてロリータ男爵のなかにもない、第三のものが生まれれば良いと思つていたので。

田辺 でも最後のオチはエクアドルさんが付け足した部分です。富士壺というものは僕のなかにはないの(笑)。ももとの話では、イチローが犬になって終わるんです。彼が犬になつたことをアニメ化するまでの話なんです。それで最後に犬のアニメ、可愛いアニメが流れる。それが大オチだった。今回はそこが変わつたので、変わつてる部分自体は割とだけ、見え方が全然違う。

Dr. 別にハッピーエンドが嫌だったわけじゃないんですけど、僕のなかに、映像、ついでに選択肢はもともとなくて。映像をやると緑のな見せ方になつてしまふと思つていたので、まずは映像を丸ごとカットしよう。そこから台本の変更が始まつたんです。ラストシーンも、犬のアニメが出てくるということが作品の締めとして生きるんですけど、それを全部カットしたので、それは別の結末を書かざるを得ない状況になつた。そうすると結局自分のなかの趣味的なものが出てしまふ。それが富士壺だった(笑)。

田辺 映像がなくなつたら結構辻褄が合わないかならずなんです。でもそのわりにはちゃんとまとまつたなとは思ひましたね。

Dr. 僕は今回、役者として出演もしてたので、どうしても手が届かない部分もあったんですが、そういうところを田辺さんが現場でフォローしてくれました。

田辺 まあ演出には口出しせず、見え方とか、同じことやるんだらこうやったらどうがいいんじゃない? というくらいのことなんですけど、あとは、楽日にはちよつとみんなを労いたいなと思つて、麻布die pratzの界限を1~2時間くらい探して回つてキーを2つ買つて、パーティーをしよう。最後の打ち上げの準備に僕は全勢力を注ぎました(笑)。

イチロー(加瀬澤拓未)は犬になりたい仕方がない。恋人のルリ子(佐々木幸子)はイチローを応援し、イチローが犬になる話をアニメ化したがついてる。犬になる方法がわからず途方に暮れるイチローに、老人(オマンサタバサ)が、「犬ストーンを4つ集めると犬になれる」と告げる。犬ストーンを探すイチロー、犬公方(斎藤マリ)たちが付け狙ひ……。

渡辺 いっけい

宅間孝行

東京セレソンデラックス

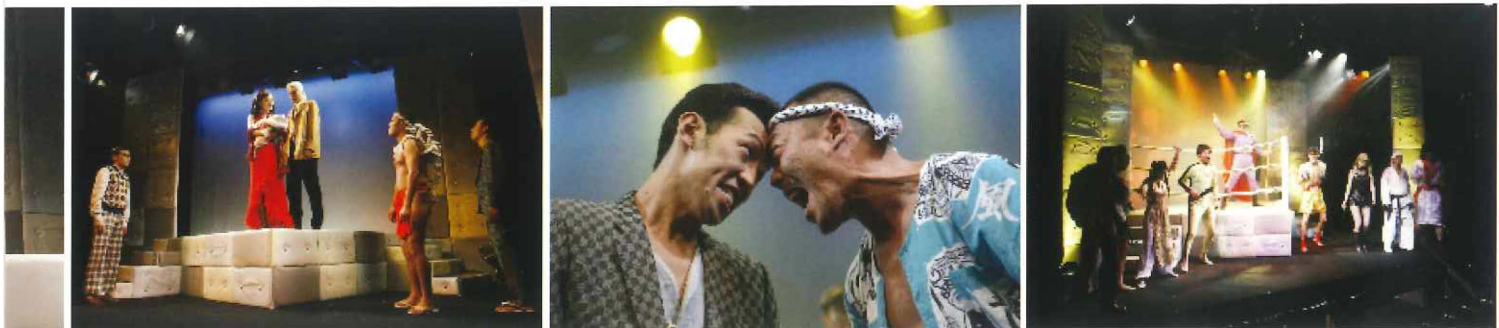
番外凱旋公演 ア・ラ・カルトシリーズ第二弾

渡辺 いっけいと 東京セレソンDX

作・演出◇サタケミキオ
出演◇渡辺いっけい 宅間孝行 伊藤高史 西村清孝 越村友一 飯島ぼぼ 丸山展 片淵忍 広澤草
07/12/26～31◎中野ザ・ポケット



07年の年末に、シークレット・ライブならではのカルトな賑わいを見せた東京セレソンのお祭り「ア・ラ・カルトシリーズ第二弾」。人気ドラマ『歌姫』のスパイン・オフをはさんで、ショート・ストーリーあり即興ありなど盛りだくさんのメニュー。本公演の面白さのエッセンスものぞかせながら、勢いに乗っているセレソンのはみ出しパワーが炸裂した。



リスペクトし合える関係

チームプレイの劇団

——お2人の出会いはどんなきっかけから？

渡辺 ●僕は3年前に初めてセレソンの舞台を観たんですが、それが「風鈴三部作」の最初の「タ」で、すごく面白くて、結局3本全部を観たんです。セレソンが面白いというウワサはいろいろな役者から聞いてはいたんですが、僕はあまのじゃくなもので、なかなか観に行かなかつたんです。でも、テレビの書き下ろしのドラマが評判よくて、やっぱり観ておかないかと思って。

宅間 ●終演後、うちはみんなで飲みに行くんですが、いっけいさんは初観劇でそれにも付き合ってくれたんです。いっけいさんは役者さんとして、もっとも大好きだったの、出てほしいなと思っていたところに「昨年テレビでうちのメンバー総出演みたいな『魁ーセレソンDX』があって、そこへの出演をお願いしたら快く出てくれた。それから去年、初めての映画『同窓会』を撮ったときも1日つきあってもらいました。それに前回の番外公演『ア・ラ・カルト』にもサ・ライズ・ゲストで出てもらったり。

渡辺 ●セレソンの芝居を観てるうちに、出てみたいなという僕の役者としての欲求が高まってきたんです。宅間孝行という役者の面白さとか、チームプレイがしっかり出来上がっているところとか、いいなと思えたから。

——いっけいさんが惹かれるのわかります。セレソンって演技レベルが高いですよな。

渡辺 ●役者同士だから、舞台観て練習量のすごさがわかるんですよ。自然に見えるけど実は百万回稽古してるんだろうなと。そこがリスpektできるところで、飛び込んでみたくなる。それで稽古場ののぞかせてもらったらすごく厳しくて、以前僕がいた新感線を思い出しました。

段取りの先へ

——今回、いっけいさんが天使の役で出たショートドラマの『デネット』は、話も面白いのですが、いっけいさんが本当にうまいなと。

渡辺 ●あれはそういう役に書かれているので、得してるんですよ。

宅間 ●他の舞台に出ている合間に稽古にきてくれて。
渡辺 ●実質4日くらいの稽古でした。動きは代役のかたが覚えてくれたのをコピーして。そこでも新感線のいのうえひでのりさんの動きをつける演出を思い出して。あの頃の僕はそれを楽しむ余裕はなかったんですけど、今は年をとったし、宅間くんの要求を多少は僕なりにアレンジして出せるので面白かったですね。

宅間 ●そういういっけいさんを、本当は劇団の全員に見てもらいたかった。僕は、稽古場で役者の芝居がだんだん段取りになつていくのがイヤで、いつも「段取り通りに動かないで」という話をするんです。たとえば立つところでも、気持ちがないなら立たないで言うんです。いっけいさんは、動きの理屈つけもできて、なおかつその先を自由に楽しんでくれるのでさすがだなと。

渡辺 ●たぶん劇団員は恐いんですよ。「余計なことするな」と宅間さんが怒るから（笑）。僕もフリーになってから、自分のなかに演出家の目を持たないといけないと思って。ちょうどプロデュース公演が多くなった時代で1回1回勝負していかないとイケなくて。その頃ですね、人のことをまったく考えない役者だと言われたのは（笑）。そのあと映像が続いて舞台から離れて、観客側に回ったとき気づきましたね。

「お客様は芝居を観にきているんだ、役者の品評会じゃないんだ」と。
——そういう経験を経たからよけいセレソンに惹かれるのでしょうか？
渡辺 ●原点回帰ではないですけど、お客様の熱とか舞台や稽古場の匂いや空気が、オレんじムという小劇場で新感線がやってた時代とかぶるんです。そういう空気の中にまた出ている幸せを感じましたね。

純粋に面白いもの

——宅間さんは、今回はコメディタッチの役柄2つをすごく楽しそうにやっていますね。

渡辺 ●この人は意外と誤解されると思います。「自分で書いて演出して主役やるって、なんだよ」とみたいな（笑）。でもチームプレイをきちんと見せていくことをいちばん大事にしているし、最終的にお客様を楽しませようというのがある。『デネット』なんて、さんざん笑わせて途中からハートフルになっていく。本当にうまい作りだなと思いますね。

——笑いと涙でもベタじゃなくて、乾いたセンスがありますね。

宅間 ●僕の芝居に出てくる人間は、基本的にわりとカラッとしてるかもしれないですね。女性も男性も同性に好かれるという、僕がそういうのを好きなのかもしれない。

——どんどん観客も増えてさらに大きくなつていく時期ですが、方向性はどんなふうに？
宅間 ●単純に考えると、大きくなるってキャバや舞台を広げることなんでしょうけど、うちの本公演はある規模以上の大きい劇場ではできないしやりたくない。そこでのジレンマはいつもあります。でも、いっけいさんとも話したのですが、ものを作ることにのベースは、ただ純粋に面白いものを作りたい、この気持ちでいくしかないんじゃないかな。

——やっている人間の体温を伝えないと、セレソンのよさは伝わりにくいですよな。
宅間 ●ですから大きい劇場よりも、むしろ地方に行つてみたいし、それに再演というか、レパトリーシステムなどで、たくさんのかたに観ていただくことも考えてます。

渡辺 ●今度また上演される「タ」は、僕が観たのとはキャストが変わるみたいで、当然またテストも変わるでしょうね。

宅間 ●質の高いものにしていくためには、役者も刺激を受けないといけないので、いっけいさんにはぜひまた出ていただきたいなと。

渡辺 ●もちろん、次は本公演だと思つてましたから（笑）。

たくまたゆき○70年生まれ、東京都出身。97年に俳優養成所の仲間たちとともに劇団東京セレソンを旗揚げ、役者として活動。01年より東京セレソン・デラックスと改名。サタケミキオの名前で脚本・演出を手がける。シナリオ作家としてもテレビの「花より男子」シリーズ、「アタックNo1」や映画「ヒート アイランド」(3/26DVD発売)などの作品がある。舞台は「風鈴三部作」(タ)「口面」(ピエロ)や「ピリッド」(歌姫)などの作・演出で、小劇場が生んだ新しい才能として高い評価を受けている。ドラマ「歌姫」では劇団のオリジナル作品がドラマ化し、7話では、監督も務めた。TBSラジオ「サタケミキオと宅間孝行」を毎週日曜22時から放送中。初監督作品「同窓会」が8/16シネマート新宿他、全国にて公開予定。

次回予定◇「タ」6/18～7/13◎シアターサンモール、7/19～27◎心斎橋さくら劇場

わたなべいっけい○62年生まれ、愛知県出身。83年学生劇団☆新感線に参加。その後上京し劇団「状況劇場」に入団。88年退団後はプロデュース公演に出演し、独特のキャラクターで注目を集める。92年、NHKの朝ドラ「ひらり」で一躍人気俳優になり、現在も映像・舞台で活躍中。最近の出演作はテレビ「LIAR GAME」(ガリレオ) (CX)「浅草ふくまる旅館2」(TBS)「陽炎の辻」(NHK)、舞台「漂う電球」(オリジナル作品)「夢のひと」(マキノノゾミ演出)など。

大野 智



風の抱える感情の延長線上に殺陣があるんです

ブラウン管では、どちらかといえば柔らかなオーラで視聴者を魅了している大野智。だがひとたび舞台に立てば高い身体能力をいかんなく発揮、炸裂する殺陣と骨太な演技で強い吸引力を放つ。03年に始まった「風（ブー）」シリーズも、今回で4作め。フアンの垣根を越えて演劇界の人気シリーズに成長した同作に寄せる、大野の想いとは。

▼今までは全く違うものになる

——今回は、第二話「センゴクー」の主人公風助の誕生秘話が明かされるのか。

大野 今までは作やつぎきたこのシリーズにとつての、いわば「Episode 1」にあたります。風助がなぜ頑なに剣を使うことを避けているのか、言葉で敵に向かうとするようになったのかの理由が描かれるんです。

——「センゴクー」の風助のラストは壮絶で、それでも剣を持たないというメッセージが強く印象に残ったんですが、今回は初めから剣を使いますよね。台本を読んで違和感を感じませんでしたか。

大野 それは全然「センゴクー」にはすでに回想シーンとして今回の物語がチラッと挿入されていたし、演出のきだつよしさんにも「風助は元々こういうヤツで、こういう経緯でこうなったんだよ」というのをハッキリ聞かされてたんで。今回の台本をもらって読んだときも、風（今回の役名）の気持ちにスッと入っていました。

——制作発表では、きださんが「今までは大野さんの飄々としたところを描いていたけれど、この作品では影のある少しダークなところを膨らませてみたい」と言っていました。

大野 うん、「影のある」というのは自分では分らないけど（笑）。確かに今回の台本は今までは全く違うと感じたかな。

殺陣にしても、今までは見せる殺陣、エンタメの色合いもあったと思うんだけど、今回はむやみに他人を斬ってるわけじゃないというか。人を斬る意味をどうしても考えさせられるんです。

大野 作品における殺陣の重みが違うんですよ。斬るシーンがたくさん出てくるわけじゃないんだけど、風の抱える怒りや哀しみとかいった感情やアクションとかと全部がつながっていて、その延長線上に人を斬ることがある感じ。全てに重い意味があるから、今回は芝居と殺陣を分けることは出来ないと感じました。

——同じ制作発表では、敵側の武将・山城不動を演じる佐藤アツヒロさんと息の合った殺陣を見せてくれたが。

大野 あれはまだ、芝居の部分が入ってないから笑、いつもの調子でやりました。

——佐藤さんと顔を見合わせて目々笑ってましたよね。

大野 アツヒロくんとは初共演になるんですけど、僕の初舞台の「青木さん家の奥さん」から本当に毎回、舞台を観に来てくれているんですよ。見終わったら必ずアドバースをくれるし、それがまた的確なんですごく助かって（笑）。でも実際に共演した

らどいう風になるのか想像できないんで、今回は楽しみにしててなんです。

▼皆に助けられてきたという想い

——ところで、普段テレビやコンサートで見る大野さんと、この舞台とは、全く表情が違つように感じるんですが、その切り替えは意識していますか？

大野 よく聞かれるんですけど、自分では無意識なので分からないんですよ。楽屋ではフイギューアを作ったり、結構まったりした空間で過ごしてますけど（笑）。

——そういった雰囲気と高い身体能力から、ハードな舞台もたやすくこなしているように見えますが……。

大野 いや、そんなことは全然なくて、いつも杯いっぱいやってますよ。僕は気持ちが入ってないセリフが出てこないタイプだから、台本をもらったらずっと台本のことを考えてるし。稽古中は他の仕事もあって、なかなかすぐには覚えられないんだけど、それが頭に全部入って初めてアクションや段取りのことをやり始めるので、セリフは一刻も早く覚えたいほうですね。

——家に帰っても、ずっと芝居のことを考えている？

大野 そうですね。セリフを覚えたら、次はセリフとセリフの間にある感情まで考え

ないと気が済まないし。

——いつもより重い内容の今回は、さらにハードな作業になりそうですね。

大野 いつも公演が終わるとフラメンコになるんで笑。観に来た人にも「どどんとん」っていつてると言われちゃうから、なるべく食べるようにしようと思ってるんですけどね。

——そんな過程を経て「風（ブー）」シリーズは広く知られるようになったわけですが、今回4作目を迎えることに関しては。

大野 代表作と言っていただけなのは嬉しいんですけど、僕人々作ってきたわけじゃなくてスタッフとキャストの皆に助けられてここまでこれたと思ってるんですよ。これは本当に。だから今回もアツヒロくんや、初共演の皆さんともいい関係を築いて、カンパニーをひとつにしたい舞台を作りたい。その気持ちは変わらないですね。

——このシリーズを観た方の中には、初めて舞台というものを見て、何か言葉にならないうもさじきを感じたという人も多いとか。

大野 そうみたいですね。それはやっぱり嬉しいことだし、今回はいつもの笑いの部分も封印して、感情をさらけ出さない役を演じることになるので、より深いものを届けられればと思います。意味のある殺陣、を見せるというのが目標ですね。

公演情報

『アマツカゼ 一ツ風』

作・演出・出演◇きだつよし
出演◇大野智 芦名星 松本まりか
西ノ園達夫 武田義晴 佐藤アツヒロ
3/21～4/7◎青山劇場
4/24～28◎NHK大阪ホール
お問い合わせ:テレドーム 0180-993-740



おおのさとし◎80年生まれ、東京都出身。99年に「嵐」としてデビュー。確かな歌唱力とキレのあるダンスでリーダーを務める傍ら、02年には舞台「青木さん家の奥さん」で初主演。翌年「風（ブー）」シリーズ第一弾となる「センゴクー ～戦国・風～」で抜群の身体能力を見せつけ、05年「バクマツハンパー ～幕末風～」、06年「デンセイクンパー ～転世風～」といずれも好評を得ず。ニューシングル「Step and Go」が好評発売中。またアート作品「FREESTYLE」（発行M.Co.）も発売された。

NACSTYLE

TEAM NACS 責任編集!?

今回の担当者:戸次重幸

「演劇ぶっくにナックス責任編集のページを作ろう」ということで、ナックスらしいスタイルで自由に! を目指すこの企画・NACSTYLE(なっくすたいる)。前回担当の森崎博之からバトンを引き継ぎ、今回の担当者には戸次重幸が立候補! 佐藤重幸が戸次と改名したのが昨年末。演劇ぶっくに出るのは改名後初となりますが……おおっと、心なしかちょっと緊張している様子。その原因は、今回の対談相手にあるようです。連載第2回目に登場頂いたのは、劇作家・演出家・演劇プロデューサーのG2。3月21日からはじまる『MIDSUMMER CAROL ガマ王子 VS ザリガニ魔人』に出演する戸次とその演出を担当するG2だが、実はこの2人、ほとんど初対面とか。戸次の希望で実現した対談取材……そりゃ、緊張もしますよね。

初対面、これまでの印象は?

戸次●僕はG2さんのことを写真でしか知らなかったで、印象は「濃いサングラスをかけた方」でした。良い意味で怖く見えますよね。いや、そりゃという意味だって聞かれるとあれですけど……。

G2●第一印象はみんな「怖い」と思ったって言うね。

戸次●写真で怖いなと思わせるのが「さすがG2さん!」って……あれ、なに言ってるんだ? (笑)。ごめんなさい、ちょっと舞い上がってます。G2さんのつくった作品と写真を見た勝手なイメージなんですけど、天才肌な感じがするんですよ。そんなイメージを勝手に膨らませつつ、今回お世話になれるということで大変恐縮に思っております。

G2●膨らんだまま終わるといいですね。妻みたいなように頑張ります(笑)。僕の方は、TEAM NACSの舞台を観た時よりも「宝塚BOYS」を拝見した時に「すごい役者さんだな」と思いました。鈴木裕美ちゃん、演出にすごくハマってたというか。演出家なり作家が一番やりたかったことに乗って丁寧なお芝居をされていたので、すごく好印象を持って。その後、自らプロデュース公演(※1)をされたりして、それで更に印象がグッと。

戸次●「GHOOOOST!!」やって良かった! そういう意味でも非常に価値のある作品だ!

衝撃の告白!

戸次●実はですね、今日G2さんに会ったら謝りたいと思っていたことがあるんです。僕、前にいた北海道の劇団で「ラシーボデパート」(※2)をですね、勝手に……だと思っんですが、上演してしまいました……。

G2●えー!! 全然嬉しいんですけど、本当に!?

戸次●その頃は23くらいだったんですけど、その劇団が自分たちのカラーに息詰まってるって……一発、本当に面白と思う芝居をやっちゃえ! って感じで。でも、その公演は評判悪かったんですよ。元々のお芝居を知っている方には大不評だったし、我々も単なる物真似になっちゃって。僕としては勝手にやらせて頂いて、それがG2さんとの最初の接点だとか言っちゃいけない気もしますが……。

G2●でも、逆に嬉しいですよ。当時僕らがやってたことは一般的なものじゃないですから、そういうこと言われるの少ないです! それをやるって率先してやって頂いたんだと思うと、俺は接点を感じますね。

戸次●本当ですか?! 有難うございます。

G2●恥ずかしいですけどね(笑)。若い頃にやったものを観られてるのは。



戸次●写真で怖いなと思わせるのが「さすがG2さん!」って……あれ、なに言ってるんだ? (笑)。ごめんなさい、ちょっと舞い上がってます。G2さんのつくった作品と写真を見た勝手なイメージなんですけど、天才肌な感じがするんですよ。そんなイメージを勝手に膨らませつつ、今回お世話になれるということで大変恐縮に思っております。

戸次●実はですね、今日G2さんに会ったら謝りたいと思っていたことがあるんです。僕、前にいた北海道の劇団で「ラシーボデパート」(※2)をですね、勝手に……だと思っんですが、上演してしまいました……。

G2●えー!! 全然嬉しいんですけど、本当に!?

戸次●その頃は23くらいだったんですけど、その劇団が自分たちのカラーに息詰まってるって……一発、本当に面白と思う芝居をやっちゃえ! って感じで。でも、その公演は評判悪かったんですよ。元々のお芝居を知っている方には大不評だったし、我々も単なる物真似になっちゃって。僕としては勝手にやらせて頂いて、それがG2さんとの最初の接点だとか言っちゃいけない気もしますが……。

G2●でも、逆に嬉しいですよ。当時僕らがやってたことは一般的なものじゃないですから、そういうこと言われるの少ないです! それをやるって率先してやって頂いたんだと思うと、俺は接点を感じますね。

戸次●本当ですか?! 有難うございます。

G2●恥ずかしいですけどね(笑)。若い頃にやったものを観られてるのは。



『MIDSUMMER CAROL』について

G2●僕の場合、演出だけじゃなくてプロデュース面にも関わっているから、前回の『MIDSUMMER CAROL』の時は、童話シリーズ第3弾(※3)みたいな売り方がいいたろうと考えたんです。そうなるって、前の2作に連携付けるようなイメージを作るし、ひとつひとつの膨加減がその方向に向きますよね。この再演ではそれをやる必要がないので、まずゼロから考え直して、演出家として好きにやろうと思っております。でも、あんまり考え込んでしまうと、嫌々いものになっちゃうんですよ。感じるままにやっていいかな、いきなり言うのも何ですけど、実は再演って苦手なんです。でも、再演されてその作品の価値が上がることもあるじゃないですか。だから、演劇をつくる身として、再演はやっていかないといいことだと思っております。

G2●何年か再演やってないんですけど、今回はこの再演にかけてますね。これでダメだなと思ったら二度と再演やらない気持ちでいいかと。

戸次●僕はいつも「このままじゃダメだ」と思っているタイプの役者なので、シーンに対して50回くらい稽古したものを、やってお客さんに見せたいんです。だから、稽古を重ねる中でどんどん皮を破って頂きたいし、足りない皮はどんどん付け足して頂きたい……っていうのが、僕が演出家の方に勝手に期待することなんですけど。

G2●ちなみに、僕にとって一緒に仕事をしたい役者は「稽古が終わってから飲みに行ける役者」なので(笑)。

戸次●是非!! 稽古終わった後の飲みで好きですね。汗もかいてますし、稽古場でできない話も出てきますよね。『宝塚BOYS』の時は間違いないで置ききくらで飲んで、たまに演出の「裕美ちゃんも来てくれて、稽古場では言わなかったことを言ってくれた。一石二鳥三鳥はあるかなって思いますよ。稽古後の飲み、誘って欲しいです。

G2●行きましょ! 行きましょ!

稽古の後、やっぱり……

G2●戸次さんでいうと、春風亭昇太さん、吉田鋼太郎さん、そして月船さらさん、この3人と絡む戸次さんが楽しみ。この前、飲んでる席で偶然さらさんと話したんですけど、上

戸次●稽古が終わった後の飲みで好きですね。汗もかいてますし、稽古場でできない話も出てきますよね。『宝塚BOYS』の時は間違いないで置ききくらで飲んで、たまに演出の「裕美ちゃんも来てくれて、稽古場では言わなかったことを言ってくれた。一石二鳥三鳥はあるかなって思いますよ。稽古後の飲み、誘って欲しいです。

G2●行きましょ! 行きましょ!

【注釈】

※1

TEAM NACS SOLO PROJECT『GHOOOOST!!』では、戸次がプロデューサー・脚本・出演を担った。

※2

G2が活動していた劇団・MOTHERの公演。00年に上演された。02年、劇団は惜しまれつつ解散。

※3

企画G2プロデュース/バルコ・リコモーション提携公演として、『人間風車』(00年、03年)、『ダブリンの鐘つきカビ人間』(02年、05年)があった。『MIDSUMMER CAROL』の初演は04年。

※4

戸次と月船は劇中で若夫婦役を演じる。

お知らせ 『MIDSUMMER CAROL ガマ王子 VS ザリガニ魔人』に出演を予定していた内田朝陽は、急病の為、公演を降板致しました。代役は笠原浩夫が務めます。詳細は <http://www.cubeinc.co.jp/> をご覧下さい。



G2

じーつー○59年生まれ、三重県出身。84年、演劇ユニット・売名行為に参加。91年に升毅らと MOTHER を旗揚げし、座付き作家・演出家として活躍。現在はG2プロデュースの公演、PARCO劇場との共同作品、松尾貴史とのユニット・AGAPE store の活動など、数多くの作品を手掛ける。近年は新橋演舞場での演出やミュージカル演出など、新たな挑戦をみせている。

次回予定◇『MIDSUMMER CAROL ガマ王子 VS ザリガニ魔人』(演出) ◇『A MIDSUMMER NIGHT'S DREAM ~THELジャクソンAなのが素敵~』(翻訳・演出) 6月○東京芸術劇場、北九州、大阪公演有り ◇3軒茶屋婦人会『ウツゲ』(演出) 7月○東京、福井、大阪、福岡公演有り



戸次重幸

とつぎげゆき○73年生まれ、北海道札幌市出身。北海学園大学演劇研究会の仲間と演劇ユニット TEAM NACS を結成。昨年8月には、TEAM NACS SOLO PROJECT としてプロデュース公演を行うなど、積極的に活動している。昨年12月に俳優名を佐藤重幸から戸次重幸に改名し、更なる活躍が期待されている。

次回予定◇『MIDSUMMER CAROL ガマ王子 VS ザリガニ魔人』3/21~4/6 PARCO劇場、4/10~16 新潟市民芸術文化会館、4/11~12 イズミティ21大ホール、4/14~16 シアター・ドラマシティ、4/17~18 広島厚生年金会館、4/18~19 福岡市民会館、4/21~22 愛知厚生年金会館

轟 悠
大和悠河

宙組の2008年は、日本現代史の舞台化で始まる。
『黎明の風—侍ジェントルマン 白洲次郎の挑戦—』は
戦前と戦後の混乱期に、日本人の誇りを貫いた
白洲次郎の生きざまを描く物語。
その作品に専科から客演する轟悠と
宙組の若きリーダー大和悠河に
この舞台のみどころを聞いた。

生きざまがカッコいい人物として

宝塚の男役のカリスマ的存在として専科で活躍する轟悠。
今回の公演では、戦後日本を支えた白洲次郎に扮して、
宙組に特別出演している。

その時代には珍しかった自由な精神と国際性で、
戦後史に欠かせない人物を、轟悠はどう演じるのか？

轟 悠
Todoroki Yu

戦後日本を裏から支える

——白洲次郎という人のことは、どんなふうに捉えていらっしゃるんですか？

今回、私が白洲さんを演じると知って、たくさんのかたから資料をいただいたり、お話を聞かせてもらったりしたのですが、とにかく日本の戦後史に欠かせない人であるということがよくわかりました。吉田茂元首相のふところの刀であり、日本が戦争で負けてアメリカに占領されていたときに、占領軍の司令官であるマッカーサーと対等にやり

あった数少ない日本人だったこと。そして、写真などを見てハンサムで長身で素敵なんですけれど、それだけでなく生きざまがカッコよかった人だと思います。

——たしか日本国憲法の制定とか、占領から解放される講和条約締結にもかなり尽力したということですね。

G H Q（連合国最高司令官総司令部）との間に立つて、調整するような役割でもあったので、亡くなる前にすべての書類を処分されたそうでした。その仕事の内容は、当時まわりにはいたかたたち、たとえばのちに総理大臣になる宮沢喜一の書いたものなどで知るしかないのですが、「講和条約で日本が国際社会に復帰したとき、白洲さんは初めて涙を見せた」と宮沢さんの文章にはあつたそうです。

——国際人であるとともに愛国者でも裏方に徹したと聞きます。

何よりも、考え方がとても自由で、時代に流されないし常に先を読んでいた、戦争が始まったときに「これから農業だ。必ず食料がなくなる」と田舎で畑を作られたり、あの時代には珍しいかただったと思います。

——その白洲次郎の夫婦愛と、マッカーサーとの友情などが、この作品で描かれているんですね？

正子さんとは、舞台が開いたたんにお互いに敷かれている感じで出てきますが（笑）、それぞれの生き方があり型にはまらない夫婦の、お互いを尊敬し理解しあつて生きていく姿を、見ていた

Todoroki Yu

とどろきゆう○宝塚歌劇団専科、熊本県出身、獅子座、B型。95年「国境のない地図」で初舞台、のち月組を経て87年に雪組に組替え、97年より雪組主演男役に、「春櫻賦」「浅茅が宿」「ノバボサノバ」「凱旋門」などの主役で活躍。02年「愛 燃える」を演じたあと専科に。以後各組に特別出演して、花組「野風の笛」、雪組「青い鳥」を授け、星組「長崎くぐれ坂」、月組「魂のロマ」などの作品で大きな存在を示す。そのほかにも、日生劇場で「風と共に去りぬ」「花供養」「オクラホマ」「KEAN」などの作品の主演をしている。芸術祭演劇部門優秀賞、菊田一夫演劇賞などを受賞。

次回予定◇宙組「黎明の風—侍ジェントルマン 白洲次郎の挑戦—」
2/8～3/17◎宝塚大劇場、4/4～5/18◎東京宝塚劇場

役者も楽しむことが大事

——轟さんは、とてもスタンダードなお芝居をするかたなのに、意外とアドリブにも強くて、そこが面白いところなのですか？

役者がその空間を楽しまないとお客も楽しめないと思うんです。逆にお客様が楽しんでいらつしやるのを感じると、私もまた自由になれる。そういうことがわかってくると、舞台上でいろいろなことをするのが楽しくなるし、より自由に生きられるんです。

——白洲次郎という役を得て、また轟悠という役者の魅力が深まりそうなんです。

実在のかたで、しかも近い時代のかたを演じるのは、ご本人を知っているかたが多いということですが、本心に恐いのですが、とても素敵なかたで精いっぱい演じたいですね。それかこの作品の背景になる時代は華やかではないので、地味に感じられるかもしれませんが、出演者一同個性が輝いていて、楽しんで演じております。ぜひご覧いただきたいです。



2月宙組公演「黎明の風」白洲次郎（轟悠）

軍人だからこそ戦争の痛みを知る姿を

昨年夏のお披露目公演では、若々しく勢いのある宙組主演スターとして活躍した大和悠河が、この『黎明の風』では、歴史上有名なマッカーサー元帥の役にチャレンジする。

戦後の日本を占領した連合国側の最高司令官として、吉田茂をはじめとする日本側と対峙するマッカーサーは、大和悠河がまたステップアップするための大きなチャンスになりそうだ。

サン格拉斯とコーンパイプ

——マッカーサー元帥といえば、コースファイルに残る日本に降り立ったときのイメージが強いですが、サン格拉斯とコーンパイプを持った有名なシーンですね（笑）。あの姿も、この物語のなかでちゃんと出てきます。

——大和さんの年齢でしたら、ほとんど青春時代も描かれているそうですが、華やかなシーンもあるんですか？

奥さんのジーンと結婚した日から始まりますので、白いタキシード姿はあるのですが、あとはカーキ色の軍服とかオリブ色のコートとかばかりです。でもそういう服を、とてもかっこよく着こなしていたかたですから、私も軍服姿を素敵に見せていきたいなと思つていて、それが、それからジーンとの夫婦愛では、優しさとか包容力も出したいと思つています。

轟・白洲とぶつかり合つて

——この作品のなかで、白洲次郎と対立する存在として出てきますが、そこも大きな見せ場ですね。

マッカーサーという人はその頃の日本では、最高権力者という立場なんです。その彼に、正面から意見をぶつけてくるのが白洲次郎で、お互いに意見の違いはありますが、それを越えるような共感を抱くし、最終的には尊敬し

Yamato Yuga
大和悠河

Todoroki Yu

やまとうが○宝塚歌劇団宙組、東京都出身、獅子座、B型。95年「国境のない地図」で初舞台、のち月組を経て87年に雪組に組替え、97年より雪組主演男役に、「春櫻賦」「浅茅が宿」「ノバボサノバ」「凱旋門」などの主役で活躍。02年「愛 燃える」を演じたあと専科に。以後各組に特別出演して、花組「野風の笛」、雪組「青い鳥」を授け、星組「長崎くぐれ坂」、月組「魂のロマ」などの作品で大きな存在を示す。そのほかにも、日生劇場で「風と共に去りぬ」「花供養」「オクラホマ」「KEAN」などの作品の主演をしている。芸術祭演劇部門優秀賞、菊田一夫演劇賞などを受賞。

次回予定◇宙組「黎明の風—侍ジェントルマン 白洲次郎の挑戦—」
2/8～3/17◎宝塚大劇場、4/4～5/18◎東京宝塚劇場



2月宙組公演「黎明の風」マッカーサー（大和悠河）

合うんです。でもそこまではちよつと激しいやりとりもあつて、白洲を演じる轟悠さんと、がつちりお芝居をさせていただけなので、やはり緊張しますね。

——轟悠さんとは初めての共演なんです。

——私宝塚に入る頃に

はもう若手スターでいらしたかた

という形で、一緒に芝居をさせていただけるのはとても嬉しいです。宝塚の男役の伝統を感じさせるお芝居でありながら、自然で自由なので、そういうところをぜひ見習いたいと思います。

——しかもショーでは、轟さんとデュエットダンスがあるとか？

私が女役で踊るデュエットと、銀橋の男役同士のデュエットもあります。宙組は前回が若さ爆発というショーだったので、今回はシックな部分もバワフルな部分もどか色が濃い感じで、また違った印象だと思います。

——宙組を率いて2公演目ですが、とても余裕が出てきているようですね。

宙組のみんなの、それぞれの個性が見えてきたと思いますし、とても生き生きしているのがわかるんです。この公演は、下級生までいろいろ見せ場がありますから、今の元気な宙組をぜひご覧になっていただきたいですね。



2月宙組公演「Passion—愛の旅」フィナーレの轟悠と大和悠河



演劇企画集団 THE・ガジラ 20周年記念公演第3弾

『新・雨月物語』

原作○川口松太郎
脚本・構成・演出○鐘下辰男
出演○山本亨 月影瞳 北村有起哉 森山栄治 若松武史 石村みか 他
1/25～2/3◎世田谷ハブリックシアター

戦国時代、吉野の山奥で陶工として暮らす源十郎（山本亨）のもとにも戦火が迫ってきて、武士に憧れる義弟藤兵衛（北村有起哉）は、山を降りて出世しようと源十郎を説得する。だが妻の宮木（月影瞳）は、里から逃げてきた理由もあって山を降りるのを拒む。そんな妻を置いて源十郎と藤兵衛、その妻の阿濱（石村みか）は出発する。だが彼らが踏み込んだ禁忌の場所、大蛇山には不思議で恐ろしい出来事が待っていた。

観ているかたが感じたままでもいいと思うんです。源十郎が襲われてケガをしていた間に見た夢と考えてもいいし、現実が起こったのかも知れないし、やっつては「ここは夢、ここは現実」とか決めてないです。記号で「」ってありますよね。あれを思い浮かべるんですが、冒頭のシーンもラストから繋がついてエンドレス

雨なのに月が出る不条理

20周年を迎えたTHE・ガジラの、記念上演シリーズのファイナルを飾ったのは『新・雨月物語』。江戸時代の上田秋成の読み本をもとに、これまでたくさんの舞台や映画で取りあげられてきたが、今回は鐘下辰男らしいアダプテーションで、原作には出てこない“山の民”という存在から、戦国の世の無残と不条理を映し出した。その舞台で源十郎を演じたのは山本亨。不思議な因縁もあったというこの舞台の手ごたえは？

「THEガジラは初参加だそうですが、その印象は？」

「ガジラの舞台は好きでよく観ていたので、出られたことがまず嬉しかったです。鐘下さんの演出は、周りから聞かされてはいたんですが、稽古場でのホワイトボードにはやはり驚きました。人間関係などを書いて説明してくれるんですが、すごくわかりやすかったです。」

「山本さん扮する源十郎は、出世を夢みて山を降りようとする。それを拒否する妻の宮木を置いていく状況が切ないですね。」

「たぶんあの状況では助からないし、宮木も「待つ」というけど、おそらく無理だろうと思っている。そして迷っているときに銃声がパンとなって、背中を押されるように決断するんです。山から降りようと思ったのは、里人で美しい妻へのコンプレックスもあったと思うんですよ。出世して対等になりたい。それに山の民を取り巻く差別的な「ミニティ」から脱出したかった、というのもあると思います。」

「その途中で凄まじい体験をしますが、何層にも幻想が重なっているようで、どこまでが夢か本当に起きたことかわからなくなりました。」

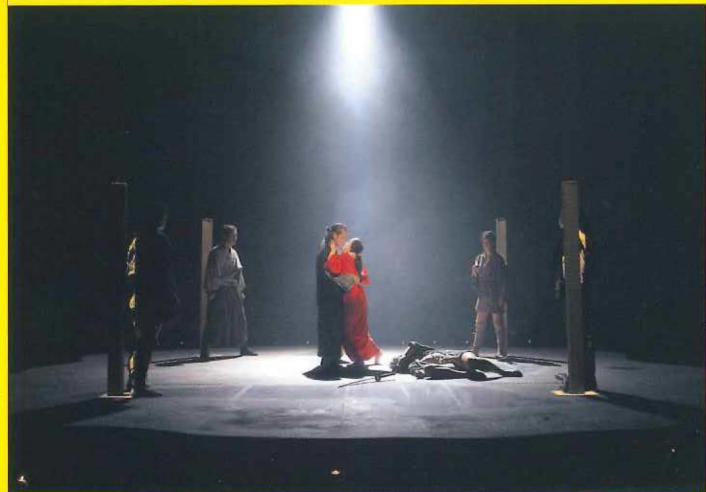
「観ているかたが感じたままでもいいと思うんです。源十郎が襲われてケガをしていた間に見た夢と考えてもいいし、現実が起こったのかも知れないし、やっつては「ここは夢、ここは現実」とか決めてないです。記号で「」ってありますよね。あれを思い浮かべるんですが、冒頭のシーンもラストから繋がついてエンドレス



山本亨

やまもとあきら○61年、滋賀県生まれ。元JAC、つかこうへい作品などで活躍し、商業演劇からTPTまでフィールドは広い。最近の主な舞台は「あすみ」05年、TPT「アメリカン・パッファロー」06年、阿佐ヶ谷スパイダース「桜飛沫」06年、TPT「エンジェルス・イン・アメリカ」07年、Bunkamura「ドラクル」07年など。

次回予定◎明治座NEO時代劇「HAKANA」4/18～27
◎明治座



マンションマンション 『人間フィルハーモニー』

高田（チョウソンハ）と妻子（高木珠里）はお互い愛し合っている婚約中のカップル。小説家の伊丹（嶋村太一）とその妻・麻子（根上彩）は結婚して数年が経ち、少し冷めつつある夫婦。朝志田（富岡晃一郎）と委員長（横山愛希子）は子供が出来てしまった中学生カップル。そんな3組の男女が登場する（ちょっといびつな）ハートフル・ナンセンスラブストーリー。

作・演出◎福原充則（ビチチ）
出演◎嶋村太一（親族代表） 高木珠里（劇団宝船）
チョウソンハ（ひよこと乱舞） 富岡晃一郎 根上彩 三浦竜一
横山愛希子 菊地明香 小森理
07/12/21～26◎下北沢 駅前劇場

“魅了する”って こういうコト

「芝居に魅了されるってこういうことなんだろう」と思います。マンションマンションの「人間フィルハーモニー」は、ナンセンスな笑ひ、仕掛け満載の舞台装置と演出、そして、ひねくれながらも素直な愛情を詰め込んだ台詞、etc……と、劇場でお芝居を観る楽しさに満ち溢れた作品。今回は劇中で結婚直前のカップル役を演じた高木珠里とチョウソンハを Power Push! しました!



ブルに飛び込みました からね、駅前で

高木さんとチョウソンハさんが演じたカップルとにかく素敵でした！
チョウ 最終的にはブルに飛び込みました（※写真参照）からね、駅前（劇場）で。

高木 アイディアを聞いた時は「いいね、水」って思ったんですけど。

チョウ その時は何も分かってなかった。高木 ブールの授業の後でぐったり疲れますよね。まさかその1000倍くらいの疲れがやってくるとは……。

チョウ 珠里さんは大変ですよ！僕はブルに入らずにすぐ終わりますけど、珠里さんはまず雨に打たれて、濡れたまましばらくあつて、とじめに飛び込んだから。

高木 入るまでは何も考えないんですけど。

チョウ 終わるまでは全然大丈夫なんですけど、終演後にいきなりね、悪魔が襲ってきて。

高木 ねえ、びびりしちゃった。

チョウ ああ、疲労感には信じられなかった。こんなの全然平気だと思っちゃったけど、時は病人のような目をしてました（笑）。

高木 公演が終わると大体寝たきり状態になるんですけど、今回は特にひどかった。年末年始は誰とも会わずに部屋で横になって。

僕らは突然飛ぶ星に 生まれたんです

高木さんの、憑依する様な演技がすごく魅力的でした。

高木 ありがとうございます。でも自分ではそういうのあまりよく分からないくて……。

チョウ 要は「突然飛ぶ」ってことですよ。僕らは突然飛ぶ星に生まれたんですよ（笑）。でも、それは結果であつて。

高木 飛ぶうと思つて飛んでいるんじゃないかと、本を頂いて自然にその役をやるとそうなるんですよ。演出家の方が「飛ばないで下さい」って言えば飛はないようにやりますけど。

チョウ（演出の）福原さんは「やり過ぎです」って言わないんですよ。高木 そうで、2人が似たタイプなの……。

チョウ 2人でどんどん上がついていっちゃうんです。珠里さんの座頭市のシーン（※写真参照）が、頼もしかったですよー！！（笑）。稽古場でも超真剣でしたからね！突然魂が宿るみたいに。

下品だけど上品というか

福原さんが書いた台詞にもキレイなものが多かったですね。

高木 キレイですよ。私は初めて福原君の芝居を観た時「この人の台詞を喋りたい！」って思いました。

チョウ この台詞は詩なのかな？と思うほど喋りやすいリズムなんですけど、言葉が汚いから面白いんですよ。だから照れずに言える。

高木 下品だけど上品というか、そのバランスがすごく好き。福原君の為に頑張ろうって思えるもんね。愛をもってね。

チョウ 愛を掻き立てる人ですよ。高木 たまに憎しみも入るけど笑。

チョウソンハ

ちょうそんは○81年生まれ。東京都出身。01年、劇団「ひよこと乱舞」の旗揚げに参加。その後、北区つかこうへい劇団を経て、04年にひよこと乱舞に復帰。以降、劇団の看板俳優として活躍する。外部出演も多く、期待の若手俳優として注目を浴びている。ロバート・アラン・アッカーマンなど、その天性の演技力を支持する演出家は多い。

次回予定◎the company「バム・イン・ギリヤド」4/4～20◎新宿シアターモリエール ◎映画「The Ramen Girl」08年公開予定

高木珠里

たかぎじゅり○愛知県出身。上京後、多くのプロデュース公演などに出演。04年、劇団宝船の旗揚げに参加し、以降全作品に出演する。少女から老婆まで演じわける抜群の演技力で変幻自在な存在感を示している。今作では「雨に打たれながら熱演」「ラストシーンでブルにダイブ」など、体当たりの演技で観る者を虜にした。

次回予定◎劇団宝船第5回公演「タイトル未定」8/23～27◎THEATER/TOPS



城山羊の会プロデュース 『新しい橋 le pont neuf』

作・演出○山内ケンジ 出演○深浦加奈子 古舘寛治(青年団) 石橋けい 小浜正寛 岡部たかし 金谷真由美
2/6～11◎下北沢駅前劇場



添島(小浜正寛)は、上司の純造(古舘寛治)に執拗な叱責を受け、自殺を試みるが後輩のトシオ(岡部たかし)と倫子(石橋けい)に止められる。優しい倫子に告白をするもふられた添島はデリバリーヘルスと呼ばれ、そこに現れたのは橋子(深浦加奈子)。後日、仲直りの飲み会の帰りに純造の家を訪れた添島は、橋子が純造の妻であることを知ってしまう。トシオの妻で橋子の妹のすみれ(金谷真由美)は、倫子と純造がキスをしているところを目撃。また、トシオは添島の別れた妻とどうやら怪しく――複雑にねじれた6人の関係は、橋子の現実とも妄想ともつかない世界の中で収束していく。闇の中に響く声は、果たして救いののか、もう届かない声なのか……。



山内ケンジ
やまうちけんじ◎CMディレクターとして、本名の山内健司の名で「NOVA」「ソフトバンク/予想外な家族」「サッポロ生搾りがきき麦/やっぱり猫が好き」など、多くの作品を手がける。04年「葡萄と密会」で演劇活動をスタート。青年団に同姓同名の俳優がいるため、演劇公演の際は「山内ケンジ」として活動する。
―― 次回予定◎城山羊の会(新作公演・タイトル未定) 11月下旬◎theatre iwato

ただようその“気配”

深浦加奈子のおもやかな微笑みが一転して虚ろに変わる時。そこに私たちは、ひとりの女のそこはかとない孤独の気配を感じ取る――。CMディレクター・山内ケンジの作・演出と、主演・深浦加奈子、それだけが決まり事のプロデュースユニットは、これが5回目の公演。本作は“よろめきもの”としての要素も含みつつ、そこが現実なのか心の中の風景なのかが渾然一体とした世界の中で展開する。真相も結論もそこにはなく、気配だけがそこには残されている。

――そもそも、山内さんがお芝居をやると思うに至ったきっかけはなんだったんですか？
僕の演出するCMに村松(利史さん)に出てもらったんですけど、家も近所で知り合いだったんです。その頃、村松さんは一人芝居をやっていたんですけど、僕がオムニバスの1本を書いたりなんかして、そういうのが続くうちに、長い芝居を1回やってみようかなってという感じで始めました。深浦さんは一人芝居を観に来たりしてて声をかけやすかったんで、出てもらったのがきっかけです。僕自身、演劇はずっと好きで、CMにもすいぶん小劇場の役者さんに出てもらったりしてましたし、舞台の演出をやってみたりとは前から思ってたんです。だけど、なかなかきっかけがないとできないもので、逆に今からそんな小劇場でやってみようかな？という気持ちもありましたしね。プロデュース公演を始めた当初は続けてやっていたくつもりはなかったし、今もないんですけど、あんまり(笑)。続けて…….とどんな公演の規模を大きくしたいとか、目指せば本多劇場とか、そういうふうには全然思っていないんです。ただ、やり始めると、最初のうちはお客さんも広告業界の人がほとんどだったけど、もって一般のお客さんにも観てもらいたいなあという欲が出てきますね。

――映像のお仕事をされているからこそ、演劇でないとできないことにはこだわりがありますか？
むしろ、演劇ファンだからオーディオボックスに演劇のおもしろさをやりたいなっていうのがありますよね。逆に映像とかは使いたくなくて、やっぱり典型的なストリートプレイをやりたい気持ちが強いです。脚本を書き始める時は、最初はまずキャストティング。深浦さんは決まってるけど、他のキャストティングを決めてから、それからどうしようかっていう感じです。

――強い作家性から生まれている話かと思っていました。
全然そうじゃないです。別にやりたい話なんかは大してないで、もう毎回当て書きで。半分ぐらい書いて稽古に入って、稽古を進めながら後半を書いていく、っていう感じです。
――お客さんにこういうことを伝えた

今回はプロデュース公演ということ、で、人の庭でやるので、いつもより極端にやりたいことだけやろう、と思いましたが、自分の劇団でやる時には変なバランスを考えたりするんですけど、それとはちょっと違う感じ。あと、自分が出まくろうと、僕は演技フェチみたいなところがあるの、役者さんと呼んで演出ついたりするよりも、自分が出たほうが手取り早いかなと。

脚本を書くときには、あまりストーリーがどうこうというよりは考えず、歩かせて書いてます。今回だと、人が死ぬのに誰かがカフオケを歌ってる……みたいなを書きたかったのかなという気はしますね。僕は笑いながら書いてるんですけど、観た人は傷いたりする。昔はその違いがすごく嬉しかったんですが、結局感じてることは嫌なのかもしれないと思って。僕は面白おかしいから笑って

るわけじゃなくて、傷ついたから笑ってんだってことに気付いたんです。だから、観た人のリアクションがみんな違って、笑ってる人がいたり泣いてる人がいたりしても、実際のところはそんなにズレはないのかなと。とりあえず自分はやりたくてやってるんだから、それをどう受け取られようが、「観たい」と思ってもらえればそれでいいんじゃないかなと思いますね。

――今回、4人で舞台でやるのがすごく面白くて。最初はちょっとコントかぐら

ジェットラグプロデュース 『投げられやす〜い石』

作・演出・出演○岩井秀人(ハヤイ) 出演○山中隆次郎(スロウライダー) 内田慈 中川智明
1/24～27◎新宿ゴールデン街劇場

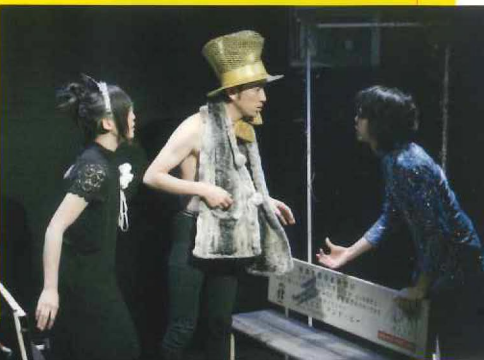
“傷ついたふり”を思い切りやる

痛々しい人間を、観る者の傷をえぐるようにあからさまに描く岩井秀人。果たしてこれを見て笑っていいものか？と戸惑いながらも笑ってしまった、核心を突かれてハッとしたり。笑いからシリアスへ、現実から妄想へと、どこか掴み所のないゆるゆるとした流れに身を任せているうちに、いつしか心が揺さぶられて――。そんな不思議な魅力を持つ作品を作り出す岩井の頭の中は。

岩井秀人

いわいひでと◎74年生まれ、東京都出身。15歳から20歳頃まで「引きこもり」として過ごす。03年にハヤイを旗揚げし、以降全作品の作・演出を務め、時々出演もしている。トラウマのようなものを露骨的に提示して観客を崖心地の悪い笑いへと追い込む独特の作風で注目を集める。

―― 次回予定◎ハヤイ(タイトル未定) 6月◎下北沢 駅前劇場



美術学生時代に“天才”と言われていた佐藤(岩井秀人)。親友の山田(山中隆次郎)は佐藤に憧れ、美紀(内田慈)は佐藤と付き合っていた。そんなある日、佐藤は忽然と姿を消す。二年後、山田のもとに佐藤から連絡が入る。待ち合わせ場所に向かった山田の前に、変わり果てた佐藤が現れ……。



いというものはありますか？

――全然ない。前回の話は昼メロがベースにあるんですけど、よろめきものというか、昼メロのあとでドロドロ口いてちよつとエロモラスなもの。今回はピンターとかペルイマンの、抽象的なおかつ深刻なものをやってみたいというのがあったんですが、全体のイメージがいっぱいでも漠然としていて具体的に悩まずに困ってました。でも、稽古が始まってみたら書けました。今回、役者さんはほんとにバランスが取れていて、6人に思えないです。この層の厚さっていうか。僕は稽古して、15人ぐらいいるんじゃないの？って思いました(笑)。

――多分、今回はまた全然違うものになると思います。3回目にはやったものが、ポルトガルの領主様の話だったんですけど、またそういう世界観のものをやってみたいな。そもそも、強いて僕が芝居をやる存在理由といたたら、大人の芝居、というところになるんだろつから、次回、寓話的なものを作るにしても、高年齢層ならではの世界にしたいですね。

演劇ぶっく社
増刊

『クリエイターになる!』

ツクルヒトとツクリタイヒトをつなげるエンタテインメントマガジン。

映画

How To Make
『ガチ☆ボーイ』

主演 佐藤隆太や原作者・斎藤竜
太などスタッフが語る「学生プロレ
ス」青春グラフィティ 製作秘話?!

アニメーション

ネットから生まれる
映像作品たち
フラッシュアニメを原点とした新しい
ヒット作品たち。そのムーブメントに
迫る。

デザイン

森本千絵の仕事

Mr.ChildrenやSalju、「8月のキ
リン」のアートワークなど多岐にわた
る最先端の活動行動をご紹介します。

web

着うた開発人 村田知樹

「自分が欲しいと思うサービスを実現
したい」その思いが「世界で初めて発
売した音楽配信サービス」着うたを
つくった。AMDアワード受賞者に聞く。

ゲーム

「モバゲータウン」を
つくる人々

会員数800万人を超えたといわれ
る超人気携帯サイトの作り手たち
が語るヒットのモト。

映画・Web・音楽・グラフィックデザイン・アニメーション・ゲームなどの旬の情報を満載。
B5判:92ページ 定価600円

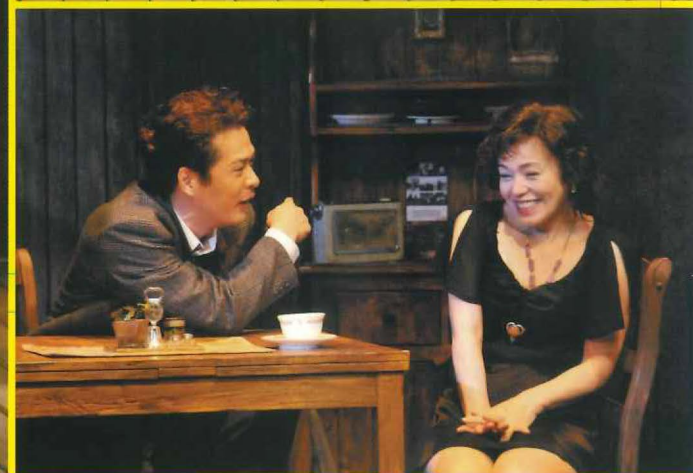
PARCO PRODUCE

『ビューティ・クイーン・オブ・リターン』

作○マーティン・マクドナー 訳○目黒繁 演出・出演○長塚圭史
出演○大竹しのぶ 白石加代子 田中哲司
07/12/7~30 PARCO劇場、1/4~6 梅田芸術劇場 シアタードラマシティ



アイルランドの片田舎・リターンに暮らす病身の母・マグ(白石加代子)と、行き遅れの娘・モーリーン(大竹しのぶ)。マグはモーリーンにすべての家事と世話をさせながら不平不満ばかり並べ、モーリーンもマグに嫌がらせをしたりと、毎日バトルを繰り返している。ある日、モーリーンはパーティでバト(田中哲司)と会い、家に連れ帰るが、マグは激怒し……。



母と娘の絶望的な絆

アイルランドの閉鎖的な田舎町・リターンに暮らす母・マグと娘・モーリーン。娘を家に縛り付ける母と、母を憎み、家からの脱出を願う娘は、冒険から激しく罵り合う。母子を演じた大竹しのぶと白石加代子のバトルが凄まじい。毒気と生活感が入り交じったメリフの応酬が、リアリティと乾いたユーモアを醸し出す。娘に対し不平不満ばかり言い、娘を束縛してその結婚を阻止するマグは、とても意地悪な老婆だ。だが、鋭い眼光で周囲を圧しながら、ときにはとぼけた表情を見せるマグには、不思議な魅力がある。

一方、モーリーンは母を憎悪しながらも面影を見続ける。ここ以外に彼女の居場所はないからだ。抜け出したくても抜け出せない、何十年にもわたる鬱屈した日々は、どんなに辛いことだろう。閉ざされた町の重苦しさ、じつと迫ってくる。バトとの出会いに将来の希望を見出すモーリーンだが、母の妨害のせいでバトからの連絡は途絶えてしまう。それでもバトとの未来を妄想し、母を殺せばバトの元へ行ける、と思いこむモーリーンの絶望の深さに、胸が締め付けられる。

結末のあまりの救いのなさは、アイルランドという土地の厳しさなのだろうか。母亡き後、ばんやりと独りロッキングチェアに座るモーリーンの空虚な表情が痛ましい。



この時代に、 劇作家で あること。

6月から3作連続で幕を開ける「シリーズ・同時代」。
新国立劇場による若手劇作家の上演企画では、
早船聡、前田司郎、蓬萊竜太の3人に白羽の矢が立った。
それぞれの新作戯曲に異世代の演出家の
コラボレーションによる舞台化。
現在、上演台本を執筆中の3人がはじめて集結した。
演劇界と自らをとりまく現状や、
書き手としての意識を、語り合う。



前田司郎
まえだしろう○77年生まれ、東京都出身。
97年、五反田回を旗揚げ。『家が遠い』で
京都芸術センター舞台芸術賞受賞。本年、
田嶋曲賞を受賞。著書に『愛でもない青春
でもない旗立たない』、『恋愛の解体と北区
の滅亡』(ともに講談社)などがある。

シリーズ・同時代 Vol.1『鳥瞰図 -ちようかんずー』

6/11~22◎新国立劇場小劇場 THE PIT
作◎早船聡 演出◎松本祐子 出演◎渡辺美佐子 浅野和之 野村佑香 八十田
勇一 弘中麻紀 浅野雅博 佐藤銀平 品川徹

シリーズ・同時代 Vol.2『混じりあうこと、消えること』

6/27~7/6◎新国立劇場小劇場 THE PIT
作◎前田司郎 演出◎白井晃 出演◎國村隼 橋爪遼 他

シリーズ・同時代 Vol.3『まほろば』

7/14~21◎新国立劇場小劇場 THE PIT
作◎蓬萊竜太 演出◎栗山民也 出演◎秋山菜津子 魏涼子 前田亜季 黒沢とも
よ 中村たつ 三田和代

お問い合わせ：新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999
http://www.nntt.jac.go.jp

意図的に芝居を観ない作家たち

今日がみなさん初対面なんですね。それぞれ
の作品などはご覧になつていらっしゃるんですか？
蓬萊 前田さんの戯曲は読んでいて、緻密な書
き方をなさっているという印象を持っています。
きつと変わった人なんだろうなと。実際に
会って、いい意味でやばいなと思つた(笑)。作品
と人柄がヒタリとハマって、ちょっと気持ちいい
ですよ。脇に落ちたという。早船さんとはホ
ントに初めましてですね。
早船 まだ経験が浅いので……。五反田回のお
演は「キャベツの類」などを観ていました。
前田 もちろんおふたりの名前前は聞いており
ます。ただ、僕は芝居をほとんど観ないんですよ。
ちょっとだけ意図的に。
蓬萊 同業者とはやっぱり会い慣れていないん
ですよ。役者はいろんな演出家に会うのでし
うけど、僕は接点がないから。僕も前田さんと
一緒にあまり芝居を観に行かない。自分の世界

お笑いマンガ道場のような対立を

皆さん70年代生まれですね。自身のジェ



ネレーションが演劇をやるうえで、いい時代であ
ると思いませんか？
前田 例えばマンガの世界がすごくいい時代
だったとき、才能ある人がそつてマンガにいた
だけと今いい業界っていうのはあとと傾くだけだ
すから。演劇は儲かっていない感じに見えた。僕
が演劇を始めた10代の頃は演劇に対して、学校
でいう「この部活だったら乗っ取れるんじゃない
か」みたいな感覚もあったんだと思います。失

れな話ですが無知だったもので。
蓬萊 少し前には演劇にも流れがあつて、プ
ムがありましたね。それが全部壊れたんじゃない
かと思っています。平田オリザさんがあの形を提
示して、手法としてはほぼ出尽くしたでしょう。
あとはオリジナルの手法ではなくて好きなこ
とをやりたい、となった。いろんな劇団ができ
た。フィクションの低いものもある。同じ世代
でもいろんな芝居があるし、演劇そのものの括

りが大きくなつていっているとは思いますが。いろ
んなジャンルが増えて豊かになつてきている反面で、
お客さんには演劇好きというよりもそれぞれの
劇団にファンがついているような状態を感じます
ね。だから演劇界が活気があるというところ、必ず
しもそうでもない。
前田 シンボリックな人がいない時期かもしれま
せんね。詳しくないから分からないけど。
早船 僕は大学を出て3年間くらいサラリーマ
ンをしていましたが。高校時代に芝居を観て
いた当時は、劇団間での客演があまりなかった。
まだ70年代の引きずりがあつたと思うんですが。
80年代の終わりのころは、お互いにライブ視して
いた劇団対劇団の構造というものがあつて、そ
れが芝居を活気付けていたようにも感じます。
前田 演劇に限ったことではないですけど、情
報が安くなった。情報が高価だった頃は、それぞ
れ特有の情報を持っていた、自分の情報が正しい
と思うから劇団同士で対立が生まれた。でも
今はだいたい同じ情報を共有しているでしょう。

それが対立を生みにくくしているかもしれない
です。

— アングラ世代と違って、気持ちのうさでも
対立したくないというのは？

前田 いや、できれば対立したい笑。「お笑いマ
ンガ道場」でも鈴木木さんと富永郎の戦いが一番
面白かつたじゃないですか。対立があつて面白く
なると思う。今言つたみたいな理由で論理的な
対立は起きなくなっているけど、こんな真面目
目つぱい話、演劇がくで大丈夫ですか(笑)。ま
あ観る方にとつてもっとエキサイティングな状況
があつていいと思います。

手書きとワープロの相違点

台本の執筆にもそれぞれスタイルがあると思
うのですが、書くうえで決めておられること
などをお教え願います。

蓬萊 あ、前田さんに聞きたいんですけど。1
日どれくらい書きますか？

前田 暇なときは4時間くらい。締め切り間近
で忙しいときは8時間くらい書きますからね。ちゃ
んと労働基準法に準拠しています(笑)。

蓬萊 僕はだんだん集中できる時間が短くなつ
てきて。しまいにゃオレはどうなるんだと思つて、
少し気になつていたので。

前田 今、新国立劇場の新作を書いているん

ですが、かなり時間をかけています。でも書けちゃ
うときは1週間くらいで1本上がることもあり
ますから、ホント、場合によるという。でも時
間が限られているときの方が書くの速いですね。
あと一ヶ月で本番とか。
早船 僕は遅いと思います。ちょっとずつ書いて
ますから。だいたい1日1ページかな。
前田 ホントにちょっとずつですね笑。五反田
団のときは6割くらい書いた状態で稽古初日で
す。といつてもラストまで書いてはいるんですが、
あと4割くらい変えるよつて役者には言っている。
今回は早船さんが一番ピンチですよ。上演が最
初だから物理的に締め切りが早い。

早船 誰がもう書き終わったとか、ハッパをかけ
られてます。

蓬萊 ウソの情報か流されている(笑)。でもさ
すがだなと思いますね。ほかのふたりが書いてい
ると言われると急ぎますよ。

— 早船さんはシノプシスもかなり詳細に決
まっていますね。

早船 もう雑でもいいから(笑)。でもだいたいシ
ノプシス通りの話になります。脚本提供は初め
ての経験で、僕だけ演出が男女のペアなんです。
そのこの軌線が出るものならそれを活かした
いなと思う。僕、女性にこういう風になつて欲し
いというのを原動力に書くんですが(笑)。松本



さんがそれをどう感じるかということにも興味
ありますね。それと……。おふたりに聞きたいの
はワープロと手書きでは頭の中の構造が変わ
るものなんじゃないかな。そこら辺がイマイチ分
からなくて。
前田 僕は時間があれば手で書きます。気が乗
らないところは字が小さくなつたりします。戯
曲を初めて書いた頃は手書きからで、そのうち
ワープロを使うよつた。最終的にパソコン
となった。昔は手書きじゃなければ書けないこと
があると思つてたんですけど、どうやらそうで
もないことが分かつた(笑)。
蓬萊 僕もずっと手書きだったんですよ。劇団
の台本では消して書き直したのが役者にとつて
情報になる。筆圧なんかもノッている状態が伝
わるし、そういう意味での手書きのよさがある。
劇団の役者にワープロで出したら分がりにく
くなつたと言われたことがあります。
早船 僕はプライントタチができないんで本
指で書いています。で、登場人物の役名を同じ
文字数にします。揃わないとイヤなんですよ。
前田 分かれます(笑)。
蓬萊 でもホントの話、おふたりはどこまで仕
上がつているんだろう？
前田 オレはほとんど書き終わりましたよ(笑)。

蓬萊竜太

ほうらいりゅうた○76年生まれ、兵庫県出身。
99年に舞台芸術学院の同期生である西
條義和とともにモダンイズムを旗揚げ。
以降、全公演の作・演出を務める。『時には
父のいない子のように』、『第32巻海丸』、舞
台版『世界の中心で、愛をさけぶ』、舞台版
『東京タワー』など、プロデュース公演の脚
本提供も多数。



早船聡

はやふねさと○71年生まれ、東京都出
身。02年円演劇研究所修了後、05年に劇
団Suspendeds旗揚げに参加。『上石神井
をさがす』などこれまでに4作の戯曲
を手がける。役者として『マッパの少女』
『象とサンダル』『アイスクリームマン』など
に出演している。



レポート Vol.20

いきなり新国立から!?

演劇大宮エリー、始動

会場は新国立劇場、主催はTBS。
出演は片桐仁、石田ひかり、松村雄基、遠山景織子、山下真司、板尾創路……。これだけ聞くとキャリアのある有名演出家による舞台のようだが、この『**GOD DOCTOR**』はなんと新人作・演出家による公演。その名も「**演劇大宮エリー第一回公演**」。……大宮エリーって誰？



大宮エリー

大宮エリー
おみやえりー○75年生まれ、大阪府出身。
東京大学薬学部を卒業後、電通入社。CM
プランナー、コーディネーターとしてヒットCMを
生み、山崎さよし、スピッツ、ケツメイシなど
のMVでは監督としても活躍。06年に独立
し、『海でのなは』で映画監督デビュー。
NHK『サリナマンNEO』では脚本参加、週
刊文春・パルバスではエッセイストとしても
活躍。3月には初のエッセイ集『生きるコント』
(文藝春秋)を発売。

をやることになって、公開したら、気に12本くらい映画のオフアが来た。でも、どれを選んでいいのかわからない。誘ってくれた人たちの思いに120%の力で応えられない自分があったので、これは失礼に当たると思っ、全部お断りしたんです。そしてようやく落ち着いたいて「さて、何をやるか」と思ったときに、演劇をやろうと思った。

——それは誰かから声をかけられて？

それもありますね。仲良くしてもらって

『海でののはなし。』(主演 宮崎あおい、西島秀
俊)で映画監督デビュー。ユーロスペースはか
で5ヶ月というロケランを記録した。昨年は大
人計画が企画した日テレの連続ドラマ『オ
さん先生』の総合演出も担当し、週刊文春な
どでは「セリスト」としても人気。という多
才の人。その大宮エリーが、初めて演劇を作
演出する。

異例の大型新人？
初舞台で新国立劇場

演劇には、いつごろから興味を？

が好きでリクエストしてるんですけど、よく彼らから「観てください」と誘われるのが、映画と演劇なんです。映画の場合は観れなくてもバカなんですけど、演劇はバレる(笑)。だから小劇場系のものから蜷川幸雄さんのものまで、けっこう観ていて、いつかやりたいなとぼんやり思ってたんです。

それは電通時代から？

そうかな。はつきり覚えてないんですけど
劇場に行くたびに思っていました。

ありましたね。でもどっちも「いつかやれたらいいけどね」みたいな感じだったんですよ。そしてまたまた『海でのなし。』（06年）で映画

そう。私は初挑戦。どうせやるなら面白いチャレンジになっていた方がいいと思って、そのときに「新国立劇場でやりたいんです」って言ったんですよ。そしたら「えっ？」って（笑）。それはミスマッチ感がありますね。

ありますよね(笑)。私が最初の連載を「週刊文春」でやったようなミスマッチ感。「今度初めて連載やるんですよ」「え、どこで?」「週刊文春」「大丈夫?」「みたいたね(笑)。今回はもうううギャグ感がなくて、ずっと演劇をやっている方たちに失礼かなと思っただんです。それに新国立で初舞台をやるのと、逃げ場がない感じする。傷つくダメージが大きい方を選ぶタイプなんです。守らないというか。

演劇大宮エリー 第二回公演
堂々たるユニット名の裏側

——ユニット名の、演劇大宮エリーって、ずいぶんストレートですね。

これ、恥ずかしいんですよねえ（笑）。
——どうしてこの名前に？

ポスターデザインをアートディレクターの秋山具義さんに相談したときに、「何で舞台なの？」って言われて、「私は映像をやっているけど、ちゃんと演劇をやりたいんだ」と話したんです。映像の人がちやうど演劇をやるようには思われたくない。自分ならではの新しいものをやつて、そして続けていきたい。その第1回公演なのよ!」とあなたで言うてたら、「じゃあそのままでいいじゃん」と。演劇大宮エリー第1公演」と書かれていますよ(笑)。「まんまじゃあ!」それに本谷有希子さんみたいじゃん!」なんて言ったんですけど、「誰も思わねえよ」なんて言われて。

——天でも地でもないハザマ。登場人物たちはその病院の研修医という設定が面白そうです。なぜ半端な場所の、半端な人たちを描こうと？

自分自身が中途半端な人間だから(笑)。
——中途半端ですか？

はい。何かになりたいけどその何かがよくわからないし、どこにも属せない感みたいなのがある。

ある。それは自分の話ですけど、みんなの漠然とした不安感みたいなものも、そういうところ

から来たりするのかなと思うんです。「もつとこうだったらいいのに」とかね。

——そうかもしれないですね。

身は、もがいてることもある。誰にでもハザマは

んです。基本的にはコメディですけど、笑って終

演劇のハザマでも
新しさに挑戦

るような、何か考えさせられるようなものになりたいと思っています。

——チラシに書かれてるゝ休憩お芝居協賛〓
LOTTE、読売新聞、サントリー〓という箇

これが史上初の試みだと思うんですけど、休憩の間に、また違う芝居をしようとしていてつまり、広告芝居。

——生CMで広告収入を得ると？
はい。「制作費のために協賛してください。その代わり、水と生きるサントリーのための芝居を書き下ろします」というふうにお願いしに行ったんです。

——「提供はロツテでした」で終わるようなす
劇ですか？
いや。お芝居のテーマ自体がロツテ、というよ
うなものを。舞台ロツテ。舞台サントリー。み
たいな。

——よくわからないけど新しそう(笑)。
自分の仕事を増やして首を絞めていつてるといふ説もあるんですけど(笑)。

——大宮さんはCMプランナーに始まって、映画監督、エッセイストなど、どんどん仕事を広げていってますね。拡張させるのはどうしてですか？

なんでだろう。よく「キャリアを崩してまで、何で新しいところに行くんだ」と言われたりもするんですけど、それが自分らしいのかなと思っていて……。一回、崩したくなっちゃうんですよ。

それはなぜでしょう。

作品自体を面白がってもらうと同時に、自分がチャレンジしていく感じも楽しんでもらいたいのかな。「アイツ、やめときゃいいのにまた舞台とか手を出して」「勇気あるなあ、バカなの

演劇大宮エリー第一回公演
『GOD DOCTOR』

作・演出◇大宮エリー
出演◇片岡 仁 石田ひかり 松村雄基 遠山景織子 山下真司 板尾創路
5/4～18◎新国立劇場小劇場
5/22・23◎兵庫県立芸術文化センター中ホール

お問い合わせ:ハウフルス 03-5411-0855
<http://eplus.jp/god>



かなあ「みたいに思われたい」(笑)。私はスバ抜けた何かがあるタイプではないけど、そういう。向かってく勇氣。だけはあかなと思ってるんです。それを見たみんなが「アツクあんなことやるんだって、オレはこれやってみよう」とか、広がってくらた面白い。特に演劇は、この時期にこのメンバでちゃんとやることで、いろんなことが繋がってくる気がしてるんですよ。

撮影所の中にある映画の学校

映画会社「日活」が運営する
映画・映像スクール

現場実習制度により、在学中からプロの現場、オーディションに参加!

チャンスは現場からつかむ!



演技科 ○○○○
観客から表現する側へ
俳優・声優養成

映像科 ○○○○
観る側から創る側へ

2008年度生願書受付中!
願書締切 4月10日

体験入学実施中!
プロ直結の環境を体験!

撮影実習
3/8 3/13 3/30

特殊メイク体験 3/20
平日であれば、いつでも見学できます。お気軽にご連絡下さい。

資料請求・体験入学のお申込みは

日活芸術学院
NIKKATSU
〒182-0023 東京都調布市染地2-8-12 日活撮影所内

0120-832-443

www.nikkatsu.com/school/

school@nikkatsu.co.jp

nk@am.md に空メール

日活芸術学院 検索

シバイのミカタでは読者の皆様からの投稿レポートを募集しております。面白い作品を観た感動を色んな人に伝えたい!と思っている演劇好きのあなた、ご応募お待ちしております! 尚、投稿レポートを採用させて頂いた方には掲載誌を贈呈致します。

※投稿は、①公演名・劇団名、②レポートのタイトル、③レポート本文(200字以内)、④公演クレジット、⑤投稿者のお名前・ご住所・お電話番号をご記入の上、封書またはメールにて受け付けております。本誌掲載の際にはこちらからご連絡を差し上げます。掲載に関するお問い合わせは応じかねますのでご了承下さいませ。

▶応募先
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F
術演劇ぶっく社 シバイのミカタ投稿レポート係
E-mail: info@enbu.co.jp

『大恋愛 〜3人の演出家による“ロミオとジュリエット”〜』

キラリ☆ふじみで創る芝居



撮影◎青木司

“ロミジュリ”がここまで斬新に!

『ロミオとジュリエット』を、幕ごとに3人の演出家が演出するという試み。第1幕ではロミオもジュリエットも登場せず、プロンプターが代役として舞台上上がる。第2幕はバルコニーのシーンだけを抜き出し、8組の男女がそれぞれのロミオとジュリエットを演じ、愛を語り合う。そして第3幕では、バタバタと人が死んでいく様を、ライブ演奏とだるまさんがころんだをモチーフに力強く劇的に見せる。三者三様の自由な想像力が、まったく新しい“ロミジュリ”を作り出した。(渡辺)

原作◎ウィリアム・シェイクスピア 演出◎菅尾友(第1幕) 富永まい(第2幕) 多田淳之介(第3〜5幕) 出演◎石橋亜希子 尾倉ケント 亀田ヨウコ 北澤雅章 コスゲヒロシ 小長谷勝彦 小橋和之 佐藤雪江 下平尚輝 高田淳 竹内萌佳 田中寿直 長尾卓磨 中島愛子 夏目慎也 堀井秀子 松田弘子 村上聡一 村島智之 森田匠
2/7〜11◎キラリ☆ふじみ マルチホール

『欲々しい』

iOJO!



終焉ではなく続行の通過点

結成から15年を経て新団体への移行を発表したiOJO!の最終公演。テーマは欲。それは前向きな欲ではなく後ろめたい欲。舞台でも表面的には描かれな。しかし、内面の悲鳴の連続描写で確実に伝えてくる。生まれるのは不思議な生々しさ。そんな難解なやり方を可能にしたのは役者や演出家の高い能力。集大成的な完成ではなく次を感じさせる作品に、新団体への期待感が派生。同じ人達が作る改名後の新団体。同じでも何かが変わる予感。(東京都ノとまねこ)

作・演出◎黒川麻衣 出演◎六角慎司 人見英伸 森田ガッツ(猫のホテル) 上野雅史 芳賀晶 金川周平(東京オレンジ) 菊地春美 佐藤志織 花田満子 珠井江都子 高橋信行 三木香澄 工藤史子 尾野島慎太郎 羽田知史 加藤華子 07/12/23〜30◎THEATER/TOPS 次回予定◎熱帯「次の曲をかけるのは誰だ」4/30〜5/7◎THEATER/TOPS

『靈感少女ヒドミ』

小指値



撮影◎加藤和也

ジャンルを飛び越えた自由な表現

05年にハイバイによって上演された作品を小指値がリミックス。ポップな映像やダンスを交え、幽霊と会話ができる変わった女の子・ヒドミの日常生活を通して都会に生きる若者の関係の希薄さと孤独とを突きつける。ヒドミが5人も登場したり、メールの送受信やテレビゲームを俳優の身体を使って表現したりなど、トリッキーで効果的なアイデアが至る所に散りばめられ、終始ワクワクさせられた。演劇ってホントになんでもアリだなあと感嘆。(渡辺)

原作◎若井秀人(ハイバイ) 作◎北川陽子 演出◎篠田千明 出演◎初音映利子 三浦俊輔 NAGY OLGA 大道寺梨乃 中林舞 野上裕代 山崎皓司
2/7〜9◎こまばアゴラ劇場
次回予定◎イベント「diet Coca-Coji」5月予定(小指値は活動休止し、新チームが始動します。新チーム名は4/1にHPで発表!)

『パイドラの愛』

文学座+青年団自主企画交流シリーズ



撮影◎青木司

生きてることこそ面白い

義理の息子である王子・ヒポリュトスを激しく恋慕う王妃・パイドラ。ある日、彼女は遂に心の内を告白し、王子が引きこもる部屋で性的関係に陥るのだが……。悲恋より悲劇に近いこの物語が時折ユーモラスに感じられるのは何故だろう。演出の松井周が言うように、今作は“衣を着脱する／される”ことが意識的に描かれている。日常的行為を改めて問うことで感じる「生の実感」、そして、人間が「極めて面倒が故に愛らしい」存在だからこそ、この可笑しさと哀しさは生まれるのかもしれない。(園田)

作◎サラ・ケイン 翻訳◎添田園子(文学座) 演出◎松井周(サンブル) 出演◎反田孝幸(b) 上田桃子(b) 添田園子(b) 仲俣雅章(s) 齊藤祐一(b) 神野崇(b) *(b)=文学座、(s)=青年団
2/8〜14◎サイタジオコマネA
次回予定◎サンブル「家族の肖像(仮)」8/22〜31◎五反田アトリエ・リコプター

毎日毎日どこかの劇場で上演されているたくさんのお芝居たち。
全部観ることはもちろん不可能だけど、時間とお金の許す限り、
面白い芝居をたくさん観たい! このコーナーでは、
本誌編集部員&ライターが観た『面白かった!』芝居をご紹介します!

『目を見て嘘をつけ』

KAKUTA



撮影◎相川博昭

今の日本を山奥の日常に映し出す

人間関係の面白さと複雑さがぎっしり詰まった芝居である。山奥の寺の一家を中心に、その周辺の人々の日常を散りばめながら、現在の日本の抱える問題や痛みが、それとなくこぼれ落ちてくる。もともと奇をてらわない作劇をポリシーに作品作りをしてきた劇団だけに、1人1人のキャラクター分担がみごと。客演の筒井真理子のちょっと綺麗すぎ? なニューハーフぶりも含めて楽しませてくれた。(椿原)

作・演出・出演◎桑原裕子 出演◎筒井真理子 内海賢二 成清正紀 若狭勝也 原扶貴子 佐藤遼 川本裕之 松田昌樹 大枝佳織 高山奈央子 横山真二 馬場信行
1/10〜16◎シアタートラム

『革命日記』

青年団若手公演



撮影◎青木司

集団から見える個への興味

ある若夫婦が暮らすマンションの一角。実はこの部屋、テロを企てる過激派団体の隠れ家として使用されており……。もはや“ドラマ発生磁場”と化したこの部屋が魅力的なのは、むしろその行為や主義ではなく、そこに存在する“個々”への興味だと思います。テロに対する距離感、メンバー内でも本当に人それぞれ。個人的には「口論となった女性が観客に背を向けたまま激昂するシーン」が印象的でした。あの背中への痠痛、真っ赤な耳、声。そこにどんな表情を観たかも、やはり人それぞれだった。(園田)

作・演出◎平田オリザ 出演◎堀土史実 小林亮子 長野真 宇田川千穂子 大久保直美 梅津忠 木村優子 近藤強 豊盛晴香 酒井和哉 板町元 佐山和泉 室美 中村真生 櫻中友仁
1/30〜2/12◎アトリエ春風舎
次回予定◎青年団「眠れない夜なんてない(新作)」6/27〜7/6◎吉祥寺シアター

『total eclipse』

WANDERING PARTY



現実の事件へと果敢に肉迫

80年代に大規模な悪徳商法を展開し、報道陣の目の前で暴漢に惨殺された「豊田商事」の永野一男。この事件と人物をモチーフに、ひたすら金と贅沢を追い求めた男の虚無的な人生と、メディアに関わる人間の責任に言及する物語を見せた。「ロックンロール劇団」を標榜するだけあり、8ビート調で小気味よく話が進むのが気持ちいい。現代の新聞記者と、永野がモデルの主人公と周辺人物を軽快に演じ分ける役者達の力業も拍手モノ。最近はこの様に現実の事件に真正面から立ち向かう若手が減った気がするので、今後も突き詰めていってほしい。(吉永)

作・演出◎あぶらとし 出演◎高杉征司 金本健吾 中村健 河合宏友 石原和子 山辺美香 岩間典子 信平エステペス 平貴之(劇団飛び道具) 藤原大介(劇団飛び道具) 07/12/14〜23◎京都市東山青少年活動センター 創造活動室、3/7〜9◎下北沢「劇」小劇場 次回予定◎「レオナルド・F&S」6/18〜22◎精華小劇場

『NINPU 妊×××婦 SANJO』

クロカミショウネン18



撮影◎鏡田伸幸

この姿勢、稀少なり

タイトルは『にんぷさんじょう』と読みます。確かに3人の妊婦が参上(登場)する話なのですが、そうシンプルな所に落ち着かないのがこの劇団。お互いに浮気をしているカップルが、それをこまかそうと嘘を重ね、勘違いのループが加速してゆく……という展開は、「これでもかっ!」と言わんばかりの“ボタンの掛け違い&誤魔化し”による波状攻撃。頭の中を整理するのがちと大変ですが、強引にでも笑わせにいくその姿勢と突破力に演出家の覚悟と心意気を見ました。この演出家、多分S気質です。(園田)

作・演出◎野坂実 出演◎吉川アダム 加藤裕 渡辺裕也 久米靖馬 ワダ・タワ 日ヶ久保 太田鷹史(スターダス・21) 佐藤正和(ラボカンパニー) 岡田梨那 松岡努 古賀実矢子 米田弘央(カムカム ミキサー) / 有馬光貴 1/30〜2/4◎下北沢駅前劇場 次回予定◎クロカミショウネン18「祝/弔」9/4〜15◎下北沢駅前劇場×OFFOFFシアター(2劇場同時使用公演)

シバイのミカタ

『あーさんと動物の話』

飛ぶ劇場



撮影◎藤本彦

20周年を迎えた、その楽しさ

九州の劇団・飛ぶ劇場の創立20周年記念公演にあたる今作。「あーさん」とは劇団代表の泊篤志がモチーフになっているとか。不条理な展開で家族が交錯する物語は、妄想のような、童話のような、不思議な倒錯具合で転がり続ける。しかし、不条理の中で光るのは、むしろその「演出の盤石さ」。様変わりする舞台装置を楽しみ、劇中歌に身を委ねる観客たちの目の前で、劇団が見せたかった“画”が息吹いてゆく……。そんな“観劇の原体験的な楽しさ”に包まれた作品でした。(園田)

作・演出◎泊篤志 出演◎寺田剛史 有門正太郎 内山ナオミ 木村健二 門司智美 藤尾加代子 内田ゆみ 葉山太司 大畑佳子 宗像秀幸 植藤昌弘 鶴崎秋子 森島寿彦
07年10月〜08年2月◎北九州・札幌・福岡・高松・東京・広島・宮崎 次回予定◎飛ぶ劇場「有限サーフライダー」10月下旬◎北九州、11月下旬◎精華小劇場、09年1月上旬◎こまばアゴラ劇場

『メディア モノガタリ』

三条会



撮影◎内田琢真

2500年前のモノガタリが現在に

ギリシア悲劇の『メディア』が、こんなに面白く、普遍的な物語だったとは。タイマーの役割を果たす俳優が登場し、舞台奥の壁にデジタルに表示された時間が芝居の進行に合わせてどんどん減っていったりなど、“時間”という概念を軸に描かれる。山口百恵風の曲が流れるなか、メディアはほぼ出ずっぱりで大量のセリフを語り、ときには曲に合わせて踊る。そんなバワフルなメディアを見て、女の強さや滑稽さを感じると同時に、男女の営みの奥深さを痛感した。(渡辺)

構成・演出◎関美能留 出演◎大川潤子 榎原毅 立崎真紀子 橋口久男 中村岳人 牧野隆二(クナウカ)
1/17〜20◎ザ・ズナリ
次回予定◎三条会 春のアトリエ公演「近代能楽集」14/19〜25(「都賀」「綾鼓」)、5/24〜30(「卒塔婆小町」「葵の上」)◎三条会アトリエ

ヨルテキ100

0 5 6

LONG
INTERVIEW

池田成志

怖がらせてゲラゲラ笑わせるものを観せたい



久しぶりに、池田成志の演出作品が観られることになった。

俳優としてのフィールドは広く、大劇場から小劇場まで、

どこかで必ず会うことのできる人だが、演出家としても

三谷幸喜の名作脚本『VAMP SHOW』を手かけ、

そのあと河原雅彦、千葉雅子という過激な作家たちと組んで、

印象的な舞台を作っている。

その池田成志が取り組む『49日後…』について聞くことにしたいが、

まずは早稲田演劇研究会に入り、小劇場全盛期を支えた

80年代あたりの話から始めよう。

くだらないのが好き

——池田さんは早稲田の演劇研究会(※1)出身で、当時の人気劇団、第三舞台(※2)や山の手事情社(※3)、それから鈴木勝秀さんのZAZOUS THEATER(※4)などで活躍していましたが、演劇を志したのはいつ頃から？

うちの親が、そういうことに興味があったんです。とくに父親が、ちよっと左翼がかつて本が好きで、よく映画とか演劇を観に連れていってくれたんです。映画はチャップリンのリバイバルの時期でしたし、演劇は飯沢匡さん(※5)の統一劇場(※6)だとか、小沢昭一さん(※7)のシャボン玉座の前身とか、井上ひさしさん(※8)の『11匹のネコ』(※9)とか。だからお芝居＝学校演劇のつまらないものという認識は持たなくてすんでいたんです。

——観ていた芝居は、かなり諧謔趣味のもんですね。

僕の親父が落語とか好きで影響を受けてますね。しかつめらしい演劇は観てませんから。くだらないのが好きで、どうしても斜に構えたいんですね。小学校のときから、お楽しみ会とかでは自分たちでコントみたいなのを作って、僕の処女作品は『ぶらさげ金太・諸国漫遊記』っていうんです(笑)。高橋英樹主演のドラマを見てたからなんですけど、その話を見ると、新感線のいのうえひでのりさんなんか「そっくりだ」って大笑いしてました。要するにくだらないのが好きなんです。そんな感じで、高校では映画クラブに入り演劇部を手伝うようになつて、そのとき観たつかこうへいさんの芝居に衝撃を受けました。それが、お芝居を本格的に考えだした直接の動機かなあ？

——映画作りではどんなことが楽しかったんですか？

編集が好きだったんですよ。でも手先が不器用だからぐちゃぐちゃにしてしまふんですが(笑)。でもかなり適当なクラブで楽しかったです。森田芳光監督が「ひめシネマフェスティバル」(※10)に優勝した頃で、なんか憧れたんですね。見てもないのに(笑)。

——映画には進まなかったんですね。

映画は大掛かりに感じたんですよ。ね。それに比べ、芝居は明日からでも始められるような敷居の低さを感じたんです。少人数でジャージ着てるし(笑)、手伝った演劇部の卒業公演で役者やって、ちよっと面白かったんですよ。

見学についてコード巻き

——大学は早稲田ですが、まともに勉強したいとか就職したいという気持ちは？



山の手事情社(※3)

安田雅弘主宰の劇団で、84年に早稲田大学演劇研究会の池田成志、柳田香里とともに旗揚げ。結成当初より都会的なセンスとライブなギガが評価され、小劇場チームにも果ては人気劇団となる。89年『ゆるやかなトンビリラロの身だしなみ』から集団創作を開始。先鋭的な表現手法の実験を重ね「山の手メソッド」と呼ばれるスタイルで、内外の古典や落語の読み替えを行っている。

ZAZOUS THEATER(※4)

早稲田大学演劇研究会を母体に、81年大／早稲田攻社から改名。鈴木勝秀が毎回役者を集める『ロテース制』として活動した。大石継太、吉田朝などが初期のメンバーだった。

飯沢匡(※5)

1909年～1994年。劇作家・演出家。「日本の幽霊」などの社会派風刺劇を発表。また『ヤン坊・チン坊』『フー・フー』など子供向けのシオやテレビの脚本家としても知られる。いわさきちひろ美術館の初代館長。

統一劇場(※6)

65年創立。「演劇は時代と向き合った作品、俳優、観客の劇場における統一現象である」と主張するリウ・ス・パンの統一劇場論に触発され、全国で活動を続ける。山田洋次監督の映画『同胞』モデル。86年に分裂して、現代座、希望舞台、ふるとしきやらはの3つに分かれた。

もちろんなかったです。友人には言えなかったですけどね、演劇やとか。でも内心では、東京に行けば色んな事ができるだろうなって期待はありまし

た。入学式は出ないで——そういうのが出たくなかったから——2、3日後立て看板を見て演劇研究会の芝居を観に行っただけです。タイトルが『鉛の日本海』、今だったら絶対に観に行つてないですね。また観ても意味がまったくなかった(笑)。演劇研究会にはスズカツ(鈴木勝秀)がいて、僕が「脚本を書きたいので入りたいんですけど」と言ったら「フ」って鼻で笑われて(笑)。

「うーちじゃ、とにかく3カ月、役者の修業してもらってから」って言われて。「お前、今空いてんの？」と聞かれてはい「言うたら、「じゃ、手伝つてけよ」とすぐにコード巻くの手伝わされて、あわや泊まり込みみたいな(笑)。そのまま毎日毎日演劇研究会に行つてました。

——勉強とかは？

1年間めちゃんと行つてましたね。第二文学部に在籍してたら時間的になんかなくなって、「応美術学科に進級できました」。

——そのころの演劇研究会は、アンサンブルがいくつくらい？

3つありました。大／早稲田攻社と第三舞台と新機劇というのがあって、白井晃さんと陰山泰さんたちのいた早稲田「新」劇場(※11)というのが、学外に出たばかりでした。だからいまだに白井さんとかに会うと軽く緊張したり(笑)、山内圭哉とかが陰山さんに「なにトチつてんだよ」とか突っ込んでるのを見ると、微妙な気持ちになるんですよ。直近の先輩ですから、「陰山さんに対し

すね。

たぶん僕とかが役者をボーダレスにしちゃった走りかもしれないですね。山の手にいながら鴻上さんに出たり、ZAZOUSに出たりしてましたから。山の手を5年くらいで退めたんです。劇団体質が肌に合わないもんで「1人でやります」と言つて、あちこちに出るようになって。ちょうどその頃に、第三舞台で制作をやつた中島隆裕というのが、サードステージ・プロデュース(※13)という形で公演をやりましたので、うまくシンクロして、『大恋愛』(※14)とかが、たぶんその形の初期の作品だったと思うんですが。中島は小劇場系のプロデュース公演というものを、ちゃんと商売にして定着させた実績があると思います。

——成志さんはわりとすぐ劇団を退めてますがなぜなんですか？

僕はけっこう「ええ、体質」なんです(笑)、でも権威みたいなものにはなりたくないという。ずっと先輩後輩つて

てなんてこと言うんだよ」つてなるのはしかたないですね。

——どの劇団に入るかどうかやって選ぶのですか？

3カ月経つと新人だけの試演会があつて、その指導役が三年生でスズカツと亡くなった岩谷真哉さん(※12)と吉田朝の3人だったんです。僕はしゅちゅうスズカツの実家に泊まりにいく、彼が借りたアパートで1か月くらい一緒に暮らす、絶対に大／早稲田攻社に入ると思われてたんだけど、どう見てもポップじゃない(笑)、悪いけど第三舞台に入りますつて。

——当時の第三舞台は、まさにブレイク中ですね。

ブレイク直前ですね。うまい役者が5人くらいいたんですよ。それにあまりにも理不尽に怒られるから(笑)、イヤになって。「俺、脚本書きたくて入ったのにな」と。その頃、独立しようとしていた安田雅弘さんに誘われ、「本書かせてくれますか」と言ったら「いいよ、みたいなことになって、ま、それはあとでウソだと判明するんですが(笑)」。とにかく安田さんと山の手事情社を作ったんです。旗揚げ公演は僕が書いたんですよ。そこでかなり書く方はダメだとわかりました。これが言いたいとか、このことが心に引っかかってくるから吐き出したい、というような思いが俺にはないなと感じました。要するにオリジナリティがなかったんです。次の年岩谷真哉さんが事故で亡くなって、第三舞台の公演が一本飛びました。次に予定されていたのが『モダンホラー』で、1カ月スズナリでやるという画期的な公演だったんです。それに出てくれと言われて、岩谷

さんとほすく仲良かったし、もちろん引き受けました。僕も安田さんもスズカツも出演するという劇研総力戦でしたね。それが終わってすぐ山の手事情社の本公演、続く翌年第三舞台が紀伊國屋ホールに進出した『朝日』のような夕日をつれて85』があつて、それが出たんです。5日間で10ステージ、声もかれるわという感じで。

——当時、疾走する演劇と言われてたくらいすごいスピードでセリフを。でもちゃんと言葉が届くような訓練をしていましたね。

早すぎでしたよね(笑)野田さんの夢の遊眠社も早かったし、古い演劇に対するアンチテーゼみたいなノリだったんじゃないですか？

——あんなに学生演劇が文化の最先端とか社会現象になるなんて、今では考えられないですね。

僕はそこからなんの恩恵も受けてませんけど(笑)。

山の手事情社のエチュード

——山の手事情社は、かなりユニークな活動をする劇団でしたね。

僕はどつちかというセンチメンタルで、物語のあるほうが好きだったけど、だんだん安田さんのナンセンスという志向が強くなって。それまでも普通の作品のコーナーコーナーに、そういうのを散りばめたりして、それはそれで僕も好きだったんですけどね。だんだん意味がわからないことを追求し始めたんです。僕がいた最後の頃なんか、みんなで稽古したいことを持つていくんですよ。「人が言つたどおり動く」とか「ヤジを飛ばす」とか、面白かったですね。

いまだにケラリーノ・サンドロヴィッチや古田(新太)が誉めてくれたりする。山の手っばい表現はだいたいそういうエチュードで作られて、ブラッシュアップして舞台にかけてました。

——山の手と並行して、スズカツさんZAZOUS「HEATERS」にも出てましたね。

客演ですけど、初期はよく出てましたね。実際、志向も似ていたし仲良く、彼に影響されてジャズを聴くようになったりしました。上京したての田舎者の私に多大な影響を与えたと思いますね、今にして思えば。スズカツありがどう！

——山の手に比べると物語性が強い舞台で、今も翻訳ものの演出家として活躍していますが、当時もよく海外の戯曲とか文学をもとに作つてましたね。

でも、スズカツの基本は「不条理」なんです。という早稲田の演劇は全部「不条理」から始まっていますから。そこに物語を加味してでも不条理に展開していく物語があつてもいいじゃないかみたいな、時代とか場所にリアリティを求めないというか、それをやつたのが鴻上さんじゃないですか？ スズカツも、1本の物語がやりたいんじゃないって、こういう事柄があつたら面白いね」というところで話を構築していく。だからスズカツの一番得意なのは構成劇なんじゃないかな？ 今、演出家として人気があるのは、組み立てる作業に秀でてるからだと思いますね。

劇団体質は肌合わない

——90年代に入つてプロデュース公演が多くなつて、成志さんもすごくいろいろな舞台に出てま

した。

僕も寛も、つかさんへのリスペクトは、なみなみならぬものがあるからじゃないでしょうか。それでいて、舞台では平気で開き直れる体質もあつて、こんなこと人としてやっていいのかとか、全然思わないタイプだったのがよかつたんじゃないですか？ 人として正しい生き方をお客様に教えないわけではないし、基本、いちばん楽しみたいのは自分だし。気が違いたいというかトリップしたくてやっていますから。それにつかさんという免罪符があるから、何やつてもいいという感じで(笑)。

役者を揺らしておく

——そこで、なにか変わりました？

3年くらい世話になりましたから、いわゆる演劇界みたいなことでは「あいつ、つかさんのところに行っちゃったね」みたいに見られてましたね(笑)。変わったことといえば、油断できないんですよ。その頃、僕はダンスが好きでよく観て、フランクフルトバレエのウィリアム・フォーサイス(※19)が、群舞できれいに揃つてゐるなかで1人だけ違う動きを始めるというのがある。ユニゾンで綺麗に揃つてたのがそれによつて揺らいでくるんです。そこが狙いで作つてるとフォーサイスは書いてるんですが、それと同じで、つかさんは「池田、あそこ、今日はこう変えるぞ」と言ってくるんですが、相手の役者には言わないで変えるんです。それでどう反応するかで、また変えるわけです。逆に僕もやられたり、とにかく心の中を揺らされるんです。ベタッとぬり絵みたいにならないように。

小沢昭(※1)

29年、東京生まれ、早稲田大学第二文学部卒業後、俳優養成所を経て51年初舞台。以後、映画、新劇、テレビ、ラジオの出演多数。TBSラジオ系小沢昭の小沢昭のころ」は放送開始25年目にあたる。著書に「私は河原を食う」他多数。しばしば玉座を主宰し、全国的に公演を続けている。

井上ひさし(※8)

34年、山形県生まれ、作家、劇作家、こゝろ座主宰。上智大学外国語学部フランス語科卒。放送作家としてスタート、人形劇「ひょろひょろ」で上野山島で人形作家。72年の「頭心中」で直木賞受賞。道元の冒險が岸田戯曲賞を受賞。以来、小説、戯曲、エッセイ、シナリオと活字の数を増やす。賞。この座は84年旗揚げた井上ひさし作品を上演する劇団。戯曲「化粧」(戯原橋本)父と暮らすはなど海外でも高く評価されている。最新劇作は07年「ロマン」。

「11匹のねこ」(※9)

馬場のぼるの絵本「11匹のねこ」をもとにした井上ひさしの戯曲。音楽は上野誠郎。

ぴあシネマフェスティバル(※10)

日本におけるインディペンデント系最大級の映画祭。去年で27回目。過去には森田芳光、矢口史靖、李相日、橋口亮輔、大童一心などを輩出している。

早稲田「新」劇場(※11)

早稲田大学演劇研究会のアンサンブルのついで、大橋宏白、井晃、陰山泰、高泉孝子らが所属。80年独立した後、大橋宏白が「劇団D.A.M」と改名して主宰。白井は84年に遊○機構／全自動アターを結成して活動した。

岩谷真哉(※12)

第三舞台の看板俳優で、「朝日」のような夕日をつれてのゴド1を演じた。84年5月8日交通事故で亡くなる。岩谷が出演予定だったテント公演としては最後になるはずの第三舞台公演「フラスティック」の白役で踊ればは中止になった。

サードステージ・プロデュース(※13)

第三舞台の制作をした中島隆裕が中心となり、87年に劇団公演とは別に立ち上げたプロデュース公演システム。「Vamp show」「トランスコード」を待ちながら「折る女」「エテラルサティ」(今度には愛妻家)など、今は中谷まゆみ作板垣泰演出の作品を主に上演している。

「大恋愛」(※14)

88年、東京、恵比寿ファクトリーで上演されたサードステージ・プロデュースの2作目。大高洋夫、寛利夫、勝村政信、池田成志、古田新太、渡辺いづみなど、今考えるとすごいメンバーが出演。構成、演出は木野花。

「熱海殺人事件 永すぎた春」(※15)

部長刑事、二階堂伍兵衛の犯罪捜査の美学が夢も哲学もないブス殺し犯の大山を、一流の犯罪者にまで仕立てる。伝兵衛の部下の水野刑事と、富山県警から呼び寄せた龍田刑事の4人だけで演じられる舞台は、すさまじいテンションと過激なセリフで毒気満溢という、つかさんへいながらの代表作。主演者にあわせて背景と照明が毎回少しずつ変化する。

「飛龍伝90」(※18)

つかさん(事務所初期の代表作「飛龍伝」アレンジ版で、90年に寛利夫と富田靖子で上演。安保闘争の時代を背景に、学生運動家神林美智子と機動隊員山崎平の恋を描いている。何度も再演され、寛利夫は変わらずに相手役だけ牧瀬里穂(92年)、石田ひかり(94年)、広末涼子(03年)と人気女優たちがチャレンジしている。また北区つか劇団版では01年に内田有紀も神林美智子で演じている。

「群衆純情伝」(※17)

89年8月、つかさんへいの復讐2作目。PARCO劇場で上演された。沖田裕司が実は女だったというもの。主演は平栗あみ。

ウィリアムフォーサイス(※19)

ダンサー・振付家。49年、ニューヨーク生まれ。シントウ・ガルト・バレエ団などを経て、84年フランクフルトバレエ団の芸術監督に就任。舞踊に残る傑作を数々発表。04年、同バレエ団解散後、自身のカバレーであるフォーサイスカバレーを結成。現代を代表する振付家の1人。



-593

雷時雨(三日月パピロン)
川口由美子
(前填バックドロップス)
川村エミコ
川本成
木野花
工藤史子
工藤順矢
黒岩考康(WATER 33-39)
後藤陽吉(青年劇場)
戸沼智貴
小林聡美
小林大介
今拓哉
近藤芳正
権藤昌弘(飛ぶ劇場)
財前直見
斉藤ナツ子(空間ゼリー)
斉藤舞子
笹野高史
佐藤伸行(音楽座)
重田千穂子
(劇団テアトルエコー)
七味まゆ味(神映ウ客)
柴山智加
寿寿(フランケンシュタイナー)
寿里
春風亭昇太
白樺真澄(宝井プロジェクト)
白谷亮(ジュース)
眞藤ヒロシ
陣内孝則
杉浦理史(bird's-eye view)
涼風真世
涼風諱
鈴木ハルニ
鈴木里沙(扉座)
関敬(隕石少年トースター)
副島新五(メイルシユトロム)
高井治
高岡早紀
竹井亮介(親族代表)
竹内大気
竹内都子
武田浩二(アクションクラブ)
武田真治
田中幸太郎
為房大輔
津田湘子(風琴工房)
トロイ
中田真弥
中村京紫
生井景子(DMF)
成瀬優和
(サニーサイドウーカー)
新納慎也
西田大輔(アンドエンドレス)
仁田宏和(方南ぐみ)
萩原聖人
萩原利映(グリング)
坂東玉三郎
東野祥子(月蝕歌劇団)
樋口麻美(劇団四季)
平沼紀久(劇団方南ぐみ)
広田あきほ(劇団前方公演填)
藤村一成
古澤龍児(innerchild)
本篠マキ(France-pan)
真家瑠美子
松井周(サンブル)
松井真人(あおきりみかん)
松本勝
三上俊(Studio Life)
向井孝成
向谷晋平
(O-MATSURI企画merrymaker)
森澤碧音(MKMDC)
本山香織
保村大和
山路和弘(青年座)
山田かつろう(赤込隊ビーム)
山本駿(架空量)
屋良朝幸
吉川博史
吉沢梨絵(劇団四季)
吉田朋弘
わかぎあふ(リリパットアーミーII)
和田ひろこ(ONEOR8)
渡辺えり

513-

尾関高文(THEGEESE)
各務立基(花組芝居)
上別府学(超人予備校)
川井J竜輔(劇団イナダ組)
希ノポリコ(コロボの木)
菊地智哉(劇団前方公演填)
日下部そう(ボカリン記憶倉)
栗須絵里子
黒木メイサ
小堺一機
小島聖
小西遼生
小林隆
逆木圭一郎(劇団☆新感線)
坂本岳大
桜乃彩音(宝塚歌劇団)
櫻井盤(犯罪友の会)
佐藤仁美
茂山宗彦
清水宏
志村麻里子(Mrsfictions)
純京介(前填バックドロップス)
壤晴彦
人羅真樹(イワイブメン)
鈴木貴彦(南河内万歳一座)
鈴木緑馬
高橋かおり
(進戯団・夢命クラシックス)
高橋克明(文学座)
高橋裕行(コンドルズ)
玉置孝臣
(ペンギンブルバレルバイルズ)
土佐和成(ヨーロッパ企画)
中村雪絵(劇団ぎゃ。)
中村友也
中村有志
仲本詩菜
西村篤
橋田雄一郎
猫背橋(大人計画)
橋田雄一郎
林修司
原千晶
原田泰造
日村勇紀(バナナマン)
福田靖久(デス電所)
藤森了(チームKGB)
星野真理
町田慎吾
松木良方
松本紀保
明星真由美
村山武蔵(Yes-man)
安森由加利(三日月パピロン)
柳さおり(劇団前方公演填)
山岸門人(劇団鹿殺し)
山口紗弥加
山田幸伸
山田百次(弘前劇場)
山寺安一
吉田晋一(カムカムミニキーナ)
ROLY
渡辺道子(ベターボーツ)
青木隆敏
明石家さんま
赤星マサノリ(sunday)
阿南敦子(東京セレンDX)
安倍麻美
有川マコト(絶対王様)
生田朗子
石川梨華
石坂勇(THE CONVOY)
伊藤アルフ(三日月パピロン)
戊井市郎
今立進(エレキコミック)
岩本達郎(扉座)
上領幸子(劇団昂)
内博貴
江田由紀浩(劇団イナダ組)
近江新之介(近江飛龍劇団)
大石継太
おーい久馬(ThePlan9)
大内めぐみ(子供のための
シェイクスピアカンパニー)
緒方和也
オクイシュージ(QC3000)
甲斐政彦
権田成美
加藤武史(劇団前方公演填)
金子有美(三日月パピロン)

593 1

381-

山脇唯(ヨーロッパ企画)
リッキー(伽藍博物館)
448 3 安奈淳
井川花林(三日月パピロン)
伊東孝明
伊藤まゆ(前填バックドロップス)
入江雅人
上田奈々(劇団前方公演填)
江本純子(毛皮族)
柄本明
緒方祥子
(O-MATSURI企画merrymaker)
おかやまはじめ(ラッパ屋)
香川照之
金沢涼恵(クロムモリブデン)
金子遼(劇団前方公演填)
河原幸子(劇団前方公演填)
樹木希林
銀粉蝶
草野徹
難谷聖美(三日月パピロン)
栗田かおり(リマックス)
越田裕(Yes-man)
斉藤範子(シアトルゲキダンゴ)
境宏子(ユッカ)
坂本真綾
The man
スギウユウカ(BABY-Q)
瀬川亮
瀬戸摩純
千田訓子(リリパットアーミーII)
ソニン
大東俊介
高木珠里(劇団宝船)
高佐一慈(THEGEESE)
高須浩明(化石オートバイ)
高橋恵子
宝田明
橋義(ピッコロ劇団)
月川悠貴
辻萬長
筒井道隆
円谷奈々子(劇団前方公演填)
デデュア(シャングリラIII)
日村琴乃(超人予備校)
永作博美
中嶋さと
中嶋朋子
中西さと(ウミ下着)
仲村トオル
夏目慎也(東京デスロック)
西川貴教
野田晋市(リリパットアーミーII)
橋本尚美(劇団前方公演填)
原尚子
火野優(劇団HALL JACK)
平田広明(劇団昂)
坂坂エマ(劇団☆新感線)
本田誠人(ベテカン)
MATSU(劇団EXILES)
三田村周三(三田村組)
森澤匡晴(スクエア)
山岸祥子
山西輝
余貴美子
横山一敏(JAE)
吉原光夫(劇団四季)
若村麻由美
有川マコト(絶対王様)
阿久津勝哉
(遊気舎/フランケンシュタイナー)
井内俊一(万有引力)
いしのようこ
石淵聡(コンドルズ)
市川海老蔵
市川実日子
伊東沙保(ひょっとこ乱舞)
稲荷卓史(唐組)
井上麻美子
(演劇集団キャラメルボックス)
伊原剛志
今村文美(前進座)
上村吉弥
USA(劇団EXILES)
梅田誠弘
(O-MATSURI企画merrymaker)
梅本真里恵(売込隊ビーム)
大井靖彦
大沼亮吉(Studio Life)
大堀光成
大森ヒロシ
(東京ヴォードヴィールショー)

317-

土屋裕一(*pnish*)
TETSU(Bags Under Groove)
手塚とおる
中野裕理(DMF)
中村真季子
中村梅雀(前進座)
成田血糖値(劇団前方公演填)
實方誠一郎(相模舞台同盟)
藤井理代
(テラ・アーツ・ファクトリー)
古川悦史
(HELLOTHERE!CO)
魔人ハンターミツルギ
(超人予備校)
松浦和香子(ベターボーツ)
松金よね子
松本幸四郎
水下よし(花組芝居)
村岡ミヨ(新派)
山本亨
山本聡司(劇団鹿殺し)
吉川亜州香(ショ-GEKI)
吉本菜穂子
赤坂嘉薫(WATER 33-39)
綾瀬雫(三日月パピロン)
猪狩敦子(bpm)
境宏子(ユッカ)
市川訓睦
市原悦子
イッセー尾形
伊東四朗
今村ねずみ(THE CONVOY)
井村昂
岩松了
上瀧昇一郎(空晴)
遠野あすか(宝塚歌劇団)
大久保綾乃
大河内浩
大沢たかお
岡本麗
小野剛民(I.O.H)
月川悠貴
辻萬長
筒井道隆
円谷奈々子(劇団前方公演填)
花南果南(前填バックドロップス)
河合龍之介
きたろう(シティボーイズ)
きたろう(シティボーイズ)
木場勝巳
キャサリン・ハンター
黒川恭佑
(北区つかこうへい劇団)
小熊絢(相模舞台同盟)
小多田直樹
(演劇集団キャラメルボックス)
小林愛(Team発砲・B・ZIN)
斎藤工
坂口修一
榎原毅(三条会)
椎名桔平
篠塚茜(シベリア少女鉄道)
清水順二(30-DELUX)
清水那保(DULL-COLORED POP)
新良エツ子(鬼町十三番地)
鈴木つかさ(THE PLAN9)
武末志朗(Peek-a-Boo)
谷口優子(相模舞台同盟)
多根周作(ハイルンド)
田村たため(大人計画)
丹野晶子(ロリータ男爵)
津村知与支(モダンスマイズ)
中越典子
仲間由紀恵
濱田めぐみ(劇団四季)
春田純一
廣田朱美(ショ-GEKI)
Hiropon(〜〜まるちょば)
若村麻由美
加藤和樹
中越典子
仲間由紀恵
濱田めぐみ(劇団四季)
金子貴俊
川平慈英
亀梨和也
川下ともこ(空晴)
木下瑞穂(万有引力)
楠美津香
後藤飛鳥(五反田団)
近藤公園(大人計画)
辻川哲郎
櫻井章喜(文学座)
佐藤賢一(サモ・アリナンス)
設楽誓
設楽統(バナナマン)
嶋澤ひろみ(劇団前方公演填)
首藤健祐(東京ハートプレイヤーズ)
鈴木杏
高橋まさかず(劇団ショ-マ)
山崎裕太
山崎樹範
山中たか(扉座)

381 4

268-

河原雅彦
北村守(スクエア)
こぐれ修(劇団☆新感線)
小須田康人
佐野瑞樹
志賀廣太郎(青年団)
竹中直人
岡方誠一(スクエア)
政岡泰志
(動物電気)
マメ山田
陽月華(宝塚歌劇団)
横田栄司(文学座)
吉沢悠
阿部光代(ベターボーツ)
市川亀治郎
江波杏子
片岡仁左衛門
キムラ緑子(M.O.P.)
霧矢大夢(宝塚歌劇団)
葛木英(メタリック農家)
梶原薫
小林健一(動物電気)
小松利昌(sunday)
コング森田(リリパットアーミーII)
谷口礼子
(O-MATSURI企画merrymaker)
千葉雅子(猫のホテル)
豊田真吾(デス電所)
長野里美
中村中
西ノ園達大
浜名実貴(前進座)
林剛史
平本光司(空晴)
舟見和利(Studio Life)
松下幸史(動物電気)
三宅健
宮崎吐夢(大人計画)
森貞文則
森下亮(クロムモリブデン)
森谷ふみ
八代進一(花組芝居)
良田麻美(SET)
吉原朱美(ベターボーツ)
相葉雅紀
麻路さき
森貴博
天海祐希
雨森スウ
安寿ミラ
飯田基祐
いけだしん(猫のホテル)
石原竜也
(Premier☆Million☆Carats)
一ノ瀬めぐみ(月蝕歌劇団)
猪野学
井之上隆志
上田一軒(スクエア)
上森ひろみ(D・Nプロデュース)
浦井健治
遠藤祐生
及川健(Studio Life)
風橋かなめ(宝塚歌劇団)
近江飛龍(近江飛龍劇団)
岡崎秀昭
桂憲一(花組芝居)
今井翼
加藤敬二(劇団四季)
角野卓造(文学座)
金替康博(MONO)
金子貴俊
川平慈英
亀梨和也
川下ともこ(空晴)
木下瑞穂(万有引力)
楠美津香
後藤飛鳥(五反田団)
近藤公園(大人計画)
辻川哲郎
櫻井章喜(文学座)
佐藤賢一(サモ・アリナンス)
設楽誓
設楽統(バナナマン)
嶋澤ひろみ(劇団前方公演填)
首藤健祐(東京ハートプレイヤーズ)
鈴木杏
高橋まさかず(劇団ショ-マ)
山崎裕太
山崎樹範
山中たか(扉座)

287 6

317 5

191-

山浦徹(化石オートバイ)
吉野圭吾
白羽ゆり(宝塚歌劇団)
191 14 浅野彰一(ファントマ)
小林高鹿
(ペンギンブルバレルバイルズ)
堂本光一
中村勘三郎
西村雅彦
吉田隆太(Studio Life)
197 13 今奈良孝行(エッペ)
片山健(劇団前方公演填)
田中哲司
野々すみ花(宝塚歌劇団)
201 12 彩乃かなみ(宝塚歌劇団)
磯野慎吾(劇団☆新感線)
嶋倉雷象(花組芝居)
菅原永二(猫のホテル)
千葉哲也(THE-GAZZ)
中谷さとみ(劇団☆新感線)
長塚圭史(阿佐ヶ谷スバイダース)
橋爪功(演劇集団円)
山崎和如(ベターボーツ)
渡辺いっけい
渡邊安理
(演劇集団キャラメルボックス)
212 11 井ノ原快彦(V6)
植木夏十(NYLON100℃)
近江谷太郎
桐生園加(宝塚歌劇団)
久世星佳
根田あつひろ
平野勲人(Team発砲・B・ZIN)
219 10 袁川翔
青山千洋
(演劇集団キャラメルボックス)
AKIRA(劇団EXILES)
岩本靖雅(猫のホテル)
荻須夜羽(三日月パピロン)
奥菜恵
小野寺隆一(劇団前方公演填)
笹本玲奈
篠田剛
(演劇集団キャラメルボックス)
日比大介(THE SHAMPOO HAT)
深津絵里
松村武(カムカムミニキーナ)
水島由夏(YMO)
山崎一
233 9 犬飼若博
大空祐飛(宝塚歌劇団)
岸谷五朗
貴城けい
姜暢雄(Studio Life)
猿飛佐助(ベターボーツ)
滝沢秀明
中井貴一
中村雅俊
藤井直子(劇団前方公演填)
藤元英樹(ファントマ)
古館寛治(青年団)
宮川大輔
横道毅(花組芝居)
247 8 相原ひな(YMO)
青田潤一(コンドルズ)
阿南健治
伊藤美穂(動物電気)
今井翼
大浦みずき
大原やまと(3LDK)
加賀まりこ
鹿賀丈史
香寿たつき
斉木しげる(シティボーイズ)
佐藤アツヒロ
壮一帆(宝塚歌劇団)
高倉恵美(劇団四季)
角田貴志(ヨーロッパ企画)
中川晴樹(ヨーロッパ企画)
樋口真衣(劇団前方公演填)
平谷紙(大人計画)
藤田善宏(コンドルズ)
ばくもとさきこ
(ペンギンブルバレルバイルズ)
三上市朗(M.O.P.)
268 7 浅野雅博(文学座)
市川右近
今井朋彦(文学座)
臼井琢也(BQ MAP)
榎本淳(三日月パピロン)
遠藤憲一

※15位の佐藤重幸さんは現在改名し「戸次重幸」さんですが
07年当時の名前で掲載させていただきました。

102-

102 44 西田征史
103 43 湖月わたる
104 42 諏訪雅(ヨーロッパ企画)
105 41 加納幸和(花組芝居)
林勇輔(Studio Life)
107 40 浅野和之
108 38 山本芳樹(Studio Life)
109 36 西岡徳馬
110 33 朝海ひかる
伊藤えん魔(ファントマ)
村岡希美(NYLON100℃)
113 32 岩崎大(Studio Life)
腹筋善之介(Piper)
115 31 細見大輔
(演劇集団キャラメルボックス)
美波
吉田鋼太郎
118 30 尾上菊之助
119 29 白石加代子
城田優
本多力(ヨーロッパ企画)
122 28 坂田聡
高汐巴
124 27 音月桂(宝塚歌劇団)
丸尾丸一郎(劇団鹿殺し)
126 26 関戸博一(Studio Life)
高橋一生
段田安則
寺脇康文
131 25 荒木健太郎(Studio Life)
石田剛太(ヨーロッパ企画)
大森南朋
唐沢寿明
小市慢太郎(M.O.P.)
森本亮治
137 24 勝山康晴(コンドルズ)
高橋克実
多田直人
(演劇集団キャラメルボックス)
轟悠(宝塚歌劇団)
長谷川朝晴
八十田勇一
143 23 緒川たまき
寛利夫
川原正嗣(アクションクラブ)
松本慎也(Studio Life)
村杉彬之介(大人計画)
148 22 きだつよし(Team発砲・B・ZIN)
瀬奈じゅん(宝塚歌劇団)
中野圭(劇団前方公演填)
保坂知寿(劇団四季)
152 21 福田吾郎
大森美紀子
(演劇集団キャラメルボックス)
野村萬斎
155 20 河野まさと(劇団☆新感線)
館形比呂(THE CONVOY)
廣川三恵(NYLON100℃)
松田暢子(ヨーロッパ企画)
159 19 相島一之
北村一輝
水谷八重子
峯村リエ(NYLON100℃)
盛井雅司(ファントマ)
164 18 インディ高橋(劇団☆新感線)
大竹まこと(シティボーイズ)
久保田浩(遊気舎)
古関千華子(三日月パピロン)
左東広之
(演劇集団キャラメルボックス)
辻修(動物電気)
椿隆之
広末涼子
真木よう子
有馬自由(扉座)
173 17 板尾創路
かやべせいこ(三日月パピロン)
田中圭
松尾貴史
178 16 内田滋
坂本昌行
チヨウソウンハ(ひょっとこ乱舞)
菜月チヨビ(劇団鹿殺し)
大和悠河(宝塚歌劇団)
ユースケ・サンタマリア
184 15 蒼井優
前田悟(アクションクラブ)
升毅
ムロツヨシ

51-100

51 95 西川浩幸
(演劇集団キャラメルボックス)
堀内敬子
53 94 堤真一
成宮寛貴
水夏希(宝塚歌劇団)
56 93 中村まこと(猫のホテル)
57 92 岡内美喜子
(演劇集団キャラメルボックス)
58 91 勝地涼
59 90 井上芳雄
松永玲子(NYLON100℃)
61 89 妻夫木聡
森崎博之(Team NACS)
63 88 星野源
64 87 八嶋智人
(カムカムミニキーナ)
65 85 真琴つばさ
66 84 片桐はいり
67 82 生田斗真
68 81 佐々木蔵之介
69 80 荒川良々
(大人計画)
70 79 真飛聖
(宝塚歌劇団)
71 77 坂口理恵
(演劇集団キャラメルボックス)
松尾スズキ
(大人計画)
73 76 みのすけ
(NYLON100℃)
74 75 宮沢りえ
75 74 池谷のぶえ
76 73 坂井真紀
77 72 永野宗典
(ヨーロッパ企画)
78 71 加藤啓(拙者ムニエル)
79 69 野間口徹
(親族代表)
80 68 曾世海児
(Studio Life)
81 67 前田綾
(演劇集団キャラメルボックス)
82 66 長谷川博己
83 65 近藤良平
(コンドルズ)
84 64 宅間孝行
(東京セレンDX)
85 63 温井摩耶
(演劇集団キャラメルボックス)
86 62 山口祐一郎
87 59 岡田さつき
(演劇集団キャラメルボックス)
88 58 植本潤
(花組芝居)
小松和重
(サモ・アリナンス)
90 57 伊達暁
(阿佐ヶ谷スバイダース)
91 56 川下大洋
(Piper)
92 55 安蘭けい
(宝塚歌劇団)
93 53 右近健一
(劇団☆新感線)
94 52 石原善暢
(演劇集団キャラメルボックス)
梅原真実
(三日月パピロン)
96 51 高部あい
97 50 春野寿美礼
98 49 村上航
(猫のホテル)
99 48 岡田義徳
100 46 木原春菜
(三日月パピロン)
山本カナコ
(劇団☆新感線)

1-50

1 3939 小林賢太郎
(ラーメンズ)
2 3106 阿部サダヲ
(大人計画)
3 2035 古田新太
(劇団☆新感線)
4 1841 片桐仁
(ラーメンズ)
5 1688 小栗旬
6 1007 岡田達也
(演劇集団キャラメルボックス)
7 959 久々沢徹
8 923 畑中智行
(演劇集団キャラメルボックス)
9 869 藤原竜也
10 722 高橋洋
11 684 秋山菜津子
12 611 市川染五郎
13 600 安田顕
(TEAM NACS)
14 584 山内圭哉
(Piper)
15 537 佐藤重幸
(TEAM NACS)
16 506 栗根まこと
(劇団☆新感線)
17 465 オレンヂ
(フラミンゴ)
18 453 音尾琢真
(TEAM NACS)
19 408 大倉孝二
(NYLON100℃)
20 387 北村有起哉
21 362 大泉洋
(TEAM NACS)
22 311 生瀬勝久
23 298 池田鉄洋
(猫のホテル)
24 264 森山未來
25 256 橋本じゅん
(劇団☆新感線)
26 211 松たか子
27 188 野田秀樹
28 185 平田敦子
29 173 宮藤官九郎
(大人計画)
30 166 高田聖子
(劇団☆新感線)
31 158 戸田恵子
32 143 中川晃教
33 129 堺雅人
34 127 三宅弘城
(NYLON100℃)
35 119 大竹しのぶ
36 118 福田航球
37 116 勝村政信
38 111 水野美紀
39 109 美津乃あわ
(ファントマ)
40 108 阿部丈二
(演劇集団キャラメルボックス)
橋本さとし
42 104 小林顕作
(コンドルズ/宇宙②コード)
43 102 大内厚雄
(演劇集団キャラメルボックス)
44 101 後藤ひろひと
(piper)
45 100 池田成志
犬山イヌコ
(NYLON100℃)
47 99 中山祐一朗
(阿佐ヶ谷スバイダース)
48 98 市村正親
49 97 菅野良一
(演劇集団キャラメルボックス)
50 96 篠井英介

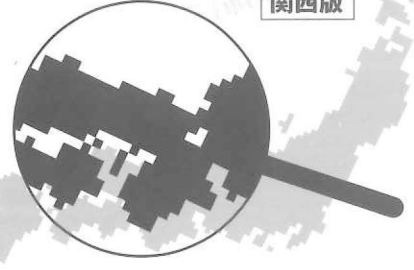
今回1位の小林賢太郎は、なんとえんぴつチャート始
まつて以来最高の得票数!「舞台で表現できるこ
と」を徹底的に追究するその姿勢が、表現者として
も多くの支持を集めました。
また、1つの作品から派生して違う舞台も観てみた
り、舞台と映像の境界線がボーダレスになっているの
かもかもしれません。
どちらにしろ、演劇界にとっては活性化のいい傾向
ですね。
「こんなイイ役者さん、私しか知らないかも……」と
今は思っています。来年には思わぬ活躍を見せてい
るかもかもしれませんよ?

俳優チャート 1-593

今年も多くの投票をいただきましたえんぶチャート。そのハガキ1枚1枚、どれもそれぞれの思いのたけが書かれています。このページでは、その情熱のほんの一部をビッシリとご紹介。電車内で読んだら車酔いするかも!?

特搜! エンブスクープ!

関西版



依頼

京都の学校跡地で、演劇やダンス関係者が学園祭みたいなことをやったそうですが、どんな感じだったのかレポートをお願いします!

都心部にある廃校の文化施設へのリノベーションが活発な京都。今回の舞台となった立誠小学校跡地もまた、京都一の繁華街・河原町の真ん中にあるため、今後のイベントスペースへの活用が期待されている場所なのです。このイベントでは「まことクラヴ」(主宰・遠田誠)「野村誠」(ヨーロッパ企画)(主宰・上田誠)と、くしくも学校の一文字「誠」の名を持つパフォーマーが集結。またこの3組の催し以外にも、別役実の講演会や出張カフェがあり、こちらにも多くの人が集まっています!

野村誠

山下残との共作など、京都のダンスシーンにも縁が深い鍵盤演奏家のアコースティックライブ。ピアノとピアノを同時に演奏するという、ビジュアル的にもインパクト大なパフォーマンスも。風の自由に自由な即興演奏の数々に、のほほんと癒される一冊でした。



comment 作曲や演出が主で、あまりソロ演奏はやってなかったのですが、これを機に増やそうと思いましたね。遠田さんや上田さんとはお互いあまり知らないまところクショをしましたが、予想以上に共感できる部分が多く楽しかったです。(野村誠)

まことクラヴ

イベント前に、まず会場をキレイにしよう!と立ち上がったのが、ジャージ姿でユーモラスなダンスを見せる「まことクラヴ」。一般観客と一緒に、時にアクロバティックな動きも見せつつ清掃作業。終了後には、掃除の動作をモチーフにした小作品を上演しました。



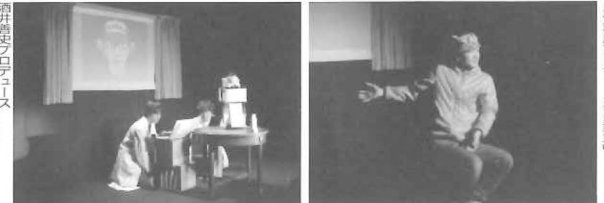
comment 「地元の方たちと掃除をしながら、なにげに身体表現へとコードインさせる」というお題を受けて作りました。前後祭のパフォーマンスもそれぞれがモチーフ。ただ掃除掃除中心だったので、今思うと拭き掃除もやればよかったです。(遠田誠)

ヨーロッパ企画

役者たちが個別に企画したイベントを同時多発的に行うという、これぞ「The・学祭」なパートを担当するのが、本誌でおなじみのヨーロッパ企画。その内容は、自作の短編を上演する者、ワークショップを開催する者、トークショーを行う者etc.....中でも石原正一を招いた「漫画朗読王決定戦」では、劇団員たちが王座をめくり、結構熱い火花を散らせてました。ちなみに初代王者に輝いたのは永野宗典!

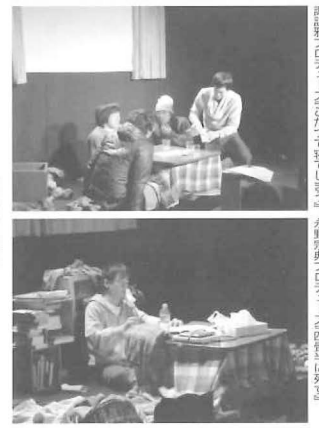


漫画朗読王決定戦



永野宗典(ヨーロッパ企画)

comment 学園祭をテーマに、各メンバーにプロデュースを依頼しました。中でも「演劇実験室」は、本公演ではやりきれないことを実験的にやれたのが、劇団としては収穫でした。今後これぐらいのカロリーのモノを、もっとやっていきたい。(上田誠)



漫画朗読王決定戦



永野宗典(ヨーロッパ企画)

出演◎ヨーロッパ企画、野村誠、ヨーロッパ企画、別役実
1/6(土)18:00、1/25(土)27:25日は前後祭◎元立誠小学校

まことクラヴURL◎http://makoto9love.com/

毎週火曜日は... 『火曜日のシュウイチ!!』

12月は山浦徹作の、人類の終焉を明るく描く一人俳優劇。1月は岡野真大の、ラジオにまつわるハードワークミグな物語を上演。大河津龍之介「ミッドナイト・エクス」もいよいよ佳境!残り2ヶ月を見逃すな!

In-dependent theatre 1stにて、2008年3月末まで絶賛上演中。詳細は公式HPで! http://tuchi.secret.jp/

【NEWS!】

「特搜! エンブスクープ-関西版」では、皆さまからの依頼をお待ちしています。「あの公演が見えなかったでレポートして欲しい」というものから「役者の*さんの素顔が知りたい!」「▲劇場の近所にある○○という店が気になるので調べて下さい」というものまで、ミラーなネタ、くだらないネタでもOKです。ただし、関西地方限定! 巻末ハガキにて「エンブスクープ」係まで。

作品編

阿佐ヶ谷スパイダース「少女とガソリン」▶▶中村まこと、犬山イヌコ両氏の軽くて重くて、硬くて柔らかいお芝居に心酔すべし。年を重ね、芝居の感じ方が変わってきたように思う。自分も経験を重ねたからだろう。年をとるのも悪くない(京都府/島崎直子)▶▶ざっくりと胸をえぐられた気がしました。狂気のうずの中で立ち上がってくる現実がリアルで哀しい。その迫りつめられたどうしようもなさに泣きました(北海道/くま)

維新派「nostalgia」▶▶舞台とは到底思えぬほどの世界観と、色彩と、夢に溢れた作品でした。台詞らしい台詞がないのが維新派の特徴のようですが、それに関わらず、たくさんインスピレーションを受けました(東京都/海馬)

演劇集団キャラメルボックス「トリツカレ男」▶▶この舞台を観た2時間はとても素敵なプレゼント(愛知県/aries)▶▶後半はもう涙涙でした。自分をかきりみない程の純粋さに心が痛みました。何度も観たい舞台でした(埼玉県/ちゅん)

猫と針▶▶シンプルな舞台上に重なっていき言葉が、すごく印象深かったです。「自分が思う自分」と「自分が思う他人」というような、主観と客観が見えておもしろかった(東京都/南瓜大王)

「まつさをな」▶▶まっすぐな、そして純粋な気持ちで振るんだね。わかってくれる人がいる。そんな人のまわりには生きてきた人がたくさんいる。感動しました(静岡県/Shin)

「野鴨」▶▶この作品は、タニノクロウ氏でなければありえない、事件というべき作品だったと思います(茨城県/宮松夏平)

NODA・MAP「キル」▶▶役者さんの台詞や動きによって舞台が色彩高く輝いて見えました(東京都/山内彩夏)▶▶最初から最後まで勝利に丁付けでした。カッコよすぎです!! 勝村さんの「げい欄」の広さに感動しました(笑)。手紙を届けるときに妙なスローワークには心を掴まれました。転がしながらもブレない発声には本当に感嘆です!!(東京都/海馬)

「恐れを知らぬ川上音二郎一座」▶▶生まれて初めて観た舞台です。しかも1人で東京まで上京。地方から東京まで生きてきたのは大変でしたが、運い出しに作品となりました(岐阜県/よーこ)

大人数計画「ドブの舞」▶▶おなかいっぱい。和・洋・中それぞれのフルコースを一度に食べたみたいだった(東京都/あっこ)

「闇の森に棲む鬼」▶▶鬼気迫るライ役の染五郎さん。愛くるしいが故に後半の悲哀が増幅される阿部さん。芯の強さと大人の女性の魅力ある秋山さん。笑いを取りながらもきっちり絡める古田さん。多才な役者さん達と、観客をひきつけるストーリー展開と演出に感動しました(愛知県/てん)▶▶度肝を抜かれた。舞台装置のすばらしさ、それにともなう脚本が絶妙で、休憩をはさみ長い舞台でしたがまったく長さを感じませんでした(東京都/独)

「橋を渡ったら泣く」▶▶海外ドラマ「LOST」を思わせる極限状態の中で生きる人々が、正気と狂気の間で見る人間の哀しさは可笑しさが切ないほどに愛しく思えました(埼玉県/森田由希子)

表現・さわやか「ボエム」▶▶お腹を抱えてゲラゲラ笑ってしまいました。単独のコントが続くよう大きな物語に集約されていくところに感心させられました(秋田県/鐘)

KKP「TAKEOFF」▶▶KKPの舞台はいつも一見ハッピーエンドである。しかし、実は終わりはなくはじまりで、この作品もまた然り。大筋「小が好き勝手あばれ」として最後にあんなにかっこいいことをさせては、たまらないではないか。じゃあ自分は? おそらく観た人誰もが思ったのではないだろうか。その先、小林賢太郎の台本はない。TAKE OFF後は自分で切り開いていくしかない。只今就職活動中の私はかなりもんもんとしてしまっている。もしかしたら人生変わるかもしれないんで.....(東京都/じゃくせん)

「坂原検校」▶▶とにかくおもしろかったし圧倒させられ、古田さんはまり役だったと思います。ぜひ再演してほしい作品です(神奈川県/アオヤン)

コンドルズ「2008年ツタンカーメン」▶▶コンドルズと言えば、あの躍動の高さとゆるさと真剣! 私にとっては初コンドルズ、おさまだこと色んな気持ちで観たワロニと格闘する姉。たつこの役の千葉雅子さんのカッコ良さ最高でした(栃木県/イタズ)

劇団鹿殺し「殺ROCK ME!!」▶▶鹿殺しの作品はこれが初めてでした。全身に衝撃が走

りました。黒ブリーフにサスペンダーでROCK!最高でした。アホな詞も面白すぎです(東京都/流史)

TEAM NACS「HONOR」▶▶私は中学校の演劇部に07年秋まで入っていました。「舞台は限られたことしかできない」と、4月くらいにとても悩んでいました。中学演劇は人員や予算が少なく、上演時間も短い。表現したいことがしきれないのではないかと感じていました。そんな時この作品を観て「こんなにすごい事が舞台ではできるんだ」と驚きました。そして「演劇は、映画に負けない無限の可能性がある」と知りました。「HONOR」は私の演劇観を変えました!!!!(栃木県/あんな)

ナイロン100℃「犬は鎖につなぐべからず」▶▶昭和の初めに作られたとは思えないぐらいいマジな話でびくびく。いくつもの作品を1つにまとめたKERAさんの手腕にも拍手(茨城県/のぼせもん)

「わが闇」▶▶ナンセンスな笑い一直線だった「犯さん戯」の直後に手がけたとは思えない家族劇! 一人一人心の片隅に闇を抱きながら生きていかなくてはならない。なんとなく発せられた一言にぐっと思わす涙が出ました(東京都/シマ)▶▶知らないうちに泣いてしまいました。ある家族のどこかにありすぎて、これだけ気持ち動かされるとは意外です(東京都/せんめい)

「ロマンズ」▶▶力量ある俳優陣が持てる力を十分に発揮し、楽しみながらもしっかりと演じていた「ロマンズ」。チェーホフの「笑いはひとびとのために作り出すしかない」というセリフにはときました(東京都/まお)▶▶年代によってチェーホフを演じる人を変えようという手法も新鮮な感じがしましたが、なんといってもテンポが良く、笑いも多く大変楽しめました(東京都/たまねこ)

「オセロー」▶▶オセローのデズデモナ、とっても聡明でよかったです。ハムレットのオファリアをいつかしてもらいたいです(愛知県/めい)

秋山泉子▶▶07年は気がついてみればずーっと秋山さんとも通ってたような気がします。本当にカッコイイ女性から色っぽすぎる女性、ちょっぴりおバカ!? まで何でもこなせる秋山さんは、観ていても安心できる素敵(東京都/カラフル)

東貴博▶▶07年は3本ののお芝居に参加させてもらったが、TVや映画などの画面ではなく、舞台上での東さんがこのほかよく、あとあと考えてみるとこの人、お芝居がデカいなあ」と思い返しました(東京都/カエワ)

阿部サダヲ(大人数計画)▶▶サダヲさんがステージに現れると、場全体が一気に明るく華やかに、かつカッコよく引き締まった雰囲気になります。舞台を観ると、本当に天の役者さん、スターだなと思います(東京都/ボーヤン)

栗根まこと(劇団☆新感線)▶▶「Abbey」での栗根さんの芝居は今の印象と異なり、胸に響きました(大分県/min)▶▶「犬顔」の体演に上演された朗読劇で、鮮やかな声色も変化をみせてくれて、本当にこの人はいろんなことを連発するなと思いました(神奈川県/ののち)

池田鉄洋(猫のホテル)▶▶「ボエム」ではお腹が痛くなる程笑わせていただき、「少女とガソリン」では切ない位の狂気をみせていただきました。特に忘れられないのが「苦学」でのラスト「血だな」の一言。これによっての貴方は最高です(埼玉県/ギター)

池谷のぶえ▶▶存在自体がすごいと思います。一度観たら忘れられないあのインパクト。圧倒的な存在感は、彼女の天性のものだ!!(広島県/みなと)

板尾路路▶▶板尾さんの演技は影のようで素敵です(富山県/みどりのし)

市川染五郎▶▶「闇の森」を観て、イメージがガラッと変わりました。素晴らしい色気があって、軽陣はカッコよく、そして立ち居振る舞いがすべて美しい。いわゆるヒーローでは決まてないのに、心底羨みになれず絶大な

ヨーロッパ企画「火星の倉庫」▶▶2007年

一番愛しました。ヨーロッパ企画といえどやはり「ゆるい」が売りますよね! 顔をゆるませたい方には是非オススメ。お腹がゆるい人は.....要注意です!(神奈川県/にゃっ)

ラーメンス「TEXT」▶▶見事なまでに構築されたその世界についてのかき引き込み、普段触れていないはずの「言葉」の魅力にただただ感動しました。ああ、日本語を話す日本という国に生まれて本当によかった!(埼玉県/ARTI)▶▶かつて「演ぶ」84号、えんぶチャート99で、ラーメンス第三回公演「箱さばらば」がチャートインしていたのを見てはそそりだ一人です。.....あれから早8年、ラーメンスはチャート上位の常連ですね(静岡県/けふ)▶▶何もない空間に小林さんと片桐さんという二人の役者が現れて、ほとんど小道具も使わず劇じり上げてくる。無限に広がる世界を。非日常の日常を巧みな言葉と動きで。私たちもその世界の住人になりました。小林さんは戯曲も創れるし、歌もダンスもうまいし、お芝居も目が離せなくなります。私の生き方を変えてしまった。素敵で特別な人なんです(大阪府/ライト)

「ロマンズ」▶▶力量ある俳優陣が持てる力を十分に発揮し、楽しみながらもしっかりと演じていた「ロマンズ」。チェーホフの「笑いはひとびとのために作り出すしかない」というセリフにはときました(東京都/まお)▶▶年代によってチェーホフを演じる人を変えようという手法も新鮮な感じがしましたが、なんといってもテンポが良く、笑いも多く大変楽しめました(東京都/たまねこ)

「オセロー」▶▶オセローのデズデモナ、とっても聡明でよかったです。ハムレットのオファリアをいつかしてもらいたいです(愛知県/めい)

秋山泉子▶▶07年は気がついてみればずーっと秋山さんとも通ってたような気がします。本当にカッコイイ女性から色っぽすぎる女性、ちょっぴりおバカ!? まで何でもこなせる秋山さんは、観ていても安心できる素敵(東京都/カラフル)

東貴博▶▶07年は3本ののお芝居に参加させてもらったが、TVや映画などの画面ではなく、舞台上での東さんがこのほかよく、あとあと考えてみるとこの人、お芝居がデカいなあ」と思い返しました(東京都/カエワ)

阿部サダヲ(大人数計画)▶▶サダヲさんがステージに現れると、場全体が一気に明るく華やかに、かつカッコよく引き締まった雰囲気になります。舞台を観ると、本当に天の役者さん、スターだなと思います(東京都/ボーヤン)

栗根まこと(劇団☆新感線)▶▶「Abbey」での栗根さんの芝居は今の印象と異なり、胸に響きました(大分県/min)▶▶「犬顔」の体演に上演された朗読劇で、鮮やかな声色も変化をみせてくれて、本当にこの人はいろんなことを連発するなと思いました(神奈川県/ののち)

池田鉄洋(猫のホテル)▶▶「ボエム」ではお腹が痛くなる程笑わせていただき、「少女とガソリン」では切ない位の狂気をみせていただきました。特に忘れられないのが「苦学」でのラスト「血だな」の一言。これによっての貴方は最高です(埼玉県/ギター)

池谷のぶえ▶▶存在自体がすごいと思います。一度観たら忘れられないあのインパクト。圧倒的な存在感は、彼女の天性のものだ!!(広島県/みなと)

板尾路路▶▶板尾さんの演技は影のようで素敵です(富山県/みどりのし)

市川染五郎▶▶「闇の森」を観て、イメージがガラッと変わりました。素晴らしい色気があって、軽陣はカッコよく、そして立ち居振る舞いがすべて美しい。いわゆるヒーローでは決まてないのに、心底羨みになれず絶大な

ヨーロッパ企画「火星の倉庫」▶▶2007年

最期に胸が苦しくなりました。(奈良県/ハル)

大倉孝二▶▶抜群のボディバランスとスレンダーな長身。そこから生まれる予測不可能なリアクション。次々動くのが全くわからない、観客にスリルと笑いを届けられる希有な俳優さんです(神奈川県/ショートモカ)

音尾琢真(Team NACS)▶▶NACSは5人ともそれぞれステキなんです。特に音尾さんはその演技のウマさに惹き付けられます!! 女の人の役も子供の役も違和感なく演じます! あんな役者さんはなかなかいません(岡山県/チャギー)

加賀真りこ▶▶『東京タワー』で演じるオカンは最高のオカンドでした。加賀さんが発する言葉の1つ1つに愛情がふれていて、『東京タワー』を演じたには観れない作品にしてみました(岐阜県/ひれきさ)

片桐仁(ラーメンス)▶▶演技力は昔とは比べものにならない程に上がっていますし、片桐さんが演技をしているのを観るととても幸せな気持ちになります。もう立派な1人の個性派俳優!だと思います(神奈川県/たー)

勝村政信▶▶「キル」で初めて生・勝村さんを見て、衝撃を受けました。舞台を心から楽しんでいる感じがにじみ出てました(栃木県/よじ)

北村有起哉▶▶北村さんの演技が大好きです! 情熱的な役でも優しくが伝わってきて、相手を思いやっているコトがわかります。「欲望」という名の電車」のスタンリーは本当に素敵でした!!(埼玉県/マメ)

美嶋雄▶▶「恋の骨折り損」ではフランスの王女、「犯さん戯」ではセクシーなランジェリー姿(笑)披露した姿など。TVでもイケメン→三枚目演技を演じていて、これからどうなるのかとても楽しみです(東京都/ちりりん)

小林源作(宇宙兄弟/コンドルズ)▶▶舞台上の源作さんは輝いています! あの笑顔を忘れさせるパワー! 若さ! 「流れ姉妹」ではガキ4人衆のひとりとして活躍していました。9役を見事に演じていました。フーズの役がフツッじゃなくなっている! 彼の才能にどんなに惹かれています(東京都/カノノ)

小林賢太郎(ラーメンス)▶▶彼にハマったら最後! 絶対に抜け出すコトはできません。言葉のセンス、笑い、そして容姿、声、彼の心から外まですべてがオススメです。でも一番の魅力は彼のしている「努力」から(山口県/あづき)▶▶ラーメンスを芸人からアーティストへ進化させる探求者。ライブのたびに常に最高の作品をつくりだしてくる姿勢に感動です(大阪府/ミナト)

三宅誠(ナイロン100℃)▶▶舞台上のどこにいても三宅さんの存在が気になり、何かしてくれるのではないかと目が離せなくなります。三宅さんの屈託のない笑顔に癒された人も多いはず!!(長野県/はせ)

村上天(猫のホテル)▶▶チンピラっぽい役とかエキセントリックな役とか本当にすごいんです。動きがキモくて夢に出てきそうな、むしろ出てほしいくらいにキモいです。あのなんとも言えない感じ、初めて観た時はショックを受けたなあと思います。今では中絶です(神奈川県/ももん)

森山未来▶▶『血の婚約』のフラメンコにのまれました。彼が踊り出した瞬間に空気が変わりました。天才です!(北海道/rosa)

安田順(Team NACS)▶▶不器用な男をやらせるとピカピカです。声もステキ。キャラクターもコミカルでおもしろいのですが、感動させる場面ではしっかり泣かせてもらえる演技も素晴らしいです(奈良県/とーこ)

佐藤(現・戸次)重幸(Team NACS)▶▶NACSでの活躍もですが、「宝塚BOYS」での華やかなデビューがあまりにも素敵で印象に残っています。改名された今年、ますます輝いてほしいです(東京都/雪はは)

高田聖子(劇団☆新感線)▶▶「闇の森」→

「キル」07年の聖子さんは凄かった。特に真心一座の座長は聖子さん以外考えられない。ほんとにステキだったな〜(大阪府/ちー)

西川浩幸(演劇集団キャラメルボックス)▶▶劇団公演での存在感&説得力は随一! 「鏡城」では、役者としての横の深さを存分に発揮(神奈川県/イリス)

野間口徹(観族代表)▶▶主張しすぎない存在感。でも時折ははっとするほど目をひく(埼玉県/カズミ)

橋爪功▶▶「レインマン」の橋爪さんの演技を観て、舞台とは演技とはこうあるべきなんじゃないか、と、演劇を観る上での価値観を変えさせられたような気がしました(埼玉県/進士美穂)

橋本さとし▶▶これまでの、熱く迫力でもミカエな演技でももちろん好きですが、「レミゼラブル」でさせた細やかで優しすぎるようなジャン・バルジャンの演技は素晴らしいです!!(東京都/ムウ)

平田敦子▶▶スゴイキャラ! スゴイ迫力! そしてスゴいわいらしい笑顔! もう私は平田さんの「とりこ」です(東京都/みい)

堀内敬子▶▶「コンフィデンス」において、クワイマックスシーンの後に歌う姿は、本当に驚かされるものがあった。いちばん前の席だったこともあり、涙を流してその目を見えたら、おそろい印象的(愛知県/パッカス)

本多力(ヨーロッパ企画)▶▶2007年で最も衝撃的だったのが、本多さんでした。ヨーロッパ企画の舞台をはじめとしたときの奇妙さやくだらなさや真剣さは何度観てものしです。そんなヨーロッパ企画の中でも、あのキャラクター性はすばらしく、セリフもよく聞きとれ、これからのカタストンが、かわいらしい。年齢も、ともすれば性別さえも不明な雰囲気です。さすが役者さんだと思います。今年もゆるい舞台を期待しています(群馬県/鳥羽節子)

松田暢子(ヨーロッパ企画)▶▶あまりに美しすぎて見とれてしまっ、肝心の作品に集中できません(奈良県/クニ)

美津乃あわ▶▶ファントマを退団されるといって美津乃さん、これからは応援しています!!(大阪府/H.K.)

美波▶▶細くて小さいのにすごく大きく見えました。あの存在感は素晴らしい。「レインボー」で、身体をかしげてうつろな顔で歩いている。ただそれだけのシーンがかなり印象に残っています(大阪府/しまきう)

三宅誠(ナイロン100℃)▶▶舞台上のどこにいても三宅さんの存在が気になり、何かしてくれるのではないかと目が離せなくなります。三宅さんの屈託のない笑顔に癒された人も多いはず!!(長野県/はせ)

村上天(猫のホテル)▶▶チンピラっぽい役とかエキセントリックな役とか本当にすごいんです。動きがキモくて夢に出てきそうな、むしろ出てほしいくらいにキモいです。あのなんとも言えない感じ、初めて観た時はショックを受けたなあと思います。今では中絶です(神奈川県/ももん)

森山未来▶▶『血の婚約』のフラメンコにのまれました。彼が踊り出した瞬間に空気が変わりました。天才です!(北海道/rosa)

安田順(Team NACS)▶▶不器用な男をやらせるとピカピカです。声もステキ。キャラクターもコミカルでおもしろいのですが、感動させる場面ではしっかり泣かせてもらえる演技も素晴らしいです(奈良県/とーこ)

佐藤(現・戸次)重幸(Team NACS)▶▶NACSでの活躍もですが、「宝塚BOYS」での華やかなデビューがあまりにも素敵で印象に残っています。改名された今年、ますます輝いてほしいです(東京都/雪はは)

高田聖子(劇団☆新感線)▶▶「闇の森」→

インディ高橋の

Patchy小道具研究所[®]

第32回 | 『IZOをふりかえてみて、と私』



↑タイトル:黒ワッフルと私

気がつけば私、絶賛前厄中でございます。ここ15、6年間は毎年厄年みたいなもんなんですけど、私小心中といいますが、びびりなので節分が終わったらお蔵に行きます。あと、検査にも行くつもりです。確定申告にも、もちろん行きます。それからですね、パスポートも切れてるんで、行くとしてですね。

で、『IZOをふりかえてみて、と私』

新感線では初めてやりました幕末のお芝居。実在の人物も沢山、出てきました。いつもの様な突飛な世界観のお芝居では有りませんでした。さて、皆様、突飛な世界観のお芝居ではないので「今回は楽しかったんじゃない？」等と思われているかもしれませんが、おっと、どっこい、人間、そうそう楽は出来ません。演出家と話したのは出来るだけ史実に基づいたモノといいますが、その時代のモノ。出来るだけリアルなモノ。そんな感じのお話をした様な気がします。たぶん。で、ですね、幕末の勉強から始まるわけですよ、コレが。歴史の勉強ですよ。でもね、コレをやったかないと、ババ踏むんで、やるんですけどね。いつもの突飛な世界観の時も勿論、色々調べます。基本といいますが、「ホントはこうだったらいい」というのをふまえた上でないとアレンジも出来ませんので。で、幕末でしょ、写真なんか結構残ってたりしますし、なんせ幕末なんで幕末好きの方も多い様です。で、「ホントはこうだったらいい」というのをふまえた上でその芝居を成立させるためのウソをつく。これが、まあ、いつもの私の進め方でございます。歴史の本、教科書みたいな本、小説、マンガ、映画、ネット等々で、耳から血が出そうな勢いで勉強といいますが調べました。で、私が思ったコト。

「学生時代にもっと勉強したり、いっぱい本を読んどけばよかった」

で、ほんの少しだけ反省しました。なぜならば、あんまり反省してる時間も無いですし、反省する暇あったら前に進めてしょ。

小道具の数量的には「多い時よりも少ない」といったところでしょうか。というコトは多いと言うか少なくは無いと言う事です。基本いつも多いので。突飛な世界観のお芝居ではないので、へんでこりんなモノはさすがに有りませんが、その分、「血のり祭」といいますが、血のりを沢山使っておりますのでこれがやっぱ大変なわけですよコレが、色々。小道具だけで無く、他のセクションも大変なですよ、ホント。

そのシーンだけ用の刀をこさえたりとかしました。血のりのついたモノを他のシーンで使うと二次災害、三次災害の可能性が高くなるからです。ついてはならんトコについたらいかんでしょ。ちなみに一幕ラストの「石部宿」のシーンは以蔵以外の人は通称「石部刀」を使っております。石部宿のシーンのみ使用の刀です。大刀も小刀も石部刀。大刀の鞘は抜刀した状態で出て来て、納刀しないので、鞘に見えるモノを腰に差しています。角パイプをベースにしたサンベルカ製の棒です。刀身が入る穴も勿論有りません。通称「鞘棒」と命名。普通に鞘を作ると手間ひまがすごくなるんで。ちなみに「鞘棒」は他の現場では通じませんので、よろしくです。

「IZO」を観劇された方はご存知だと思いますが、この「石部宿」のシーンは盆の上に複雑な二階建てみたいなセットがグルグル回ってる中、大人数が階段を上ったり、下りたりしながらチャンバラが行われます。血のりもばんばん出ております。万が一鞘が落ちて、それ踏んでこけたりとかして事故になったりとかは最悪なので、「鞘棒」には大きめのストッパーを、つけてます。少しでも事故の起こる可能性をゼロに近づける。これです。

あと、頭にかぶってる、黒い笠。正式名称は「にらやまがさ」と言うそうなんですけど、最初、呼び名が解らなかったんで、「黒ワッフル」と命名しました。洋菓子のワッフルに似てたんで。だ円の生地を二つ折にしてカスタードクリームを挟んである、アレですよ、あれ。あ、お菓子です。私の周りは「黒ワッフル」で大丈夫です。完璧に通り名になってます。小道具リストにも黒ワッフルと書いてあります。

当然、他の現場では通じませんので、よろしく。で、この「石部宿」のシーンの「黒ワッフル」は作りました。血のりがガンガンかかるんで。ちなみに他のシーンの「黒ワッフル」は借り物でございます。

で、少しでも事故の起こる可能性をゼロに近づける、に戻ります。

地味なんですけど、大事なコト

●何故、鉄板入りお膳とマグネットが付いているお鉢子に蓋、料理なのか。

短いシーンがどんどん進んでくお芝居だったので転換も勿論どんどん進んでくわけ、シーンによって大掛かりな転換もある、時間がかなりタイトなところもある、ちょっとしたコトが命取り。お鉢子がお膳から、ころころ一つと転がって転換が間に合わんとか事故とか。最悪です。だからです。

●何故、借り物の火鉢の灰(本物)を取り出しサンベルカ製の灰を取り付けるのか。こかして灰がこぼれたら大変だからです。最悪です。だからです。

●何故、お酒の徳利のキャップにマグネットを付けるのか。落として、無くなったりしないようにというのがありますが。転がって転換が間に合わんとか事故とか。最悪です。だからです。

○切れる傘のちょっとした秘密○



ベースはレースクイーンやゴルフで使われている、傘を使用しています。某パラソル屋さんで骨部分のみ購入しております。切れる部分はクリップで止まっています。文房具です。傘の棒の一部を引くとヒモをくり付けたクリップがはずれ、切れるという仕掛けでございます。切れ目部分に目が行きにくくする為に傘に白いドーナツ状のモノを描いてあります。が、効果はどの程度なのかはちょっと不明。本来は紙の部分にサンベルカをはり、表面は紫の和紙をはりました。この傘、切れるけど閉じません。襦袢や移動、舞台袖の置き場が面倒です。

○額から血が出るちょっとした秘密○

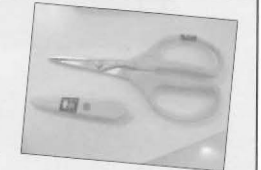
小刀に注射器を仕込んであります。医療器具です。チューブが額まで繋がってます。これも医療用です。ヘアメイクさんや床山さんのコラボです。血が出てはいけないとこで出ない様にストッパーも付いてます。これも医療用です。医療器具系にも大変お世話になっております。ストッパーを90度動かし、柄の先を押せば額から血がどばーつ。です。ちなみに「小刀ポンプ」と命名しました。

と、いうわけで「IZO」をふりかえてみました。それでは今から「IZO」大阪公演の場当たりが始まりますんで本日はこのへんで。次回「長物を作ろうと私」でお会いいたしましょう。たぶん。

| 本日のPatchyと私 |

小道具つくるならコレ。愛用しておりますハサミです。商品名「クラフトチョキ」。私は通称「クラチョ」と呼んでおります。Patchyステッカー付きで「クラフトチョキ」(新品)をプレゼント。使いやすいゼクラチョ。

●Patchy商品取扱店●
PUTUMAYO ラフォーレ原宿BF1.5
PUTUMAYO 原宿路面店
VISIBLE 大阪市中央区西心斎橋2-8-33 アメ村スクエア2F



patchyHP ▶▶ http://www5.ocn.ne.jp/~patchy/ptop.htm

束から1枚!

0 1 5

久住昌之

くすみまさゆき ○泉島之(泉晴記との合作ペンネーム)、Q.D.R.(実弟・弟他との合作)で知られる漫画家。4月4日に泉島之「寄懐さんだっ!」(河出書房文庫)が出ます。寄懐さんシリーズを中心に、単行本未収録作品を多数収録した作品集です。久住昌之&BLUE HIP「自由の誓い」 Giant Robot Recordより¥2300で好評発売中!
http://www.qusumi.com/

今回の1枚 大駱駝艦「血」

今月は、なんというか不作でした。こういう時もあるですね。バツとしないというか、おとなしいというか、「お」じいちゃんが無かった。これは何もアゴラ劇場の束だったから、というわけではないと思ふ。そんな中で「相変わらずやっつるな」と嬉しくなつて笑ってしまった失礼なのが、大駱駝艦の壺中天公演「血」のチラシ。

眉剃り落として白塗りの男達の、ブレの無い表情。彼らは舞踏であつて、演劇ではない。でもこのチラシには、凡百の劇団の数段上に行く演劇的なエネルギーがある。物語が胎動しているのが感じられる。ボクは、舞踏というのは、怒りとか泣きとか笑いといった感情の、もっとも深く深いところにある魂の蠢きを体で表現したもの、と勝手に解釈している。それはつまり物語の始まり、演劇の原形に近いのではない。

この写真が普通でいい。彼らを、スナップ写真のように、演出や効果を押しさえて撮っているのが、かえって奇妙さを際立たせている。わざわざワイ写真にしているのが、今新鮮。暗闇でなく、緑あふれる森の中の撮影、というのが不気味に健康的で、不敵なユーモアがある。写真を構図にして使つても効果的だ。文字もシンプルで丁寧、無駄が無い。そして赤で「血」のタイトル文字がデザイン化されて配されているのも、わざわざしなく、おどろおどろしくなく、流行りの感じでもない。「輪の赤い花のようだ。写真と絡んで、いいバランスに、アングラである。

今号のチラシ 束

もらった場所◇
青年団プロジェクト公演
「隣にいても一人」
1月25日(全)
19:30の回
◎こまばアゴラ劇場

チラシ枚数◇80枚
(内訳、本チラシ51枚、
仮チラシ19枚、
公演外チラシ10枚)

重さ◇610g

大駱駝艦 壺中天公演
「血」

3/19~23◎大駱駝艦・壺中天
宣伝写真◇松田純一
宣伝美術◇木本園子

演劇ぶっく
外部ライター募集

演劇ぶっくではインタビュー記事、レビュー等を担当するライターを募集致します。

【応募方法】

- 1.最近観た芝居についての感想文(400字程度)
- 2.好きな劇団を3つとその理由
- 3.住所、氏名、生年月日、職業、電話番号を明記の上、下記のアドレスまでメールにてお送り下さい。

E-mail: info@enbu.co.jp

※ お問い合わせの方にはこちらからご連絡をさせていただきます。尚、選考結果に関するお問い合わせには応じかねますので御了承下さい。ご応募お待ちしております。

締切: 2008年4月30日(当日消印有効)



とある閉塞的な田舎町にて奇病が大流行、しかし待てど暮らせど訪れることのない医療巡回バス。焦燥に追いつめられる住人達の狂おしき喧噪の渦と華々しき狂騒の最中、破綻の一端を辿るヒューマニティが桜の樹を満開にさせる！
…そんな、刺激ウルルンな特殊群像劇。毛皮族で2001年に上演した『エロエロ大作戦』というアングラ色の強い絶望的な戯曲を、汚れない清らかな生徒の皆様に毅然と演じて頂きたいと思ひます。清く正しく美しく、そして自由にエロエロに。

cast

岩上弥生／榎本真希／岡野史／及木英地／川崎麻里子
菊島かずは／幸田知子／小杉星斗／竹田有希子／仁多見渚
春山怜那／平岡千英／藤吉みわ／三浦知子／龍道照海

time table

4月5日(土) 19:00	4月6日(日) 14:00/18:00
------------------	------------------------

※受付開始は開演の1時間前。
開場は開演の30分前。

作・演出
◆江本純子(毛皮族)

エロエロ大作戦

毛皮族

ENBUゼミナール
2007年度春期
演劇コース劇場公演

ENBU★ウェスタ!

★会場／笹塚ファクトリー
東京都渋谷区笹塚1-56-7 京王笹塚ビルB2F tel.03-5371-4655
京王線「笹塚駅」下車徒歩1分
笹塚駅改札左手(北口)を出て、右手の広場にいます。
八千代銀行ATM横の階段を降りた地下2階です。



チケットについては右ページへ!

たっふりの楽園(仮)

構成・演出
◆横山仁一
(東京オレンジ)

クラス公演も今年で実に8年目になるのですが、今年はENBUゼミ自体の仕掛けも何かと新しくてですね、個人的にもいろいろありましてですね、演出家として原点に立ち返ってみようかなとそんな気分ですね。まだ3時間しか会ったことなくて定かでないのですが(笑)、クラス決定で送られてきたメンバーの写真をみると、今風のイケメン2名とあとは13名のアラカルトな女子うず巻く花園ということでした。新しい枠組み見つけながらイケメン2名と花園でも旅してみようかなと、一緒にいかがですか?

cast time table

小原まゆみ／金田直子
菊池敦美／久保紀美子
古賀希美／小森真祐子／豊田浩文
萩本美由子／原田豊／日比野絵美
宮崎加奈／柳沢尚美／山上絢
山田亜希子／湯川もも

4月19日(土) 19:00	4月20日(日) 14:00/18:00
-------------------	-------------------------

※受付開始は開演の1時間前。
開場は開演の30分前。

ENBUのクラス公演というものを初めてやらせて頂きますが、お引き受けした時から「あて書きの新作は決してやるものか」という心構えでおりました。いわゆる「現代口語演劇」なんて括りに、僕の作ってきた芝居もおさまるのでしょうか、果たして僕がとった方法は、良い俳優を育ててこられたのかということに我ながら反省しているところもあり、今回はただ、上質な戯曲に真っ向から取り組みたかったのです。

cast

青木若菜／入江彩／赫多琴音
貴島菜緒子／佐藤圭／紫乃
染谷順子／月野木祥吾
新井田沙亜梨／二木二葉
芳賀麻理絵／正木尚弥
丸山明子／山脇優／吉田仁美

time table

4月2日(水) 19:00	4月3日(木) 14:00/18:00
------------------	------------------------

※受付開始は開演の1時間前。
開場は開演の30分前。

見よ、飛行機の高く飛べるを

作
◆永井愛(二兎社)
演出
◆青木豪(グリーン)

ENBUゼミナール2007年度春期
演劇コース劇場公演

ENBU★ウェスタ!

★チケット料金／前売1,000円、当日1,200円、全席自由
★チケット予約／下記いずれかの方法でご予約下さい。

チケットは当日受付にてお渡しいたします。

★電話でのご予約(03-5282-1341までお電話下さい)

★HPからのご予約(<http://www.enbu.co.jp/zemi/>のフォーマットからご予約下さい)

★お問い合わせ／ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg. 4F

tel>> 03-5282-1341 fax>> 03-5282-0171

HP>> <http://www.enbu.co.jp/zemi/>

会場については左ページへ!

THE SHAMPOO HAT

さくら

作・演出
◆赤堀雅秋
(THE SHAMPOO HAT)

この『さくら』は、確か劇団を旗揚げしてから3年目の本当に稚拙な作品です。男だけの6人芝居。当時の僕らは鼻息荒く「セリフなんて客に聞こえなくていい」「間をもう3分」などと訳の分からない意気込みでした。それを女12人、男2人に大幅に改訂します。もう改訂なんて域じゃないです。新作といっても過言ではありません。きちんと観客に響くよう作ります。どうぞよろしく。

cast time table

石田麻子／鶴沼綾子／柿崎綾
上辻正敏／窪寺奈々瀬
佐藤友美／竹中さやか／永井愛
長野恵美／日隈貴子／増本彩花
三上奈穂／望月智和
和田まり奈

4月29日(祝) 19:00	4月30日(水) 14:00/18:00
-------------------	-------------------------

※受付開始は開演の1時間前。
開場は開演の30分前。

私は「舞台」に立つ!

ヴォイストレーニング、演技基礎などの基礎力をつけながら、様々な演出家や俳優の実技指導を受け、実力、応用力を養い、最後に専任講師の演出で作品をつくり、劇場で発表します。

2008年
5月生
募集中!

演劇コース1年間のスケジュール

5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September	10月 October	11月 November
-----------	------------	------------	--------------	-----------------	----------------	-----------------

ガイダンス

登校初日は、校舎の使い方や授業についての説明を受けます。これから一年間ともに学ぶ仲間たちと最初のご対面です。



夏休み

専任講座

専任講師によるクラス別授業が始まります。クラス内でコミュニケーションと演技の基礎力をより深めていきます。

担当講師 赤堀雅秋、高井浩子、松村武、横山仁一

ワークショップ講座

現在、最前線で活躍している演出家・俳優による実技授業。本物の迫力を間近で吸収します。

担当講師 青木豪、新井友香、今井朋彦、河原雅彦、近藤良平、志賀廣太郎、永井秀樹、平田オリザ

実践講座

これまで学んだことをもとに、3つのスタイルの演劇に挑戦します。

担当講師
ウェルメイド：黒川麻衣
コメディ：きだつよし／故林広志
ミュージカル：浅井さやか／田辺茂範

基礎講座

ENBUゼミは誰もがゼロから学べる場所。ヴォイストレーニング&ストレッチ、演技基礎など基礎を大切にしたい授業が充実しています。

担当講師
ヴォイストレーニング&ストレッチ／演技基礎：山の手事情社
台本の読み解き方：板垣恭一
リーディング：明神慈



専任講座

演劇コース生は全員、一年後、舞台公演に出演者として参加します。その公演の演出を担当するのは、以下の4名です。

赤堀雅秋 (THE SHAMPOO HAT)

劇作家・演出家・俳優。96年SHAMPOO HAT旗揚げ以来、全作品の作・演出・出演を担当。舞台特有の緊張感を避け、日常の人間が持つ優しさや楽しさを、よりリアルに新鮮に描く。外部での作・演出や、俳優としての出演も多数。

松村武 (カムカムミニキーナ)

劇作家・演出家・俳優。90年「カムカムミニキーナ」を結成。作・演出・出演・主宰を一手に担う。スケールの大きな作品世界と秀逸な笑いのセンスで人気を呼び、役者としても、NODA-MAP等で活躍。劇団には8編目者が在籍。

高井浩子 (東京タンバリン)

劇作家・演出家。東京タンバリン主宰。感情の機微に鋭く、他劇団への執筆・演出活動も多い。近年、ラジオドラマの脚本など活躍の場を広げ、06年、07年には映画監督の本広克行演出舞台Fabricaの脚本を手掛け、話題になる。

横山仁一 (東京オレンジ)

演出家・俳優・トレーナー。92年環境人らと「東京オレンジ」を結成、以降全作品の構成、演出を手がける。演技体系的なインプロヴィゼーションとダイナミックな演出を用いた集団創作で東京の新しいポップスタンダードの確立を目指す。

お問い合わせ
申込先

ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F tel▶03-5282-1341
fax▶03-5282-0171 mail▶zemi_info@enbu.co.jp HP▶http://www.enbu.co.jp/zemi/

説明会予約受付中!

3/23 (日) 4/5 (土) 4/20 (日)

13:30~ 演劇コース
事前にご予約をお願いします。

資料請求は無料!

詳しいパンフレット、申込書一式を無料でお送りします。



【ENBUゼミナール最寄り駅】JR御茶ノ水駅徒歩2分 / 丸の内線御茶ノ水駅徒歩3分 / 千代田線新御茶ノ水駅徒歩3分

特別講義

以下6名の講義の他、卒業後の進路の参考となる講義などを行います。

ケラリーノ・サンドロヴィッチ

劇作家・演出家。93年にNYLON100℃を結成。外部作品への演出など、現在最も多忙を極める演出家の一人。07年には監督映画「グミ・チョコレート・パイン」(大橋ケンサク原作)を公開した。

成井豊

劇作家・演出家。85年に演劇集団キャラメルボックスを結成、以降現在にいたるまで脚本・演出を担当。脚本、演出を手がける。05年、06年には真柴あずきとドラマの共同脚本なども手がけた。

宮沢章夫

劇作家・演出家・作家。80年代より演劇活動を開始。90年「遊園地再生事業団」を結成。92年「ヒネミ」で岸田戯曲賞を受賞。ここ数年は京都造形芸術大学や早稲田大学、東京大学などに教鞭をとっている。

後藤ひろひと

劇作家・演出家・俳優。89年〜96年まで遊気会館長として作・演出、出演をつとめる。97年以降、数々の舞台の脚本を手がける。08年には初の映画原作「(バコと魔法の絵本)中島哲也監督」を担当した。

細川展裕

プロデューサー。株式会社ヴィレッジ(劇団☆新感線)代表取締役。代表作に07年1月「龍の森に棲む鬼」(新橋演舞場)、08年1月「IZO」など。社団法人日本劇団協議会の常任理事を務める。

柳家花緑

87年3月中学卒業後、祖父柳家小さんに入門。94年就後最年少の22歳で真打に昇進。03年に結成された「六人の会」のメンバー。舞台での活動もめざましく、劇団山の手事情社をはじめ、多くの舞台で活躍中。

■オーディション講座
プロダクションの担当者によるオーディションを受けるためのポイントなどの講義。希望者は、講義の後に行われる入所オーディションに参加します。

■演劇制作講座
実際に劇団を運営している演劇制作者による講義。劇団運営に必要な知恵や工夫を学びます。

■俳優講座
現在、舞台や映像で活躍している俳優を招き、駆け出しの頃から現在のお仕事にいたるまでの話をうかがい、「俳優」という仕事について考えます。

卒業後は...

劇団を作る!

毎年多くの団体が結成されています。卒業後も公演のチラシを掲示したり、HPなどで活動予定を紹介しています。

【卒業生が立ち上げた劇団】劇団、本谷有希子、はえぎわ、Oi-SCALE、メタリック農家、SQUASH、パシリコ・F・バジロ、劇26.25団、はなとゆめ、桜田ファミーリア など

劇団に入る!

オーディションに合格して、あるいは在校中の実力を認められて多くの卒業生がプロの劇団で活躍しています。

【入団実績】演劇集団キャラメルボックス、NYLON100℃、青年団、維新派、山の手事情社、東京オレンジ、カムカムミニキーナ、拙者ムニエル、ロリータ男爵 など

オーディションを受ける!

卒業後の進路先の一つとしてプロダクションを目指す人には、ENBUゼミ生を対象としたオーディションを実施しています。また掲示板などにて随時、集まったオーディション情報を公開しています。

【オーディション実施実績】アミューズ、キューブ、ダックスープ

ENBUゼミナールを体験してみませんか?

一日体験講座

ENBUゼミナールではどんな授業が行われているのか? 実際に体験できるのが、この一日体験講座。11月〜4月にかけて毎月1回ずつ開催されています。今回は、11月25日(日)に開催された演劇科の体験講座の様子をレポート!



くのですが、台詞に集中し過ぎると動きが硬くなり、動きを意識すると会話が途切れてしまいます。意外な自分の反応に驚く参加者たち。お芝居の面白さと難しさの両方を実感した様子の体験講座でした。

ENBUゼミナールを身近に感じていただくために、さまざまなイベントを開催しています。ぜひ直接、来て、見て、体験してみてください!

参加者の香村尚輝さん
芝居を観ると、実際にやってみるのがこんなに違うのかと実感しました。自分の中に新しい心の動きを発見できて面白かったです。



体験講座
今後の予定

4/5 (土)

現在、予約受付中です。

2007年度春期演劇コース 劇場公演

昨年5月より学んできた演劇コース生による舞台公演です。今年はこの4作品を笹塚ファクトリーにて上演します。

「見よ、飛行機の高く飛べるを」
作・永井愛／演出・青木豪
4月2日〜3日

「エロエロ大作戦」
作・演出・江本純子
4月5日〜6日

「たっぷりの楽園(仮)」
構成・演出・横山仁一
4月19日〜20日

「さくら」
作・演出・赤堀雅秋
4月29日〜30日

「監督」「俳優」になる!

2008年
5月生
募集中!

基礎から学び、1年後には自分の作品を映画館で公開!
自らの可能性を信じるなら、ここに飛び込め!

自分が撮りたい映画を撮れ!

映画監督コース

「映画を撮りたい」という共通項を持った仲間と囲まれて過ごす1年、どう過ごすかはアナタ次第。「檸檬のころ」(07)の岩田ユキ監督、ぴあフィルムフェスティバル2006準グランプリ受賞の市井昌秀監督(「隼」)など、卒業後めざましい活躍を見せる本校OBたちに続くのは、アナタかもしれません!

専任講師

昼 富永昌敬 監督

「VICUNAS/ビクーニャ」(02)で水戸短編映像祭グランプリを受賞するなど、自主制作時代からその才能を高く評価され、オダギリジョー・香椎由宇主演「バビロン山椒魚」(06)で長編デビューを飾る。最新作は「コンナオトナノオナノコ」(07)。

message

僕も学校で映画を勉強したんですけど、結構みっちり学んだので後戻りできなくなってしまいました。皆さんにも、是非そうしてもらいたいですね。映画以外はお先まっ暗だと思ってください。

夜 古厩智之 監督

「まぶだち」(01)でロッテルダム国際映画祭タイガーアワード(グランプリ)と国際批評家連盟賞W受賞。代表作に、長澤まさみ主演「ロポコン」(03)、星野真里主演「さよならみどりちゃん」。最新作は上野樹里主演「奈緒子」。

message

「自分は何をやりたいのか」ぼーっとこう思っているだけでは答えは出ません。「自分はどんなお話を語りたいのか」そんな風に具体的な課題を出します。全員に自分の映画を1本、作ってもらいます。とにかく自分をカタチにして行くこと。そいつを目指しましょう。

授業内容

5月—7月 基礎講座

- コロパ講座…映像俳優コースとの合同授業。俳優コースの生徒たちをキャスティングし、実際に演出をおこないます。
- 機材・撮影・録音・照明・編集入門…担当するのは最前線で活躍中の講師ばかり。本気の指導で、基礎から丁寧に学べます。

9月—2月 専任講座

(ひとり1本卒業制作を完成させることを目指します)

- 企画検討…「自分が本当に撮りたい映画は何か」を講師と一緒に考えていきます。
- 脚本執筆…ひとり1本、講師のアドバイスを受けながら脚本を書き上げます。
- ロケハン・キャスティングなど…クラスの仲間とともに、撮影に向け準備をおこないます。
- 撮影…ひとりひとりが「監督」となり、現場で撮影をおこないます。
- 編集・完成…講師からアドバイスを受け、各自編集作業をおこない、「作品」を完成させます。
- 3月…映画館にて劇場公開!

映画出演で、学内オーディションで、チャンスをつかめ!

映像俳優コース

役者が最も成長するのは、現場。だからENBUは現場主義。基礎をひととおり学んだあとは、プロの映画監督が生徒たちをキャスティングしてオリジナル映画を作り上げます。大手芸能プロダクション(※)とのパイプも太く、例年ENBU生だけのための、オーディションを実施しています(※2007年度実績:アミューズ、キューブ、ダックスープ)。

専任講師

昼 船橋淳 監督

「BIG RIVER」主な監督映画「echoes」(01)「海外の映画祭で観客賞などを受賞」「BIG RIVER」(05)「ベルリン映画祭正式招待、オダギリジョー初海外進出作」。

message

映画の演技にメソッドはありません。ただ場数を踏んで度胸をつける。それがキャサリン・ヘップバーンであり、ハンフリー・ボガードでした。自意識過剰なアクティングから、泣く子も黙る役者の実存へ。それが行き先です。

夜 亀井亨 監督

「病葉流れて」主な監督映画「心中エレーゼ」(05)「アメリカ・シネマ・パラダイス映画祭など3つの海外映画祭で最優秀賞受賞」「テレビばかり見ると馬鹿になる」(07)「商業流れて」(08/村上淳主演)。

message

「映画」というものの魅力だと僕は思います。その中に楽しみを見出し、遊ぶ。その「映画」という大変な「遊び」を授業の中で皆さんと楽しみながら感じる事が出来れば良いと考えます。

授業内容

5月—7月 基礎講座

- 演技基礎…ドラマ「SP」「特命係長 只野仁」出演の近江谷太郎氏、映画「クライマーズ・ハイ」「純喫茶機辺」出演の矢柴俊博氏から、俳優になるための基礎を学びます。
- ヴォイストレーニング&ストレッチ…役者としての体のあり方を学びます。
- コロパ講座…映画監督コースとの合同授業。監督コースの演出のもと、実際に作品の中で演じてもらいます。
- ワークショップ講座…様々な表現方法について学びます。

9月—2月 専任講座

(2本の映画に出演!)

- 専任講座…2〜3ヶ月に渡る専任講師の授業は、演技指導からはじまり、終盤は映画のオーディションを兼ねたものへと発展していきます。毎日が緊張感あふれる勝負の場。キャスティングが完了すると、いよいよ撮影となります。
- 3月…出演した作品は映画館にて劇場公開!

映像俳優コース授業

ワークショップ講座

俳優として生き残るための在り方は、俳優の数だけある。俳優への丁寧な演出力に定評ある映画監督・熊澤尚人、篠原哲雄の両氏に加え、テレビ、映画で大活躍中の俳優・佐藤二郎氏を講師に迎え、自分の生き残る道を模索してゆきます。



熊澤尚人
(映画監督/「ニライカナイからの手紙」)
香井優主演「ニライカナイからの手紙」(05)、市原隼人・上野樹里主演「虹の女神」(06)といった青春映画の名手。最新作「DIVE!!」(08/林遣都主演)は本年6月公開予定。



篠原哲雄
(映画監督/「地下鉄に乗って」)
山崎まさよし主演「月とキャベツ」(96)での鮮烈デビュー後、「はつ恋」(00)「深呼吸の必要」(04)「地下鉄(メトロ)に乗って」(06)など、次々ヒットを飛ばす。若手育成にも定評があり、ENBU講師歴は映像科最長の8年目。



佐藤二郎
(俳優/「医龍-Team Medical Dragon-」)
映画「包帯クラブ」、ドラマ「医龍-Team Medical Dragon-」など、基幹作への出演が相次ぐ人気個性俳優。ドラマ「恋する日曜日」などで脚本を執筆。初監督作「memo」が3月22日(土)公開と、マルチに活躍中。

映画監督コースと映像俳優コース合同の授業

コラボレート講座

講師指導のもと、映画監督コース生徒達が、映像俳優コース生徒達が出演する短編作品を制作します。卒業制作へ向け、一気に実践的な力を身につけるチャンスです。



富樫森
(映画監督)
竹内結子主演「星に願いを」(03)、市原隼人・小西真奈美主演「天使の卵」(05)などを監督。最新作「あの空を覚えてる」(08/竹野内豊・水野美紀主演)は4月26日よりロードショー。



「あの空を覚えてる」のロケ現場(土)より



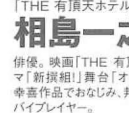
豊島圭介
(映画監督)
テレビドラマ「怪談新耳袋」シリーズでデビュー。「劇場版 怪談新耳袋」の一篇「視線」(堀北真希主演)や、夏目漱石原作のオムニバス「ユメノ夜」の第五夜(市川美子主演)などで知られる実力派。



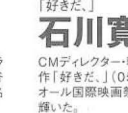
「ユメノ夜」のロケ現場

教養講座

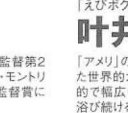
講師陣はENBUゼミだけの豪華ラインナップ。一流中の一流から発せられる熱いメッセージに、耳を傾けてみませんか。



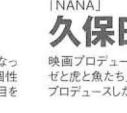
相島一之
俳優、映画「THE 有頂天ホテル」ドラマ「新撰組」舞台「オケビ」など三谷幸喜作品でなじみ、邦画界屈指の名バイプレイヤー。



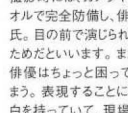
石川寛
CMディレクター・映画監督。監督第2作「好きだ。」(05)がニュー・モントリオール国際映画祭で最優秀監督賞に輝いた。



叶井俊太郎
「アメリカの買い付けで一躍有名となった世界的カリスマ映画バイヤー。個性で幅広い買い付け・宣伝で、注目を浴び続ける。



久保田修
映画プロデューサー。「NANA」(ジョーと虎と魚たち)「メゾン・ド・ヒミコ」など、プロデュースした映画が次々ヒット。



山下敦弘
映画監督。代表作は「ワンダリング・ランダム」(05)「松ヶ根乱射事件」(07)「天然コケッコー」(07)。07年報知映画賞最優秀監督賞受賞。

撮影時には、カメラや照明などが極力視界に入らないよう帽子やタオルで完全防備し、俳優の演技しか見えない状態をつくるという山下氏。目の前で演じられる状況を、なるべく嘘だと思わないように捉えるためだといいます。また、「オーディションなどで100%の表現をする俳優はちょっと困ってしまふ。表現することに余白を持っていて、現場でなじむ俳優が好き」だとか。独特の撮影スタイルや、理想の俳優像など、山下氏ならではの独特のセンスが垣間見える濃密な講義でした。

ENBUゼミナールを体験してみませんか?

ENBUゼミナールを身近に感じていただくために、さまざまなイベントを開催しています。ぜひ直接、来て、見て、体験して下さい!

一日体験講座

ENBUゼミナールではどんな授業が行われているのか? 実際に体験できるのが、この一日体験講座。11月〜4月にかけて毎月1回ずつ開催されています。今回は、11月25日(日)に開催された映像科の体験講座の様子をレポート!

映画監督コース体験



参加者は、カメラを触るのもはじめてという方がほとんど。映像科スタッフ指導のもと、カメラ・三脚の操作と映像制作のコツを覚えたら、チームごとに御茶ノ水の街へ。初対面どうし、はじめのうちこそぎこちなかったものの、「タイトル決め」(ロケ地選び)「構成」(撮影)…相談し協力し合ううち、熱気を帯び、ついには各チーム1本の短編映画を作り上げてしまいました。完成した作品を皆で鑑賞し、感想を言い合い、帰る頃にはすっかり仲間。はじめて「映画」を作る喜びに触れた皆さんの、今後の活躍が楽しみです。

映像俳優コース体験



本田監督による体験講座では、舞台ではなく「映像」俳優だからこそ求められる、カット割りに対応した演技について、実践的な授業が行われました。短い脚本を脚本通りではない順序で撮影し、それを編集して見せるという授業。参加者は、演技をするのもご自身の演技を見るのも、全くはじめてという方ばかり、13名。それぞれの今後に向けて、大きな第一歩となったはずですよ。

体験講座

今後の予定

4/5(土)

現在、予約受付中です。

お問い合わせ
申込先

ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F
tel▶ 03-5282-1341 fax▶ 03-5282-0171
mail▶ zemi_info@enbu.co.jp
HP▶ http://www.enbu.co.jp/zemi/

資料請求は無料!

詳しいパンフレット、申込書一式を無料でお送りします。
tel>>> 03-5282-1341
e-mail>>> zemi_info@enbu.co.jp

説明会予約受付中!

3/23(日) 11:00~
4/5(土) 13:30~
4/19(土)
映画監督系コース 映像俳優コース
事前にご予約をお願いします。

Drop Cinema Party

ENBUゼミ ムービーセレクション2008

3/22 sat → 4/4 fri
渋谷Q-AXシネマにて
21:15(連日) レイトショー



演劇界の情報のみならず、映画、DVD、本、
などなど、様々な“旬”の情報を紹介します!
気になるモノは要チェック!



◇『健忘痴人伝』(古田新太・著) ¥952 (税別) メディアファクトリーより発売中。

古田新太の周りに集うあほうな人たち

劇団☆新感線の看板俳優にして怪優の古ちんこと古田新太が綴る、あほうな知人の愛すべきエピソードたち。『ダ・ヴィンチ』2004年5月号から2007年4月号まで連載された内容に一部書き下ろしを加えた本著は、妖精を見るタレント、学ランを着たまま水浴びする小説家、アルコールを葉代わりしに飲む俳優などなど、なんとまああほうな人たちが41人も登場。世の中にはこんなに面白い人たちがいるんだな〜と感心してしまいます。どのページを開いても思わずクスリとしてしまうこと間違いなし。落ち込んだときは古田を読め!

天井桟敷の幻の劇中歌が今、甦る!

1967年に寺山修司により設立された劇団天井桟敷の音楽を担当し、寺山と並びその後のアンダーグラウンドカルチャーに多大な影響を与え続けている孤高の音楽家J・A・シーザー。彼が所蔵し、門外不出としていた貴重なマスターテープ音源から、劇団天井桟敷

の歴史的未発表音源が甦る!! 1973年に行われたシーザーのリサイタルを収録し、いまだロングセラーを続ける『J・A・シーザーリサイタル 国境巡礼歌』に収録されなかった未発表楽曲群を加えた『国境巡礼歌完全盤』、さらに、劇団天井桟敷の演目で使用された幻の劇中歌を発掘し収録。ロックファン、シーザーファン、そして寺山ファン必聴!



◇『J・A・シーザー／天井桟敷音楽作品集』3/23発売。
¥10,500 (税込、5枚組CD)
お問い合わせ: ディスクユニオン
03-3511-9940



◇『蛭川幸雄と「さいたまゴールド・シアター」の500日—平均年齢67歳の挑戦—』(橋田欣典、須賀綾子、強瀬亮子、埼玉新聞取材班・著) ¥700 (税別) 平凡社新書より発売中。

高齢者劇団 さいたまゴールド・シアター 発足から初公演までの姿を追う

2006年春、演出家・蛭川幸雄氏が率いる「さいたまゴールド・シアター」が発足した。55歳以上限定の劇団として話題を集め、千通以上もの応募があったなかからオーディションで選ばれた46人の団員。本著は、劇団の発足から、2007年夏、船上のピクニックでの旗揚げ公演、そして9月の活動再開までの日々を追ったドキュメント。体力や記憶力の壁、病気やけが、家族の介護……など、いくつものハードルを抱えながらも果敢に走り抜いた団員たちの姿は、年代を問わず演劇を志すすべての人々に勇気を与えてくれるだろう。

読むぜ:三

vol.4

ENBUゼミナール
2008年5月開講
春期生 募集中!!
くわしくは、76ページへ! ▶▶▶

「読むぜミ」とは、演劇ぶっく社が運営するアートスクール「ENBUゼミナール」の、授業の様子やイベント情報、生徒たちの活躍などを紹介するコーナーです!

私がここに決めた理由 [07年度春期演劇コース 劇場公演]

青木豪(グリング)クラス



青木クラスでは、「みんなの元気がいいところを見たいから!」といきなり時代劇の台本が配られました。数分後には配役に分かれての本読みが始まりました。「その台詞の後に驚きを入れてみて!」「ここで鎮きを加えて!」と青

木さん。すると明らかにシーンに深みが増してきました。台詞をただ読むのではなく、丁寧に相手に反応していくと台本の世界がどんどん広がっていくことを、短い時間で確かに感じた生徒たちでした。

赤堀雅秋 (THE SHAMPOO HAT) クラス



赤堀クラスでは、存在しない『長縄跳び』を、なんと想像だけで跳ぶという課題! 縄を回す人、跳ぶ人、各々の縄のイメージが合致し、全員が縄を跳べた時、思わぬ感動が生まれちゃいました! イメージを共有する事で、見え

ない何かが見えてくる。そこにお芝居の基本があることを、身をもって体験した生徒たち。「こうしたゲームをどれだけ能動的に楽しむことができるか。それが役者にとって必要な才能!」と、生徒に伝えた赤堀さんでした。

望月智和
常に新鮮な気持ちで稽古に臨めると思い、赤堀さんのクラスに決めました。いまでも自分を支えてくれた全ての人たちに感謝の気持ちも込めて公演を楽しみたいですね。そして、観てくれる方々の片断に少しでも残るようなものを創りたいです。

江本純子(毛皮族)クラス



江本クラスでは、タッキー&翼「ヴィーナス」の曲に乗せて自ら生徒たちの前で踊りはじめる江本さん。さらに劇団「毛皮族」オリジナル曲に合わせダンス。所々に激しい動きを入れた振付で、ついて行くのに必死! ヘトヘトなはずな

のに笑顔の生徒たちが印象的でした。一時間汗を流したあとは台本による稽古。シュールな題材をオーバーに演技すればするほど面白さが溢み出る。そんな江本さんのアドバイスに、生徒たちは新鮮な驚きを感じていたようでした。

横山仁一(東京オレンジ)クラス



横山クラスでは、表現に関する3つのポイントを実践。まずは様々なゲームを通じて「元氣/身体の衝動」を体感。次に、1つのセリフにどんな工夫をしたら言い方や声質が変わるかというアプローチから「売り/魅力的なキャラクター」というポイント。最後には、順番に誰かの動きを真似し合い、次第にそれをクラス全体に派生させていくことで「仲間/コラボレーション」を実現。横山さんならではの独特な表現へのアプローチに、興味深げな生徒たちでした。

湯川もも
最初の授業の時に、しっかり個人と向き合って授業をして下さった横山さんの人柄に惹かれて、横山クラスに決めました。これから公演に向けて横山さんやクラスの皆と楽しく稽古していきたいです。

オーディションコース

演劇界で活躍したい人の情報ページ

◆[団体名] 熱帯

[募集内容] 劇団員募集
[応募資格] 17歳から25歳までの男女。プロアマは問いません。但し、プロダクションに所属の方も劇団での活動を最優先できる場合に限りです。
[締め切りなど] 5/22必着。持参不可。下記三点を郵送にてお送りください。
1.履歴書:全身・バストアップの写真添付、演劇経験を記入
2.作文:「私が熱帯でやりたいこと」または「IKKOの存在価値について」1000字程度(どちらかのテーマより選択してお書き下さい)
3.返信用封筒:住所、氏名明記のうそ、8円切手添付
[審査] 一次審査:書類審査
二次審査:6/7・8、都内某所にて面接・実技審査
三次審査:6/11~15、都内某所にてワークショップ。
オーディション合格者には2008年10月、2009年の春公演に参加していただきます。二公演終了後、劇団員として参加していただくを決定いたします。
受験料:2,000円(二次審査当日、会場にて受付)
[PR] 2008年4月1日にオホから熱帯にリニューアルしました熱帯では、第一回目の劇団員オーディションを開催いたします。今後の活動をともにしていただける劇団員を募集いたします。
[連絡先] 〒160-0015 東京都新宿区大京町26-204「熱帯 第一回劇団員オーディション」係
TEL:090-3544-0263

◆[団体名] 東京擬態

[募集内容] 東京擬態第二回公演「君につたえたい事があるんだ。」(5/14~18◎渋谷ギャラリールデコ)出演者募集(男性6名、女性4名)。年齢性別、

また経験は不問です。

[稽古期間] 3月中旬より週3~6日のペースで、小入り前日まで。※稽古日程は、折り返しメールにてお知らせ致します。稽古は東京都杉並区周辺にて行います。
[PR]「東京擬態」とは派手なエンターテインメント性を省きつつも、オリジナルの作品で観るものの気持ち揺さぶるモノを描いていく演劇系グループです。
[連絡先] TEL:070-6468-7217(佐藤/東京擬態主宰)
E-mail:tokyogitai@tune.ocn.ne.jp
URL:st-kikaku_01t-gitai@wm.pdx.ne.jp

◆[団体名] 劇団だっしゅ

[募集内容] 劇団員募集
[締め切りなど] 3/31(月)必着。履歴書・写真・写真(バストアップ・全身)・自己PRを添えて下記住所にお送り下さい。
[応募資格] 20~26才ぐらいの心身ともに健康な男女。経験者優遇・イケメン・美女大歓迎! 書類選考の上、合格者には面接日をご連絡差し上げます。※応募書類は返送できません。予めご了承下さい。
[PR] 劇団の若返りをはかり劇団員大募集! 旗揚げから15年、気づけば回りはオジサン、オバサンばかり。このままでは劇団の存亡が……。という訳でフレッシュでピチピチなあなた!一緒に人生を棒に振ってみませんか?
[連絡先] 〒175-0083 東京都板橋区徳丸2-31-7 ライフアカロム202号室 劇団だっしゅ本部宛
FAX:03-3559-7848
E-mail:gekidan_dash_mail@yahoo.co.jp

◆[団体名] 東京バラライカショー

[募集内容] 第12回公演(7/17~20◎中野あくとれ)キャスト募集!
[締め切りなど] 3月末締切。問い合わせはメールにて。
[PR] 現在2008年6月と11月に公演予定。舞台公演以外にも、コンセプトサイトやネットラジオなど多方面に展開中。あらゆるジャンルの俳優・スタッフを募集しています。お互いの資質を出し合い、すばらしい作品創りを目指しませんか?
[連絡先] E-mail:t-balalaika@t.vodafone.ne.jp
URL:http://www5d.biglobe.ne.jp/~t-bala/

◆[団体名] VARNA-The Another Words-

[募集内容] 俳優・スタッフ募集
[締め切りなど] 4月末日締切。書類審査後、合格者にオーディション開催日時をご連絡。オーディションは池袋近辺を予定しています。
[PR] 現在2008年6月と11月に公演予定。舞台公演以外にも、コンセプトサイトやネットラジオなど多方面に展開中。あらゆるジャンルの俳優・スタッフを募集しています。お互いの資質を出し合い、すばらしい作品創りを目指しませんか?
[連絡先] FAX:03-3590-6771
E-mail:info@varna.jp
URL:http://www.varna.jp
URL(Mobile):http://www.varna.jp/mobile

◆[団体名] 板橋演劇センター

[募集内容] 7月公演「リア王」出演者募集
[締め切りなど] 4月末日締切。お名前、年齢、ご住所、お電話、等をご記入の上、メールかFAX、郵送でお申込み下さい。
[PR] 正統派のシェイクスピア劇上演を続けている

板橋演劇センターの7月公演「リア王」の出演者を募集します。

[連絡先] 〒173-0021 東京都板橋区弥生町80-4 板橋演劇センター「リア王」係
TEL:03-3958-7374/080-5193-7394
FAX:03-3958-7384
E-mail:itabashi_engeki_center@yahoo.co.jp
URL:http://itabashiec.web.fc2.com/

◆[団体名] バラックス(仮称)

[募集内容] 劇団員募集
[締め切りなど] 随時・メールか郵送でプロフィールを送ってください。
[PR] 元サニーサイドウォーカー(フジテレビ劇団演技者。でも取り上げられました)の辻野が新たな劇団を立ち上げます。「笑い」が好きな人、楽器が演奏出来る人、面白い顔の人、などを募集します。
[連絡先] 〒167-0031 東京都杉並区本天沼2-41-103
E-mail:sola2000tm@alpha.ocn.ne.jp

◆[団体名] 動物電気

[募集内容] 劇団員募集
[締め切りなど] 3/31(月)必着。郵送。持参不可。
[PR] 久々の劇団員募集です。履歴書、写真(顔・全身)、作文(最近面白かった事)を添えてご応募ください。17~40歳まで、性別・経験不問。
[連絡先] 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町9-18-403 株式会社ハイレグタワー内「動物電気 新人オーディション」係
TEL:03-6804-0384(担当:恒川)
E-mail:info@doubutsu-denki.com

むむっなるほど!

[07年春期・秋期合同教養講座]

気になるアーティストたちのリアルな経験談が大人気の「教養講座」。思わず「むむっ…なるほど!」と唸ってしまう内容が盛りだくさん。今回は、演劇集団キャラメルボックスの成井豊氏と、映画監督の山下敦弘氏の講義をレポートします!

成井豊

(演劇集団キャラメルボックス)



なるいゆか◎劇作家・演出家。85年「演劇集団キャラメルボックス」結成。時に楽しくファンタジックに、時にホロリと切ない人間模様を丁寧に描く。

「面白い作品には、人を感嘆させるような瞬間がある」成井氏にとってそれは、宮崎駿監督「天空の城ラピュタ」。この作品に出会い、劇団の目指す作品の世界が見えたといえます。そんな人生を歩むする作品に出会うためにも「面白い舞台も、つまらない舞台も、若いうちになくさん観てほしい」と成井氏。魂が突き動かされる素晴らしい作品に出会ってこそ、誰かを突き動かす活力を得られる。そんな瞬間に早く出会ってほしい!成井氏からの力強いメッセージを感じた講義でした。



自分たちで劇団を作っている方の考えはとても刺激的でした。様々な本を読んだり、映画を見るなど日常を創作意欲を持って生きている感じがしました。若い頃からの夢、目標を今も持ち続けていることがその秘訣だと思いました。

山下敦弘

(映画監督)



やましたのぶひろ◎「リンダリンダリン」(05)でロングランを記録し、最新作「天然コケッコー」(07)では、第32回報知映画賞最優秀監督賞を受賞。

撮影時には、カメラや照明などが極力視界に入らないよう帽子とタオルなどで完全防備し、俳優の演技しか見えない状態をつくるという山下氏。目の前で演じられる状況を、なるべく嘘だと思わないように捉えるためだといえます。また、「オーディションなどで100%の表現をする俳優はちょっと困ってしまう。表現することに余白を持っていて、現場でなじみ俳優が好き!」だとか。独特の撮影スタイルや、理想の俳優像など、山下氏ならではの独特のセンスが垣間見える濃密な講義でした。



「撮影中も、その空間がいま実際に目の前で起こっている事としてみてほしい」といふ、山下さんのお話に共感しました。

ENBUゼミナール 春のイベント情報

ENBU★フェスタ

~ENBUゼミナール2007年度春期演劇コース劇場公演~

■タイトル・日程

青木豪クラス
「見よ、飛行機の高く飛べるを」
作・演出:江本純子(毛皮族)
4月2日(土)19時開演、3日(日)14時開演/18時開演
赤堀雅秋クラス
「エロエロ大作戦」
作・演出:赤堀雅秋(THE SHAMPOO HAT)
4月5日(土)19時開演、6日(日)14時開演/18時開演

■チケット

前売1,000円/当日1,200円 全席自由
下記の方法で発売中です。
・ENBUゼミナール電話予約:tel.03-5282-1341
・ホームページ予約フォーム:www.enbu.co.jp/zemi/

■会場

横山仁一クラス
「たっぷりの楽園(仮)」
構成・演出:横山仁一(東京オレンジ)
4月19日(土)19時開演、20日(日)14時開演/18時開演
赤堀雅秋クラス
「ざくら」
作・演出:赤堀雅秋(THE SHAMPOO HAT)
4月29日(日)19時開演、30日(月)14時開演/18時開演

■会場

東京ファクトリー
東京都渋谷区世田1-56-7
京王世田ビルB2F
tel.03-5371-4665

上記レポートに登場している07年度春期生徒たちによる舞台公演「ENBU★フェスタ!」上映料の生徒たちの出演作品・監督作品を一律に上映する「ドロップ・シネマ・パーティー」が、この春に開催されます!!

ドロップ・シネマ・パーティー

ENBUゼミ生と日本を代表する映画監督のコラボレーションによって生まれた短編映画の数々を一挙上映! ENBUゼミナール短編映画祭第11弾!

■作品内容

「地下鉄に乗って」の篠原哲雄監督、「天使の卵」の宮城森監督、「ある朝スウプは」の高橋泉監督、「奈緒子」の古坂智之監督などの監督・監修により、生徒たちが出演・監督した映画が、ついに劇場公開!

■日程

3月22日(土)~4月4日(金) 連日21:15よりレイトショー

※最終日4/4は、最優秀作品賞はじめ各賞の発表と、アンコール上映を行います。

※舞台挨拶有。詳細はHPに随時アップします。

■チケット

特別観覧券800円/当日1,000円
特別観覧券は下記の方法で発売中です。
・Q-AXシネマ・劇場窓口にて販売
・チケットぴあ

■会場

渋谷Q-AXシネマ
東京都渋谷区円山町1-5 Q-AXビル
tel.03-3464-6277

ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F tel.03-5282-1341 / fax.03-5282-0171
mail:zemi_info@enbu.co.jp HP:http://www.enbu.co.jp/zemi/

演劇ぶっく 広告料金表

演劇ぶっくでは、各種広告スペースをご用意させて頂いております。

これまでも「演劇公演のご案内」、「劇団員の募集広告」、「学校・スクールの生徒募集広告」、「稽古スペースのご案内」など効果的な宣伝媒体としてご利用いただいております。

広告料金表（税込）

掲載面	スペース	色数	料金	サイズ
表4	1P	4	577,500	275×195
表2	1P	4	420,000	276×187
本文	1P	4	315,000	276×187
本文	1P	1	210,000	276×187
本文	タテ1/3P	4	105,000	276×55
本文	タテ1/3P	1	84,000	276×55
本文	タテ1/6P	1	52,500	130×61

etc……

この他にも用途・目的等に合わせた各種スペースがございます。
 広告掲載のご検討や詳しい入稿方法など、お気軽にお問い合わせ下さいませ。

演劇ぶっく

■創刊／1986年4月25日

■発行形態／隔月刊／奇数月9日発売

■定価／750円（税込み）

■判型／A4判・平綴じ

演劇ぶっくは、小劇場や新しい演劇の流れを中心に幅広く舞台をとりあげるエンタテインメント・フォト・マガジンです。

■お問合せ

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F
 演劇ぶっく編集部

tel:03-5282-1340

fax:03-5282-0170

(料) S席 ¥11,000、A席 ¥7,000
 B席 ¥4,000
 (電) 松竹演劇部0355500453

帝国劇場

千代田区丸の内3-1-1 帝創ビル1F
 03-3213-7221 JR有楽町駅7分

4/5(土)～4/30(水)
ミュージカル
『ランマンチャの男』
 脚本:テール・ワッサーマン 作詞:ジョオ・ダリオン 音楽ミッチ・リー 演出・出演松本幸四郎 日本初演の振付・演出エディ・ロール 出演 松たか子/佐藤暉/上條恒彦/福井貴一/月影瞳/他
 (料) S席 ¥12,500、A席 ¥8,000
 B席 ¥4,000
 (電) 帝国劇場0332137221

定期公演館以外

3/19(水)
万作の会
『狂言の世界』
 ●有楽町朝日ホール(千代田区有楽町2-5-1)03-284-0131
 出演 野村万作/野村万之介/野村萬斎/石田幸雄/深田博治/高野和憲/野村遼太/野村裕基
 (料) 全席指定 ¥7,000
 (電) 朝日ホールチケットセンター 0332679990

4/6(日)～4/30(水)
ミュージカル
『レベッカ』
 ●シアタークリエ(千代田区有楽町1-2-2 東宝日比谷ビル11F)
 03-3591-2400
 脚本-歌詞ミヒャエル・クンツェ 音楽シルヴェスター・ハーヴェイ 演出山田和也 出演山口祐一郎/大塚ちひろ/シルビア・グラブ/石川禰/吉野圭吾/他
 (料) 全席指定 ¥12,500
 (電) シアタークリエ0335912400

中央線沿線

23区内のJR中央線(快速・駅停車)沿線

国立能楽堂

渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
 03-3423-1331 JR千代田ヶ谷駅 5分

3/19(水)・3/20(木)
千作千之丞の会
 出演<空胸>茂山千之丞/茂山千五郎<葉平餅>茂山七五三/茂山あきら/他<く月見顔頭>茂山千作/茂山千之丞
 (料) SS席 ¥8,000、S席 ¥7,000
 A席 ¥6,000、B席 ¥5,000
 (電) 森崎事務所0354753436

4/26(土)・4/27(日)
春狂言2008
 (料) 全席指定 ¥5,000
 (電) セクターエディエイト 0663538988

4/29(火)
萬狂言 春公演
 出演 野村萬/野村万蔵/野村万緑 /小笠原匡/野村扇丞/他
 (料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,000
 B席 ¥5,000
 (電) 萬狂言事務局0353631305

中野ザ・ポケット

中野区中野3-22-8
 03-3382-156中野駅南口5分

3/12(水)～3/16(日)
演劇ユニット smokers vol.5
『PLAY YOUR LIFE』
 作・演出広瀬裕 出演市川茂男/荻山博史/熊坂貢児/遊佐邦博(以上smokers)/木戸雅美/他
 (料) 全席自由 ¥3,200
 (電) J―Stage Navi 0359464880

3/20(木)～3/26(水)
JOE Company
Another Play 4『DRIFT13』
 作・演出・出演小野寺文 出演津

定期公演館以外

4/2(水)～4/7(月)
流山児★事務所
MISHIMAワークショップ・プロジェクト VOL.1
『綾の鼓』『道成寺』
 ●スペース早稲田 03-3208-3920
 東西線早稲田駅1分
 作三島由紀夫 演出流山児祥 出演水内尚/ワヲ/諏訪勲/熊谷清正/阿高由美/他
 (料) 自由席(一般) ¥3,000
 (学生割引) ¥2,500
 (電) 流山児★事務所0352721785

4/29(火)～5/6(火)
流山児★事務所
楽塾公演『ゼ〜んぶ書きかえたロール・ブレイン・ザ・バグ』
 ●スペース早稲田 03-3208-3920
 東西線早稲田駅1分
 作北村想 演出流山児祥 出演いそちゆき/小森昌子/杉山智子/めぐろあや/内藤美津枝/他
 (料) 自由席(一般) ¥2,800
 (学生割引) ¥2,500
 (電) 流山児★事務所0352721785

銀座周辺

銀座・日比谷・日本橋・新橋など、中央区・千代田区・港区の一部

ル テアトル銀座

中央区銀座1-11-2銀座テアトル3F
 03-3535-5151 銀座線麁橋駅 2分
 4/4(金)～4/13(日)
『カラミティ・ジェーン』
 作ジャン＝エール・ファンウィック 訳浜文敏 脚色・演出吉川徹 出演湖月わたる/美木良介/小林綾子/小林 十人/大浦龍宇一/他
 (料) 全席指定 ¥8,500
 (電) 株式会社 梅田芸術劇場 0663773888

博品館劇場

中央区銀座8-8-11 博品館8～10F
 03-3571-1003 JR新橋駅 4分
 3/12(水)～3/23(日)
『WILDe-BEAUTY ～オスカ―・ワイルド、或いは幸せの王子～』
 脚本・作詞・演出荻田浩一(宝塚歌劇団) 音楽斎藤恒芳 美術古口幹夫 出演浦井健治/池田有希子/森新吾/小野妃香里/良知真次/他
 (料) 全席指定 ¥7,800
 (電) 博品館劇場0335711003

3/28(金)・3/29(土)
『イブラヒムおじさんとコーランのたたち』
 作エリック＝エマニュエル・シェムット 翻訳青井陽治/武藤洋 演出:青井陽治 作曲稲本響 出演麻実れい
 (料) 全席指定 ¥5,250
 (電) 博品館劇場0335711003

東京国際フォーラム

千代田区丸の内3-5-1
 03-5221-9050 JR有楽町駅1分

ホー ル C

3/14(金)～3/30(日)
ミュージカル
『フォービドゥン・シティ』
 原作・作詞ステファン・クラーク 演出スティーヴン・デクスター 音楽:デック・リー 振付:ニック・ウィンストン
 (料) S席(一般) ¥11,000
 (60才以上) ¥9,000
 A席 ¥8,000、B席 ¥3,000
 (電) ホリプロチケット予約センター―0334904949

日生劇場

千代田区有楽町1-1-1
 03-3503-3111 JR有楽町駅 8分

4/5(土)～4/27(日)
『嵐火火山』
 出演市川亀治郎/橋本じゅん/高橋和也/嘉島典俊/尾上紫/他

あうるすぽっと

豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル2F・3F 03-5391-0751
 http://www.owlspot.jp/

3/28(金)～3/30(日)
07/08あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ
北九州芸術劇場プロデュース『青春の門 放浪篇』
 原作五木寛之 脚本・演出 鍾下辰男 美術:鳥次郎 出演椎木樹人/有門正太郎/井上郁朗/小林類/清水裕子/他
 (料) 全席指定(一般) ¥3,000
 (学生) ¥2,500
 (電) 北九州芸術劇場 芸術文化情報センター0935622655

4/2(水)～4/6(日)
島国日本演劇祭 X―QUEST
『狼少女달마―日出処の天女』
 作・演出・出演トクナガヒデカツ 出演:佐藤仁美/市川雅之/伊勢直弘/荻窪えき/清水宗史/他
 (料) 全席指定 ¥4,300
 (電) オデッセー―0335603930

4/9(水)～4/13(日)
島国日本演劇祭 J's PRODUCE
『NEN,GOO!～お江戸のスターが勢ぞろい』
 作小野真一(小野プロデュース) 演出宇治川|まさなり(スタンダードノングエンタテイメント)
 (料) 全席指定 ¥4,300
 (電) オデッセー―0335603930

4/16(水)～4/20(日)
島国日本演劇祭 フラントマ
『イエス斬り捨て』
 作・演出・出演伊藤えん魔(ファンタマ) 出演:保村大和/久保田浩/盛井雅司/牧野エミ/上瀬昇一郎/他
 (料) 全席指定 ¥4,300
 (電) オデッセー―0335603930

4/23(水)～4/27(日)
島国日本演劇祭 大人の麦茶
『美女お津クション』
 作・演出:塩田泰造(大人の麦茶) 出演池田彦/中神一保/並木秀介/久保秀彦/貫賀里知乃/他
 (料) 全席指定 ¥4,300
 (電) オデッセー―0335603930

東京芸術劇場

豊島区西池袋1-8-1
 03-5391-2111 JR池袋駅西口 3分

中ホー ル

4/10(木)～4/13(日)
『SHOW店街組曲2』
 作・構成・演出菅野こうめい 出演:中山秀征/真琴つばさ
 (料) S席 ¥8,500、A席 ¥7,500
 (電) キョードー東京0334989999

4/20(日)～5/5(月)
『空中ブランコ』
 原作奥田英朗 出演:宮迫博之/佐藤江梨子/坂元健児/高橋由美子/酒井敏也/尾藤イサオ/他
 (料) 全席指定 ¥8,800
 (電) サンライズプロモーション東京0570003337

小ホール 2

4/30(水)～5/8(木)
小倉久寛 初ひとり立ち公演 べーバーエキセントリックシアター
『踊る職業不安定所』
 出演小倉久寛/植木豪/関香レア/水野哲也/平間丈一/他
 (料) 全席指定 ¥5,300
 (電) SETインフォメーション 0334202897

池袋周辺

池袋や大塚、または練馬区・板橋区

原作:李碧華 脚本:岸田理生 演出:蛸|川幸雄 音楽:宮川|彬良 出演:東山紀之/木村佳乃/遠藤憲一/他
 (料) S席 ¥11,000、A席 ¥9,000
 (電) Bunkamura 0334773244

4/6(日)～4/27(日)
『どん底』
 原作:マクシム・ゴーリキー 上演台本・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演:段田安則/江口洋介/萩野目慶子/緒|川たまき/大森博史/他
 (料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,500
 コーケンシート ¥5,000
 (電) Bunkamura 0334773244

赤坂ACTシアター

港区赤坂5-3-6TBSスクエア内
 03-5561-0909 地下鉄千代田線赤坂駅3a出口1分

3/27(木)～4/27(日)
祝祭音楽劇
『トゥーランドット』
 演出:宮本亜門 作曲・編曲・音楽監督:久石譲 衣装:ワダミ 脚本:鈴木勝秀 作詞:森雪之丞 振付:ダレ―ン・リー/岡千絵 出演アーメイ(張恵妹)/岸谷五朗/中村獅童/早乙女太一/安倍なつみ/他
 (料) S席 ¥13,500、A席 ¥9,500
 (電) チケットスペース0332349999

5/9(金)
第49回『赤坂をどり』
 作小野真一(小野プロデュース) 演出宇治川|まさなり(スタンダードノングエンタテイメント)
 (料) チケットスペース0332349999

俳優座劇場

港区六本木4-9-2 03-3470-2880
 日比谷線 六本木駅 1分

3/19(水)～3/23(日)
劇団銅鑼
『はい、奥田製作所。』
 作小関直人 演出山田昭一 音楽:寺田秋生 美術内山勉
 (料) 全席指定 ¥4,500
 (学生) ¥3,000
 (電) 劇団銅鑼0339371101

3/27(木)～3/31(月)
イツツフォーリーズ公演 ファンタジーミュージカル『霧のむこうのふしぎな町』
 原作:柏葉幸子(講談社刊) 演出:河田園子(劇団昴) 脚本・作詞:高橋亜子
 (料) 全席指定 ¥3,500
 (電) オールスタッフ0335839821

定期公演館以外

3/30(日)・3/31(月)
ひょうご発!音楽×演劇プロジェクト
『4×4 ～フランクの『チェロソナタ』長調』『プレリュード、コラールとフーガ』～』
 ●サントリーホール小ホール B1)03-3583-9829 地下鉄日比谷線六本木駅3出口10分
 原作・浅田次郎(『天切り松〜人情闇がたり〜』)
 ●アトリエ・フォンテーヌ(港区六本木5-13-13 フォンテーヌビル)
 B1)03-3583-9829 地下鉄日比谷線六本木駅3出口10分
 原作・浅田次郎(『天切り松闇がたり』)
 ●日本水谷龍二 演出 鶴山健一 出演 左とん平/井上馬/茂木沙月/津田英佑/金村瞳/水野龍司/井上丈彦/他
 (料) 全席指定 ¥5,500
 (電) オールスタッフ0335839821

3/21(金)～4/6(日)
『MIDSUMMER CAROL ガマ王子 vs ザリガニ魔人』
 作:後藤ひろひと 演出:G2 出演:吉田鋼太郎/志村玲那/笠原浩夫/新妻聖子/山内圭哉/他
 (料) 全席指定 ¥8,500
 (電) キューブ(公演に関して) 0354858886

4/24(木)～4/27(日)
イツツフォーリーズ公演 ミュージカル『天切り松〜人情闇がたり〜』
 ●アトリエ・フォンテーヌ(港区六本木5-13-13 フォンテーヌビル)
 B1)03-3583-9829 地下鉄日比谷線六本木駅3出口10分
 原作・浅田次郎(『天切り松闇がたり』)
 ●日本水谷龍二 演出 鶴山健一 出演 左とん平/井上馬/茂木沙月/津田英佑/金村瞳/水野龍司/井上丈彦/他
 (料) 全席指定 ¥5,500
 (電) オールスタッフ0335839821

4/12(土)～5/6(火)
『49日後…』
 作:竹内佑 演出:池田成志 出演:古田新太/八嶋智人/池田成志/松重豊/小田茜
 (料) 全席指定 ¥7,500
 (電) PARCO劇場0334775858

Bunkamura

渋谷区道玄坂2-24-1Bunkamura内
 03-3477-3244 JR渋谷駅 7分

シアタークーン

3/9(日)～3/31(月)
『さらば、わが愛 覇王別姫』

Shibuyaのミカタ+

【公演データ編】

チケットのお求めは… e+(イープラス)での購入方法

◇ご用意いただくもの パソコンまたは携帯電話(いずれもネット閲覧可能な機種)
 ◇会員登録 http://eplus.jp から「会員登録」をクリック、簡単手続き(無料)で、チケット申込みに必要なお客さま番号が発行されます。
 ※既にご登録いただいている方は登録不要です。
 ◇チケット予約 http://eplus.jp の「検索」窓などで希望公演を探して、お申込みください。
 一般発売に先立つプレオーダー(抽選方式の先行予約受付)もご利用いただけます。
 ◇お支払い方法 以下の3通りです。 クレジットカード決済/コンビニ決済/Pay-easy(ペイジー)(各決済方法および決済金額の詳細は、http://eplus.jpにてご確認ください)

◇チケットの受取り 宅配便配送/セブンイレブン発券
 ◇お問合せ http://eplus.jp から「お問合せ」をクリックしてください。

◇ご注意
 ・お申込み後の変更やキャンセルはお受けできません。
 ・料金は全て税込みです。
 ☆当公演情報コーナーの公演データは演劇ぶっく発売日より約1ヶ月前時点のものです。スケジュール、キャストなど内容が変更となる場合がありますのでご了承ください。詳細は、各公演の問合せ先にお確かめください。
 なお、掲載の公演データは、e+(イープラス)の協力により、e+チケット販売情報をベースに編集されています。

(電) 浜岡 0339162430

4/23(水)～5/4(日)
月影番外地
『物語が、始まる』
 原作|川上弘美(中央公論新社刊)
 脚本:千葉雅子 演出:木野花 出演:高田聖子/加藤啓/辻修
 (料) 全席指定 ¥5,000
 (電) アール・ユー・ビー 0333726207

青山円形劇場

渋谷区神宮前5-53-1こどもの城内
 03-3797-5678 地下鉄表参道駅7分 http://www.aoyama.org

4/3(木)～4/7(月)
innerchild
『(紙の上の)ユグドラシル』
 作・演出:小手伸也 出演:小手伸也/菊岡理紗/土屋雄三/毛宅仁/穴倉靖二/他
 (料) 全席指定 ¥3,500
 (電) Stage Navi 0359464880

PARCO 劇場

渋谷区宇田川町15-11VILコート1 03-3477-5858 JR渋谷駅 5分

3/12(水)～3/16(日)
ラヴ・レターズ
『2008 SPRING SPECIAL』
 作:AR.ガーニー 訳・演出:青井陽治 出演:<3/12>橋本じゅん/秋吉美子<3/13>金子昇/貴城いり<3/14>長塚圭史/小島聖<3/15>星野源/本谷有希子<3/16>三谷幸喜/八木亜希子
 (料) 全席指定 ¥5,000
 (電) PARCO劇場0334775858

3/21(金)～4/6(日)
『MIDSUMMER CAROL ガマ王子 vs ザリガニ魔人』
 作:後藤ひろひと 演出:G2 出演:吉田鋼太郎/志村玲那/笠原浩夫/新妻聖子/山内圭哉/他
 (料) 全席指定 ¥8,500
 (電) キューブ(公演に関して) 0354858886

4/12(土)～5/6(火)
『49日後…』
 作:竹内佑 演出:池田成志 出演:古田新太/八嶋智人/池田成志/松重豊/小田茜
 (料) 全席指定 ¥7,500
 (電) PARCO劇場0334775858

Bunkamura

渋谷区道玄坂2-24-1Bunkamura内
 03-3477-3244 JR渋谷駅 7分

シアタークーン

3/9(日)～3/31(月)
『さらば、わが愛 覇王別姫』

定期公演館 以外

3/13(木)～3/23(日)
歌謡シアター『ラムネ ～木綿のハンカチーフ編～』
 ●新宿FACE
 作・演出:田村孝裕(ONEOR8) 出演小西遼生/松田沙紀/東山光明/植木豪/麻生かほ里/エンレイ/竹田佑美/野添義弘
 (料) 全席指定 ¥6,800
 (電) サンライズプロモーション東京0570003337

4/4(金)～5/6(火)
『ヘドウィグ・アンド・アングリーインチ』
 ●新宿FACE
 作:ジョン・キャメロン・ミッチェル 作詞・作曲:スティヴ・グノトラスク 上演台本・演出:鈴木勝秀 出演:山本耕史/ノム・タク
 (料) 指定席 ¥7,800、立見 ¥5,000
 (電) サンライズプロモーション東京0570003337

4/25(金)～5/4(日)
劇団わらび座
ミュージカル『火の鳥～鳳凰編～』
 ●新宿文化センター大ホール(新宿区新宿6-14-1)03-3350-1141
 地下鉄 新宿 3丁 目駅 8分
 原作:手塚治虫 演出:栗山民也 脚本:斎藤雅文 音楽:甲斐正人 美術:妹尾河童
 (料) S席 ¥6,000、A席 ¥5,000
 (電) わらび座関東・東海事務所 0482868730

渋谷・青山周辺

渋谷・恵比寿や青山・赤坂・六本木周辺

赤坂RED/THEATER

東京都港区赤坂3-1 0-9
 赤坂グランベルホテル B 1 F
 03-5575-7130
 http://www.red-theater.net/
 3/13(木)～3/23(日)
赤坂RED/REVOLUTION
『東京』
 作・演出:赤堀雅秋 出演いせゆきこ/井筒大介/井端珠里/海老原礼子/日谷吉洋/他
 (料) 全席指定 ¥4,200
 (電) コーチ・ブラザーズ 0333726848

4/1(火)～4/6(日)
劇団ピタミン大使『ABC』Vol.38
『とりあえず、段ボールハウス。』
 作・演出:宮川|賢 出演:宮川|賢/奈良良チャボ/セキユリティ木村|村田未来/福田加奈子/他
 (料) 全席指定(一般) ¥3,500
 (高校生以下) ¥2,000

(料) 全席指定 ¥5,000
 (電) 木山事務所0359580855

4/18(金)『MIDSUMMER CAROL ガマ王子 vs ザリガニ魔人』●福岡市民会館大ホール(福岡市天神5-1-23)092-761-6567 地下鉄天神駅作後藤ひろひと 演出:G2 出演:吉田鋼太郎/志村玲那/笠原浩夫/新妻聖子/山内圭哉/他 (料)S席 ¥7,800、A席 ¥6,500 B席 ¥5,500 (電)ピクニック0927150374

九州

北九州芸術劇場

北九州市小倉北区室町1-1-1-11 093-562-2620 小倉駅徒歩10分、西小倉駅徒歩3分

小 劇 場

3/19(水)〜3/23(日)『**北九州芸術劇場プロデュース「青春の門 放浪篇」**』原作:五木寛之 脚本・演出:鐘下辰男 美術:島次郎 出演:椎木樹人/有門正太郎/井上郁朗/小林順/清水裕子/他 (料) 全席指定 (一般) ¥3,000 (学生) ¥2,500 (電)北九州芸術劇場 芸術文化情報センター0935622655

ももちパレス

福岡市早良区百道2-3-15 092-724-5511

3/14(金)〜3/16(日) **Kentaro Kobayashi Solo Performance** Live Potsunen 2008 『Drop』作・演出・出演:小林賢太郎 (料) 全席指定 ¥5,000 (電)西鉄ホール0927341370

定期公演館以外

3/18(水)・3/19(水)『**花嫁**』●福岡市民会館大ホール(福岡市天神5-1-23)092-761-6567 地下鉄天神駅 原作:向田邦子 脚本:服部佳 演出:石井ふく子 出演:草笛光子/音無美紀子/藤田朋子/岸田敬志/瀬戸摩純/他 (料) 指定席 ¥7,800 (電)ピクニック0927150374

3/20(木)『**恋はコメディー**』●福岡市年金会館(北九州市小倉北区) 原作:マリア・バコム 演出:加納幸和(花組芝居) 脚本:岡本さとる 出演:浅丘ルリ子/渡辺えり/秋吉久美子/石井一孝/風間俊介 (料) S席 ¥8,000、A席 ¥6,000 B席 ¥4,000 (電)H.L.P.South 0570088981

3/21(金)・3/22(土)『**恋はコメディー**』●福岡市民会館大ホール(福岡市天神5-1-23)092-761-6567 地下鉄天神駅 原作:マリア・バコム 演出:加納幸和(花組芝居) 脚本:岡本さとる 出演:浅丘ルリ子/渡辺えり/秋吉久美子/石井一孝/風間俊介 (料) S席 ¥8,000、A席 ¥6,000 B席 ¥4,000 (電)福岡スポーツセンター イベント事業部0927411661

4/1(火)〜4/29(火) **劇団四季『ライオンキング』** ●福岡シティ劇場 (料)S1 ¥11,550、S ¥11,550 A1 ¥9,450、A2 ¥9,450、B ¥6,300 C ¥3,150 (電) 劇団四季福岡公演本部 0922711199

(電) 中京テレビ事業0529573333 5/8(木)『**空中ブランコ**』●高知県民文化ホール(オレンジホール)(高知市本町4-3-30) 0888-24-5321 原作:奥田英朗 出演:宮迫博之/佐藤江梨子/坂元健児/高橋由美子/酒井敏也/尾藤イサオ/他 (料) S席 ¥9,500、A席 ¥8,500 (電) 高知新聞企業 事業企画部 0888254328

4/24(木) **二兎社『歌わせたい男たち』** ●愛知厚生年金会館(名古屋市中千種区池下町2-63)052-761-4181 地下鉄池下駅1分 原作・演出:永井愛 出演:戸田恵子 /大谷亮介/小山萌子/中上雅巳/近藤芳正 (料) S席 ¥5,800、A席 ¥4,800 (電) メ〜レ0523319966

4/25(金)『**手紙**』●中京大学文化市民会館ブルニエホール(中区中山1-5-1) 052-331-2141 地下鉄・JR・名鉄金山駅下車 徒歩1分 原作:東野圭吾 脚色・演出:藁田信也 出演:相葉弘樹/進藤孝/富田麻帆/他 (料) 全席指定 ¥7,350 (電) キョードー東海0529727466

中国

定期公演館以外

3/17(月)『**恋はコメディー**』●岡山市民会館 原作:マリア・バコム 演出:加納幸和(花組芝居) 脚本:岡本さとる 出演:浅丘ルリ子/渡辺えり/秋吉久美子/石井一孝/風間俊介 (料) S席 ¥8,000、A席 ¥6,000 B席 ¥4,000 (電)岡山音協0862246066

3/18(火)『**恋はコメディー**』●広島厚生年金会館(広島市中区加古町3-3)082-243-8881 JR広島駅よりバス15分 原作:マリア・バコム 演出:加納幸和(花組芝居) 脚本:岡本さとる 出演:浅丘ルリ子/渡辺えり/秋吉久美子/石井一孝/風間俊介 (料) S席 ¥8,000、A席 ¥6,000 B席 ¥4,000 (電) tssテレビ新広島 0822531010

3/26(水) **フキコシ・ソロ・アクト・ライブ『(タイトル未定)〜このライブのタイトルはタイトル未定です〜**』 ●松山市民会館中ホール(松山市)089-993-4526 作・演出・出演:吹越満 (料) 全席指定 ¥7,500 (電) デューク松山0899473535

4/17(木)『**MIDSUMMER CAROL ガマ王子 vs ザリガニ魔人**』 ●広島厚生年金会館(広島市中区加古町3-3)082-243-8881 JR広島駅よりバス15分 作後藤ひろひと 演出:G2 出演:吉田鋼太郎/志村玲那/笠原浩夫/新妻聖子/山内圭哉/他 (料) 全席指定 ¥7,500 (電) 中国新聞企画開発 0822632244

北海道

定期公演館以外

3/17(月) **フキコシ・ソロ・アクト・ライブ『(タイトル未定) 〜このライブのタイトルはタイトル未定です〜**』 ●道新ホール(札幌市中央区大通西3丁目)011-221-2111 地下鉄大通駅5分 (料) 全席指定 ¥5,000 (電) ミュージックファン 0112087000

東北

定期公演館以外

3/26(水)『**恋はコメディー**』●電力ホール 原作:マリア・バコム 演出:加納幸和(花組芝居) 脚本:岡本さとる 出演:浅丘ルリ子/渡辺えり/秋吉久美子/石井一孝/風間俊介 (料) 全席指定 ¥8,500 (電) 仙台放送0222682174

4/11(金)『**MIDSUMMER CAROL ガマ王子 vs ザリガニ魔人**』 ●イズミティ21大ホール(仙台市)作・演出・出演:小林賢太郎 (料) 全席指定 ¥7,000 (電) 仙台放送0222682174

東海

定期公演館以外

3/14(金)〜3/17(月)『**花嫁**』●名鉄ホール(名古屋市中村区名駅1-2-1)052-585-7811 名鉄新名古屋駅すぐ名鉄百貨店10F 原作:向田邦子 脚本:服部佳 演出:石井ふく子 出演:草笛光子/音無美紀子/藤田朋子/岸田敬志/瀬戸摩純/他 (料) A席 ¥10,000、B席 ¥7,000 C席 ¥4,000 (電) 名鉄ホール0525857811

4/12(土)〜4/21(月) **大塚製薬インナーシグナル Presents ムージカルロマンス『DRACULA』**(『タイトル未定』〜このライブのタイトルはタイトル未定です〜) ●中田劇場(名古屋市中区栄) 4-1-1 中日ビル9F)052-263-7171 東山線・名城線栄駅より東へ3分 演出:松平健/鈴木緑馬/観持たまき/真緒由季/初風諒/他 (料) A席 ¥11,000、B席 ¥6,000 (電) 中田劇場0522637171

4/17(木)・4/18(金) **Kentaro Kobayashi Solo Performance** Live Potsunen 2008 『Drop』 ●名古屋市青少年文化センター(アートピアホール)(名古屋市中3-18-1ナディアパーク・デザインセンタービル11F)052-265-2088 地下鉄矢場町駅5・6番出口西へ5分 作・演出・出演:小林賢太郎 (料) 全席指定 ¥5,000

トリヌテ/tekkan/右近健一/藤木孝/杜けあき (料) 全席指定 ¥11,000 (電) 梅田芸術劇場0663773888

関西その他

八尾プリズムホール

八尾市光町2-40 0729-24-5111 近鉄八尾駅 5分

大 ホ ー ル

3/15(土) **08演劇フェスティバルin八尾 人形劇団クラルテ『人形劇11ひきのねことぶた』** (料) 全席自由 ¥1,500 (電) プリズムホールチケットカウンター0729249999

3/16(日) **08演劇フェスティバルin八尾 人形劇団ののはな『あかずきんちゃん』『いいものみ〜つけた』** (料) 全席自由 ¥1,500 (電) プリズムホールチケットカウンター0729249999

3/16(日) **08演劇フェスティバルin八尾 イトウ・シノブサイレントショー『誰がために鐘はなる』** (料) 全席自由 ¥1,500 (電) プリズムホールチケットカウンター0729249999

びわ湖ホ ー ル

滋賀県大津市打出浜15-1 077-523-7136 http://www.biwako-hall.or.jp/

中 ホ ー ル

3/30(日) **二兎社『歌わせたい男たち』** 原作・演出:永井愛 出演:戸田恵子 /大谷亮介/小山萌子/中上雅巳/近藤芳正 (料) S席 ¥4,500、A席 ¥3,500 (電) (財)びわ湖ホール 0775237136

定期公演館以外

3/13(木)『**恋はコメディー**』●なら100年会館大ホール(奈良市三条宮前町7-1)0742-34-0100 原作:マリア・バコム 演出:加納幸和(花組芝居) 脚本:岡本さとる 出演:浅丘ルリ子/渡辺えり/秋吉久美子/石井一孝/風間俊介/他 (料) 全席指定 ¥7,500 (電) 奈良テレビ放送株式会社 0742242958

3/22(土)・3/23(日)『**湖国の神子**』 ●栗東芸術文化会館さくら大ホール(滋賀県栗東市栗東町磯 2-1-28)077-551-1455 JR琵琶湖線栗東駅東口より400m 原案・脚本:児島秀樹 脚色・演出:大塚雅史 (料) S席 (一般) ¥2,500 (中学生以下) ¥1,500 (電)栗東芸術文化会館 さくら大ホール0798680255

4/11(金)・4/12(土) **春爛漫『茂山狂言会』** ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 作:ポール・オスボーン 訳・演出:青井陽治 出演:若嶋か根子/水谷八重子/新藤耐子/安奈淳/宝田明/他 (料) A席 ¥6,500、B席 ¥5,000 C席 ¥3,000 (電)芸術文化センターチケットオフィス0798680255

5/2(金)〜5/4(日) **春狂言2008** ●大槻能楽堂006-6761-8055 (料) 全席指定 ¥5,000 (電) セクター・エイティエイト 0663538988

4/17(木)・4/18(金) **Kentaro Kobayashi Solo Performance** Live Potsunen 2008 『Drop』 ●名古屋市青少年文化センター(アートピアホール)(名古屋市中3-18-1ナディアパーク・デザインセンタービル11F)052-265-2088 地下鉄矢場町駅5・6番出口西へ5分 作・演出・出演:小林賢太郎 (料) 全席指定 ¥5,000

3/19(水)〜3/23(日) **Kentaro Kobayashi Solo Performance** Live Potsunen 2008 『Drop』 作・演出・出演:小林賢太郎 (料) 全席指定 ¥5,000 (電) サンシティチケットセンター 0570055062

4/25(金)〜4/28(月) **音楽劇『ぼんち』** 原作:山崎豊子 脚本:わかざ糸ふ 演出:マキノノゾミ 音楽:coba 振付:南流石 出演:沢田研二/土居裕子/土田早苗/加納幸和/田中隆三/他 (料) S席 ¥8,500、A席 ¥6,000 B席 ¥4,000 (電) ココロ公演事務局 0663238888

宝 塚 大 劇 場

宝塚市栄町1-1-57 0797-85-6272 阪急宝塚駅 5分

3/21(金)〜5/5(月) **宝塚歌劇 月組 UCC&シャディミュージカル『ME AND MY GIRL』** (料) S席 ¥7,500、A席 ¥5,500 B席 ¥3,500 (電) 宝塚歌劇インフォメーション センター0570005100

定期公演館以外

3/11(火)『**恋はコメディー**』●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 原作:マリア・バコム 演出:加納幸和(花組芝居) 脚本:岡本さとる 出演:浅丘ルリ子/渡辺えり/秋吉久美子/石井一孝/風間俊介 (料) 全席指定 ¥9,500 (電) キョードーチケットセンター 0662338888

3/15(土)・3/16(日) **新国立劇場『屋上庭園』『動員挿話』** ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 作:岸田國土 演出:宮田慶子<『屋上庭園』>/深津篤史<『動員挿話』> 出演:七瀬なつみ/神野三鈴/太田宏/遠藤好/小林隆/山路和弘 (料) 全席指定 ¥4,000 (電) 芸術文化センターチケットオフィス0798680255

3/19(水)〜3/23(日)『**四人は姉妹**』 ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 作:ポール・オスボーン 訳・演出:青井陽治 出演:若嶋か根子/水谷八重子/新藤耐子/安奈淳/宝田明/他 (料) A席 ¥6,500、B席 ¥5,000 C席 ¥3,000 (電)芸術文化センターチケットオフィス0798680255

3/19(水)〜3/23(日)『**四人は姉妹**』 ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 作:ポール・オスボーン 訳・演出:青井陽治 出演:若嶋か根子/水谷八重子/新藤耐子/安奈淳/宝田明/他 (料) A席 ¥6,500、B席 ¥5,000 C席 ¥3,000 (電)芸術文化センターチケットオフィス0798680255

4/11(金)・4/12(土) **春爛漫『茂山狂言会』** ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 出演:茂山千作/茂山千之丞/茂山千五郎/茂山七五三/茂山正邦/茂山茂/茂山逸平/ほか (料) お問い合せを (電) 芸術文化センターチケットオフィス0798680255

4/17(木)・4/18(金)『**トリアンフ・オブ・ラヴ〜愛の勝利〜**』 ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 修辞・訳詞・演出:小池修一郎 美術:二村周作 振付:TAKAHIRO 出演:朝海ひかり/武田真治/瀬戸カ

(電)『TRIP OF LOVE』プロモーション実行委員会0570029575

定期公演館以外

3/8(土)・3/9(日) **Blue Shuttle Produce 演劇ユニットAxle第8回公演『WILD ADAPTER』** ●ウェルシディ大阪厚生年金会館芸術ホール(西区新町1-14-15) 06-6532-6301 原作:峰倉かずや/WILD ADAPTER(徳間書店刊) 脚本・構成・演出:吉谷光太郎 出演:柄谷吾史/古川貴生/松木賢三/山本健史/加藤巨樹/他 (料) 全席指定 ¥5,500 (電) キョードーチケットセンター 0662338888

4/25(金)〜4/28(月) **音楽劇『ぼんち』** 原作:山崎豊子 脚本:わかざ糸ふ 演出:マキノノゾミ 音楽:coba 振付:南流石 出演:沢田研二/土居裕子/土田早苗/加納幸和/田中隆三/他 (料) S席 ¥8,500、A席 ¥6,000 B席 ¥4,000 (電) ココロ公演事務局 0663238888

3/14(金)・3/15(土)『**恋はコメディー**』 ●ウェルシディ大阪厚生年金会館芸術ホール(西区新町1-14-15) 06-6532-6301 原作:マリア・バコム 演出:加納幸和(花組芝居) 脚本:岡本さとる 出演:浅丘ルリ子/渡辺えり/秋吉久美子/石井一孝/風間俊介 (料) S席 ¥8,500、A席 ¥7,500 (電) キョードーチケットセンター 0662338888

3/29(土) **森山開次『The Velvet Suite』** ●IMPホール(中央区城見1-3-7 IMPビル2F)06-6942-2250 JR京橋駅5分 演出・振付・美術・出演:森山開次 音楽:笠松素洋 ヴァイオリン:室屋良一郎 (料) 指定 ¥5,000、学生券 ¥3,000 (電) キョードーチケットセンター 0662338888

4/23(水)・4/24(木)『**手紙**』 ●メレ! ヴレク OSAKA 原作:東野圭吾 脚色・演出:藁田信也 出演:相葉弘樹/進藤孝/富田麻帆/他 (料) 指定席 ¥7,350 (電) キョードーチケットセンター 0662338888

4/23(水)〜4/28(月) **演劇集団キャラメルボックス『きみがいた時間 ほくのいく時間』** ●ウェルシディ大阪厚生年金会館芸術ホール(西区新町1-14-15) 06-6532-6301 原作:梶尾真治『きみがいた時間 ほくのいく時間』 脚本・演出:成井豊 出演:上11隆也/西山藤子/西川浩幸/坂口理恵/岡田達也/他 (料) S席 ¥6,300、A席 ¥5,500 (電) 演劇集団キャラメルボックス 0120481315

3/19(水)〜3/23(日)『**四人は姉妹**』 ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 作:岸田國土 演出:宮田慶子<『屋上庭園』>/深津篤史<『動員挿話』> 出演:七瀬なつみ/神野三鈴/太田宏/遠藤好/小林隆/山路和弘 (料) A席 ¥6,500、B席 ¥5,000 C席 ¥3,000 (電)芸術文化センターチケットオフィス0798680255

4/11(金)・4/12(土) **春爛漫『茂山狂言会』** ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 出演:茂山千作/茂山千之丞/茂山千五郎/茂山七五三/茂山正邦/茂山茂/茂山逸平/ほか (料) お問い合せを (電) 芸術文化センターチケットオフィス0798680255

4/17(木)・4/18(金)『**トリアンフ・オブ・ラヴ〜愛の勝利〜**』 ●兵庫県立芸術文化センター中ホール(兵庫県西宮市高松町 2-22)0798-68-0223 修辞・訳詞・演出:小池修一郎 美術:二村周作 振付:TAKAHIRO 出演:朝海ひかり/武田真治/瀬戸カ

(電)『TRIP OF LOVE』プロモーション実行委員会0570029575

3/28(金)〜3/30(日)『**FROGS**』 演出:岸谷五朗 脚本:喜安浩平 主題歌制作:新藤晴一(ポルノグラフィティ) 出演:桜田通/青柳塁斗/植原卓也/柳澤真彦/松永一哉/他 (料) 指定席 ¥5,000 サイドシート席 ¥5,000 (電)チアリングハウス 0354573476

4/5(土)〜4/13(日)『**さらば、わが愛 覇王別姫**』 原作:李碧華 脚本:岸田理生 演出:蛭川幸雄 音楽:宮川彬良 出演:東山紀之/木村佳乃/進藤恵一/他 (料) S席 ¥12,000 (電) キョードーチケットセンター 0662338888

3/29(土) **森山開次『The Velvet Suite』** ●IMPホール(中央区城見1-3-7 IMPビル2F)06-6942-2250 JR京橋駅5分 演出・振付・美術・出演:森山開次 音楽:笠松素洋 ヴァイオリン:室屋良一郎 (料) 指定 ¥5,000、学生券 ¥3,000 (電) キョードーチケットセンター 0662338888

4/23(水)・4/24(木)『**手紙**』 ●メレ! ヴレク OSAKA 原作:東野圭吾 脚色・演出:藁田信也 出演:相葉弘樹/進藤孝/富田麻帆/他 (料) 指定席 ¥7,350 (電) キョードーチケットセンター 0662338888

4/25(金)〜4/27(日)『**カラミティ・ジェーン**』 作:ジャンヌ・エルフ・ファンウィック 訳:沢文敏 脚色・演出:吉川徹 出演:湖月わたる/美木良介/小林綾子/小川十市/大浦龍宇一/他 (料) 全席指定 ¥8,500 (電) 梅田芸術劇場0663773888

4/25(金)〜4/27(日)『**カラミティ・ジェーン**』 作:ジャンヌ・エルフ・ファンウィック 訳:沢文敏 脚色・演出:吉川徹 出演:湖月わたる/美木良介/小林綾子/小川十市/大浦龍宇一/他 (料) 全席指定 ¥8,500 (電) 梅田芸術劇場0663773888

大阪市内

アートコンプレックス1928

中京区三条通幸町東南角1928ビル3F 075-254-6520 京阪電車三条駅5分

3/13(木)〜3/16(日) **JOE Company Another Play 4『DRIFT13』** 作・演出・出演:小野寺丈 出演:津川友美/橋ゆかり/清水拓哉/横山一敏/幸野友之/他 (料) 全席指定 ¥3,000 (電) JーStage Navi 0359464880

神戸・宝塚

新神戸オリエンタル劇場

神戸市中央区北野町1-3 新神戸オリエンタルシティC3・2F 078-291-1100地下鉄新神戸駅2分

吉祥寺駅北口徒歩5分 4/26(土)・4/27(日) **第15回ガーディアン・ガーデン演劇フェスティバル クリウム・パニー『箕沢川』** 作・振付:菅尾なぎさ 出演:菅尾なぎさ/他 (料) 全席指定 ¥3,000 (電) Days 0334645026

関東その他

社のホールはしもと

神奈川県相模原市橋本3-28-1 京王相模原線・JR相模線・JR横浜線橋本駅北口ミウラ橋本7F 042-775-3811 http://www.hall-net.or.jp

4/26(土) **二兎社『歌わせたい男たち』** 作・演出:永井愛 出演:戸田恵子/大谷亮介/小山萌子/中上雅巳/近藤芳正 (料) 全席指定 ¥4,500 (電) チケットMove 0427429999

定期公演館以外

3/10(月) **宝塚歌劇団OGによるラテンファンタジー『ラ フィエスタ ラティーナ』** ●鎌倉芸術館大ホール(鎌倉市大船6-1-2)0467-48-5500 JR大船駅 10分 出演:峰さを理/高汐巴/平みち/他 (料) S席 ¥4,500、A席 ¥4,000 (電) 湘南リビング新聞社 0466277411

3/15(土) **宝塚歌劇団OGによるラテンファンタジー『ラ フィエスタ ラティーナ』** ●東洋文化会館大ホール(台東区上野公園5-45)03-828-2111 出演:峰さを理/高汐巴/平みち/他 (料) S席 ¥6,500、A席 ¥5,500 (電) 東京労音0332049933

3/13(木)〜3/16(日) **吾妻橋ダンスクロッシング presents 康本雅子『チビルダ ミチルダ』** ●アサヒ・アートスクエア(墨田区吾妻橋1-23-1)アサヒスーパードライホール4F)03-5608-5391 銀座線浅草駅4分 振付・出演:康本雅子 出演:新鋪美佳/佐藤亮介/関本麻須美/羽太結子/吉村和順 (料) 全席自由 ¥3,500 (電)プリコグ0334101816

4/17(木)『**モリー先生との火曜日**』 ●東京文化会館小ホール(台東区上野公園5-45)03-828-2111 (料) 全席指定 ¥7,000 (電) 東京労音0332049933

3/29(土) **加藤健一事務所 vol.68『思ひ出のすきまに ～The Drawer Boy～』** ●亀戸文化センターカメリアホール(江東区亀戸2-19-1)カメリアプラザ3F)03-5626-2125 JR・東武線亀戸駅北口2分 作:マイケル・ヒーリー 演出:鶴山仁 出演:加藤健一/新井康弘/山本芳樹(Studio Life) (料) 全席指定 ¥4,500 (電) カメリアプラザカメリアホール0356262125

5/2(金)・5/3(土) **東宝ミュージカル『イーストウィックの魔女たち』** ●サンシティ・越谷市民ホール大ホール(埼玉県越谷市南越谷 1-2876-1)0489-85-1111 出演:津内孝利/大浦みずき/森谷美子/涼風真世/マルシア/他 (料) S席 ¥10,000、A席 ¥8,000 B席 ¥6,000 (電) 越谷コミュニティセンター 0489851112

関西

ニュー・ヴァージョン 演出:木内宏 昌 出演:いとうめぐみ/植野葉子/内田亜紀子/大沼百合子/河野由佳/他 (料) 全席指定 (一般) ¥5,000 (電) tpt 0336356355

4/9(水)〜4/13(日)『**THE DISHWASHERS “血洗い稼業”**』 作:モリス・バニッチ、翻訳:吉原豊司、演出:竹邑類 出演:

えんぶチャート2007の ランキングが10倍楽しくなる!?

作品部門

第3位

「トリツカレ男」

(演劇集団キャラメルボックス)

♪「きら星」

♪「Dreaming Force~Like A Movie Star~」

♪「LUCKY SAD」

♪「遠回り」

♪「ちびっこ探偵」

着信メロディを
3月6日より順次配信中♪

第7位

「キャバレー」

現在5曲を好評配信中♪
今後も追加予定です!

俳優部門

第16位

栗根まこと (劇団☆新感線)
「貧弱ユビキタス」

好評連載中!!

第23位

池田鉄洋 (猫のホテル)
「アタナとワタシの
お悩みジマン」

演モチャートは毎月やっています!!

毎月公演中の作品と期間中に出演している役者への投票ができます。
なんと、演モチャートの投票は『えんぶチャート』に反映されます!

投票はこちらから

3キャリア対応!

演劇モバイル用QRコード



カメラで読み取るだけで
簡単アクセス!

<http://engeki.cave.co.jp>



お手持ちの携帯電話から
カンタンアクセス!



Menu→メニューリスト→音楽/映画/芸能
→タレント/芸能→演劇モバイル



EZトップメニュー→エンターテインメント
→芸能・アイドル→演劇モバイル



Yahoo!ケータイ→メニューリスト→芸能・映画・音楽→プロダクション・総合→演劇モバイル



株式会社 ケイブ
<http://www.cave.co.jp>

※サービスのご利用には、利用料が含まれます。ロサービス利用料の他に別途チケット運賃がかかります。運賃料に
関しては、契約開始時にお知らせいたします。ロサービス利用料・料金・お申し込み方法は、各キャリアのウェブサイト
をご覧ください。ロサービスの広告中に記載された企業・団体・サービス名およびそれらのロゴマークは、各キャリア・団体の商標
または登録商標です。日本広告掲載の写真、イラストおよび記事内容の無断転載・複製・二次使用を禁止します。

e+STAGE ENBU 出張版

チケット・サービスでおなじみe+(イープラス)が、「演劇ぶっく」読者の皆さまに、
オススメチケットをご紹介 & 読者特別先行予約受付を実施!!
今回のオススメチケットはコレです!

e+ イープラス
特撰チケット

新感線☆RX

「五右衛門ロック」



SHINKANSEN☆

RX

五右衛門

GOEMON
ROCK

■作/中島かずき ■演出/いのうえひでのり
■出演/古田新太 松雪泰子 森山未来 /
江口洋介 / 川平慈英 濱田マリ /
橋本じゅん 高田聖子 栗根まこと /
北大路欣也 / 他

【東京公演】
2008年7月8日(火)~7月28日(月)
※7月6日(日) プレビュー公演
新宿コマ劇場
チケット一般発売日:4月19日(土)
※公演日時・料金は下記URL参照

ENBU読者特別先行受付:4月15日(火)12:00~16日(水)18:00(抽選制)

チケットのお申込みは <http://eplus.jp/enbu/> PC
携帯

公演10日前になると手数料0円になる! 新サービス「すぐチケ」!



「すぐチケ」とは……公演日10日前より、e+(イープラス)で予約したチケットの支払・受取方法をセブン-イレ
ブンにすると、全ジャンル・全地域の公演*が、手数料0円で購入できます(チケット代以外の手数料は一切かかり
ません)。また、e+(イープラス)が特別にセレクトした一部の公演は、一般発売日初日から「すぐチケ」の対象にな
ります。これからもっとe+(イープラス)をご活用ください!

詳しくは ⇒ <http://eplus.jp/sugu/> PC
携帯

音楽劇 心優しい女ガンファイターの生涯

阪急阪神東宝グループ

カalamity★Jane



西部一のじゃじゃ馬娘、「嵐を呼ぶ女」ジェーンのその後の人生とは？ 波乱に満ちた生涯の幕が上がる！



主演：湖月わたる

出演：美木良介／小林綾子／小林十市／大浦龍宇一／黒田アーサー
田畑亜弥／今井清隆（特別出演）
海津義孝／結樟健／伊東恵里／伽代子／ももさわゆうこ／汐夏ゆりさ
加藤照男／進藤ひろし／水谷悟／津村雅之／吉森信



作：ジャン＝ノエル・ファンウィック
訳：浜文敏 脚色・演出：吉川徹
協力：ネイラー、ハラ インターナショナル（株）
企画・製作・主催：（株）梅田芸術劇場



東京公演 2008年 4月4日（金） 13日（日）

ル テアトル銀座 by PARCO ●全席8,500円（税込）

大阪公演 2008年 4月25日（金） 27日（日）

梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ ●全席8,500円（税込）

TOKYO	4/4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	OSAKA	4/25	26	27
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		金	土	日
12:00		★	★	★	★	★	★	★	★	★	12:00	★	★	★
14:00											14:00			
16:30			★	★							16:30	★		
18:30	★										18:30	★		

★ 4月9日と10日は、16:30の公演終了後スペシャルイベント開催。



3月4日（火）チケット発売開始

【チケットぴあ】●発売日特電（10:00～18:00）0570-02-9550 ●0570-02-9999（Pコード・382-430大阪、382-458東京）●HP上直接販売 <http://pia.jp/t>
【CNプレイガイド】●発売日特電（10:00～18:00）0570-03-9911（大阪）、0570-08-9900（東京）●0570-08-9999 ●インターネット予約 <http://www.cnplayguide.com>
【ローソンチケット】●発売日特電（10:00～18:00）0570-084-654 ●0570-000-407（Lコード・57307大阪、32456東京）●インターネット予約 <http://l-tike.com>
【イープラス】★ <http://eplus.jp>

お問い合わせ：梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ 06-6377-3888 www.umegei.com 梅田芸術劇場

フロムリーダーズ

ついにきました、「発表! 読者が選ぶえんぶチャート2007」。
今回は、前号で表紙を飾った
小林賢太郎さんが見事一位に輝きました!
たくさんのおハガキ、どうもありがとうございました。
チャートのページでは紹介しきれなかった皆様の声をご紹介します。

◆小林賢太郎さんが表紙と知った時から、発売が待ち遠しかった今号。中身を読んだら、今回の『TAKEOFF』についての話や、次回のボツネの話、これからの舞台についてなど、幅広く話されていてとても読み応えがありました。国立科学博物館というのも味があったです! 写真も素敵でした。3月からのボツネ、楽しみです!
（北海道 29歳 すみれ）

◆小林さんの表紙に惹かれ、初めて購入しました。この強い眼差しは未来を見据えているのかな、などと勝手に考えたりしています。『TAKEOFF』に行けなかったので写真がたくさん載っていて嬉しかったです。
（北海道 18歳 蜜柑）

◆『TAKEOFF』の公演中に演ぶさんの取材が入ったと聞いていたので、掲載されるのは知ってましたが、まさか表紙に賢太郎さんとは! 驚いたけどめっちゃ嬉しかったです。ラーメンズファンとしては去年一年は本当に夢のような一年でした。ラーメンズ本公演、KKP、片桐仁さんの客演……と、それぞれに見所のある、違った形を見ることができて、素晴らしいかったです。確実にステップアップして

るお二人の姿は最高でした。
（埼玉県 32歳 めぐ）

◇小林賢太郎さんの表紙、大好評でした。ありがとうございます。そのあまりの人気ぶりに、編集部はビックリしています。そして、ついにえんぶチャート一位。投票してくださった方ひとりひとりの熱い想いが、ハガキを読むとビシバシ伝わってきます。

◆私は2007年で一番良かった舞台は『カリギュラ』だと思います!! 小栗君さんのカリギュラがすごく良くて、残酷非道なカリギュラが最後には好きになりました。セリフも良くて、観終わっても頭に残るものばかりでした。「月がほしい」というカリギュラのセリフが、小栗さんにとっても合っていました!

（埼玉県 15歳 kaho）

◆小栗君君は「お気に召すまま」で怒りをあらわにしたシーンから登場するのですが、そのお芝居を観た瞬間に、衝撃を受けたのを覚えています。その感覚は『カリギュラ』で更新されました。『カリギュラ』は本当に小栗君なくして成立しなかったと断言できます。
（東京都 31歳 たいちママ）

◇07年は小栗君君が大活躍でしたね。映画

にテレビにと多忙なのに、『カリギュラ』でのあの熱演……なかなかここまでできる俳優はいないでしょう。今後も期待大ですね。

◆昨年は「ヴェニスの人」一本だった藤原竜也君。一人三役をこなして実力を発揮。今年は原点に戻り「身毒丸」からのスタートだが、今までとはまるで違う青年の身毒丸になることを期待している。そして「かもめ」……アングラでスタートした天才少年は、十年の時を経て、演劇界の王道をひた歩んでいる感がある。この時期を越えた時の竜也君に期待は大きい。
（東京都 52歳 E.I.）

◇15歳でデビューした藤原竜也さんが、10年間役者として様々な経験を積み、改めて「身毒丸」に取り組む……考えただけでゾクゾクしちゃいますね。あの密度の濃い世界にまた浸れるのかと思うと、楽しみでなりません。

◆トリツカレ男 岡田達也さんと畑中智行さんの対談、楽しく読ませていただきました。演ぶでは公演中のまさにライブな役者さんの声が聞けるので、その生の空気がインタビューによく表れていて、とてもいいなあと思います。最初の見開きの舞台写真もとても可愛ら

しくてステキでした!
（北海道 34歳 あっちゃん）

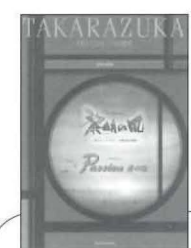
◇「トリツカレ男」の見開きの舞台写真、すごいいいですね。湯気がでているアツアツのパンに、畑中智行君の笑顔……これだけで幸せになれます。

◆私はTEAM NACSとヨーロッパ企画が大好きな中学3年生です。昨日は運がいいことに、ヨーロッパ企画のDVDが当選し、誕生日とクリスマスに親からTEAM NACSのDVDをもらいました。年末年始は演劇三昧! いそがしかったあー。ところで、フロムリーダーズを読んで、中学生でも演劇を観る人はたくさんいるものだなーと少し安心しました! お互い頑張りましょう!!
（京都府 15歳 太奏のえびちゃん）

◇プレゼントにTEAM NACSのDVDだなんて、ご両親も気が利いてますね。このころフロムリーダーズに小学生や中学生の方からおハガキをいただくことが増え、とても嬉しいです。誌面で交流してるみたいで、なんかいいですね。もちろん大人の方からのハガキもお待ちしております! どしどしお送りください!

プレゼント 広場!!

巻末のアンケートハガキに、希望するプレゼントをお書きの上お申し込みください。応募者多数の場合は抽選になります。発表は発送をもってかえさせていただきます。締切は3月31日消印有効。どしどし応募ください!!



『黎明の風
～侍ジェントルマン 白洲次郎の挑戦～』
パンフレット／1名

戦前と戦後の混乱期に日本人の誇りを貫いた白洲次郎の生きざまを描いた物語。白洲次郎役には専科から轟悠が特別出演し、宙組の若きリーダー・大和悠河がマッカーサー元帥役にチャレンジした。同公演のパンフレットを1名に。

内野聖陽サインポラ／2名

都内某所で撮影された今号の表紙。内野さんの爽やかな笑顔が素敵です。撮影中はなにがあっても思ひ通りに対応してくださった内野さん。外見のかわかよさや定評ある演技力もさることながら、やはりその誠実さが魅力だなあ……と思いました。そんな内野聖陽のポラにサインを入れて2名に。

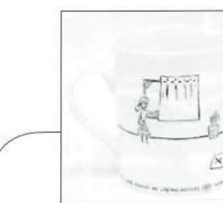


ナイロン100℃

『わが闇』

サイン入りパンフレット／1名

サインをいただいた際のエピソード・その1。何と、大倉孝二と岡田義徳のサインがとても似ているのです! 岡田さん曰く「大倉孝二にじゃんけん勝負で負けてからこうなった」とのこと。そのサインはプレゼントを当てた人のみぞ知る!……ってこともないですけど、是非見比べてみて下さい。インタビューにご登場頂いた、みのすけ、峯村リエ、大倉孝二、岡田義徳のサインを入れたパンフレットを1名に。



青年団プロジェクト公演

『隣にいてもー人』

特製マグカップ／1名

『隣にいてもー人』の青森編、三重編、広島編、熊本編、盛岡編、関西編、帯広編、英語版（リーディング）の8バージョンを同時上演した青年団。8バージョンすべて観た人にだけもらえる特製マグカップを、特別に1名様へプレゼント!

新感線プロデュース
いのうえ歌舞伎☆號『IZO』
サイン入りパンフレット／1名

幕末を駆け抜けた岡田以蔵の物語を、かつてないほど切なく美しく描いた新感線の意欲作『IZO』。森田剛さんの以蔵があまりに切なくて、観ていて何度も涙が出ました……。以蔵の剣の腕を見込んで育てながら、最後には以蔵を襲う武市半平太役を、説得力ある演技で好演した田辺誠一のサインが入ったパンフレットを1名に。



『ビューティ・クイーン・オブ・リーナン』
パンフレット／1名



マーティン・マクドナーの脚本を、長塚圭史が丁寧に演出した『ビューティ・クイーン・オブ・リーナン』。大竹しのぶと白石加代子という、日本を代表する二大女優の競演が見事だった同公演のパンフレットを1名に。



ギンギラ太陽's
『翼をください! さらばYS-11』
サイン入りパンフレット／1名

サインをいただいた際のエピソード・その2。6名の座談会となった今回の取材、いただいたサインも皆さんの個性が出ていて興味深いです。「今、考えました」と言いながら手帳を開いた様子だった、「絵を描いたけど失敗しちゃった」とちょっと悔しそうだった……。座談会も含めてとても楽しい取材となりました。大塚ムネト、立石義江、杉山英美、上田裕子、中村卓二、古賀今日子のサインが入ったパンフレットを1名に。

《出演》 草薨剛 大竹しのぶ 三田和代

高橋長英 高橋一生 梅沢昌代 富岡弘 野間口徹 春海四方 森本健介 遠山俊也 岸昌代
篠井英介 高橋克実 市川ぼたん 神野三鈴 西尾まり 福井博章 塚本幸男 ひがし由貴 ほか



瞼の母

シス・カンパニー公演
作 長谷川伸
演出 渡辺えり

一般前売開始日 2008年3月29日(土)

2008年5月10日(土) ~ 6月8日(日) 世田谷パブリックシアター

料金(全席指定・税込) S席 8,500円 A席 6,500円

提携 世田谷パブリックシアター 企画・製作・お問い合わせ シス・カンパニー TEL 03-5432-15906 <http://www.siscpany.com/>

【前売チケット取扱い】

- ◎電子チケットぴあ
- ◎ローソンチケット

◎イープラス

◎CNプレイガイド

◎劇場チケットセンター

※インターネットでのチケット販売はございません。ご希望の公演日をご確認の上、お電話ください。
※発売日翌日(3/30)以降は、残席がある場合のみお取り扱いいたします。

- 0570-02-9940(発売初日特電 Pコード不要) ●0570-02-9999(3/30以降音声認識予約 Pコード382-056)
- 0570-084-624(発売初日特電 Lコード不要 18:00まで) ●0570-084-647(発売初日特電 オペレーター予約 18:00まで)
- 0570-084-003(3/29 18:00以降 Lコード33300) ●0570-000-407(3/29 18:00以降 オペレーター予約)
- 0570-06-9900(公演専用特電)
- 0570-08-9922(発売初日特電) ●0570-08-9999(3/30以降 オペレーター予約)
- 0570-00-0061(発売初日特電 初日のみ店頭販売なし) ●03-5432-1515(3/30以降)

【公演日程】(開場は開演の30分前)

2008年	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
14:00		●		●	休			●	●		●	休				●		●	休			●
19:00	●		●	●	演	●	●	●		●	●	演	●	●	●	●	●	●	演	●	●	●

2008年	1	2	3	4	5	6	7	8
6月	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00	●		●	休			●	●
19:00		●	●	演	●	●	●	

【ご注意】*小学生未満のお子様はご入場いただけません。*車イスでご来場予定のお客様は、当日のスムーズなご案内のために、公演日前日までにご購入席番をお知らせください。

【車イススペースのご案内】劇場チケットセンター(03-5432-1515)にお申込みください。(予定枚数終了次第締切)

【全公演託児サービスあり】お申込み:03-5432-1530(世田谷パブリックシアター) 申込み〆切:ご利用希望日3日前の正午まで。定員制・要予約・料金 予2,000
対象:生後6ヶ月以上9歳未満(障害のあるお子様についてはご相談ください。)

雑誌02063-04

定価750円 本体714円



4910020630483
00714

SIS
company